

環境に関する市民意識調査

(令和2年度)

結果報告書

令和2年6月

山形市

目 次

I. 調査の概要	1
II. 環境問題全般についての分析	6
1. 項目別順位（現状評価・重要度）	6
2. 住まいの周辺の環境	10
3. 山形市の自然環境	15
4. 地球規模の環境問題、循環型社会の構築、環境教育・情報発信	18
5. その他（文化財・景観）	23
6. 現状評価の推移	28
① 住まいの周辺環境	28
② 山形市の自然環境	37
III. 住まいの周辺（概ね500m範囲）環境について	38
1. 「空気がきれいであること」の現状評価において不満を感じる理由（複数回答）	38
2. 「川、水路がきれいであること」の現状評価において不満を感じる理由（複数回答）	38
3. 「まちが静かであること」の現状評価において不満とを感じる理由（複数回答）	39
4. 「まちが清潔であること」の現状評価において不満とを感じる理由（複数回答）	39
IV. 山形市の自然環境について	40
1. 「自然とのふれあいの場所が沢山あること」の満足度において不満を感じる理由（複数回答） ..	40
2. 過去1年以内に日常生活や仕事等で、動物による被害を受けたことがあるか。	40
V. 地球規模の環境問題と循環型社会の構築について	47
1. 国民運動 COOL CHOICE（クールチョイス＝賢い選択）を認知状況	47
2. 地球温暖化防止への取組みとして重要なもの（3つ選択）	47
3. 地球温暖化対策で市が重点的に取り組むべきこと（3つ選択）	48
4. 循環型社会をつくるために、重要な取組み（3つ選択）	48
VI. 環境をよくするためにできること	49
1. 環境をよくするために心がけていること	49
2. SDGs（エスディーゼーズ）の認知状況	52
3. 快適な生活環境や地球環境問題対策について	52
4. 環境保全のために参加・協力できること（複数回答）	54
5. 環境問題に関する情報で不足していると感じるもの（複数回答）	54
VII. 環境学習について	55
1. 環境問題について話を聞いたり学んだりしていますか	55
2. 環境学習ついてどのような形で学んでいますか	55
3. 環境学習について学んでいない理由について	56
4. 環境学習について、どのような形であれば参加したいですか	56
資料 環境に関する市民意識調査調査票	

I. 調査の概要

1. 調査の目的

(仮称) 第4次山形市環境基本計画の策定にあたり、市民の環境に対する意識や意見を把握し、計画策定の基礎資料とするとともに、今後の環境施策に反映させていくことを目的として実施した。

2. 調査対象及び抽出方法

住民基本台帳登録市民から無作為抽出した市民 2,000 名。

3. 調査内容及び調査方法

環境に関する意識等について（別紙調査票による）、郵送により発送・回収（礼状兼督促状の発送 1 回）

4. 調査期間

令和2年2月10日～令和2年3月13日

5. 回収結果

対象	標本数	有効回収数	有効回収率 (%)
無作為抽出の住民基本台帳登録市民	2,000	1,020	51.0%

7. 回答者の属性

① 性別

性別の全体構成は不明を除いて「男性」が 52.5%、「女性」が 47.5%であった。

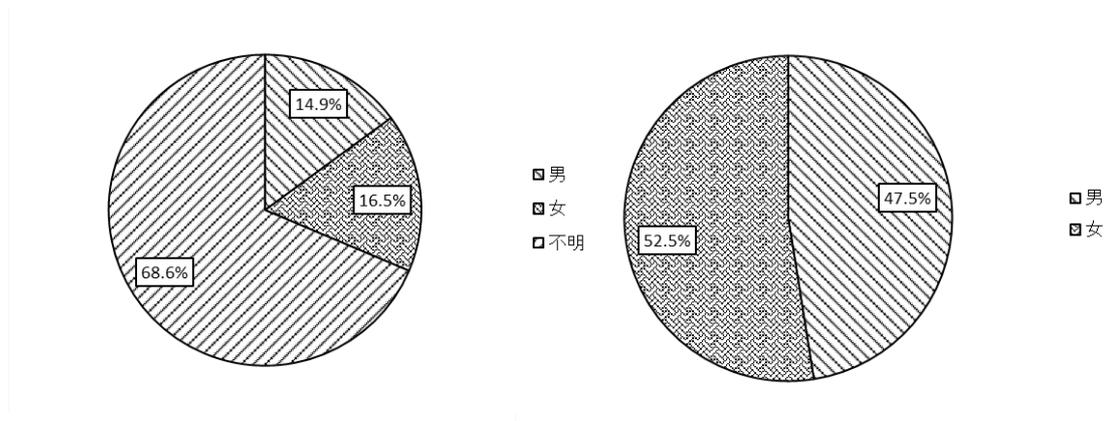


図 1 男女比 (不明含む)

図 2 男女比 (不明除く)

② 年代

年代は 50 歳代以上が 63.4%を占めていた。

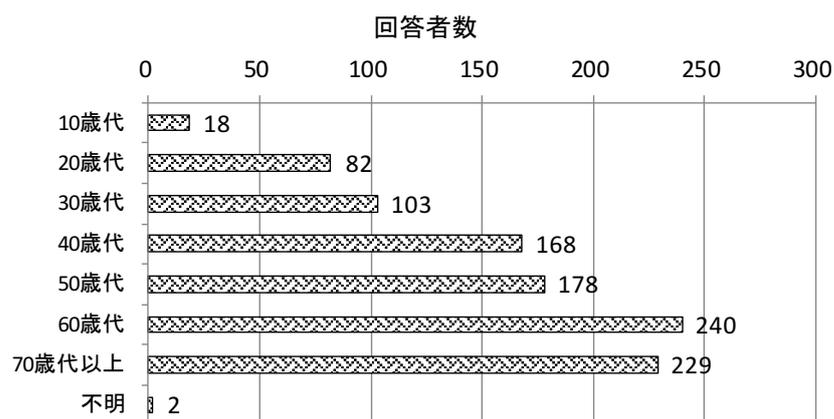


図 3 年代別回答者数

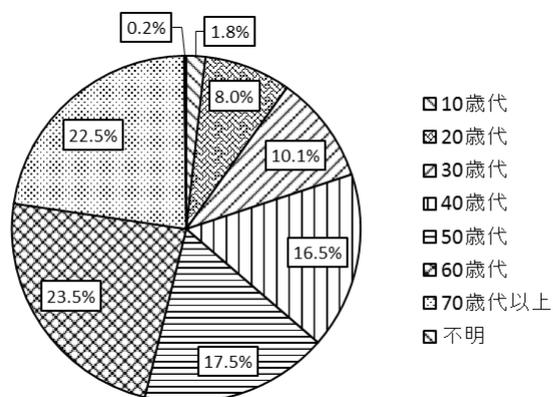


図 4 年代割合

③ 居住年数

居住年数は「40年以上」が47.6%で最も多くを占めており、全体の76.3%の居住年数が20年以上であった。

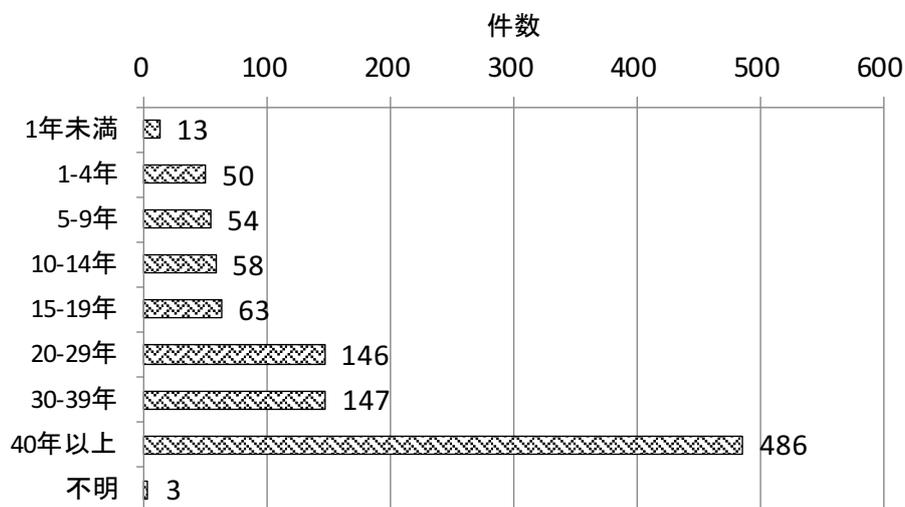


図 5 居住年数別回答者数居住

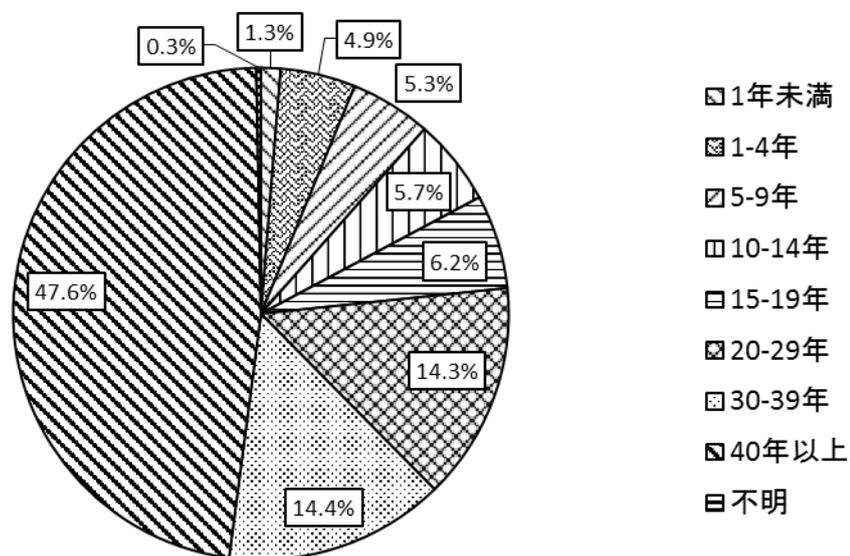


図 6 居住年数割合

④ 職業

職業は「会社員、公務員、団体職員」が40.0%と最も多くを占めており、次いで「無職専業主婦または主夫以外の人」が18.2%、「専業主婦主夫」が14.7%であった。

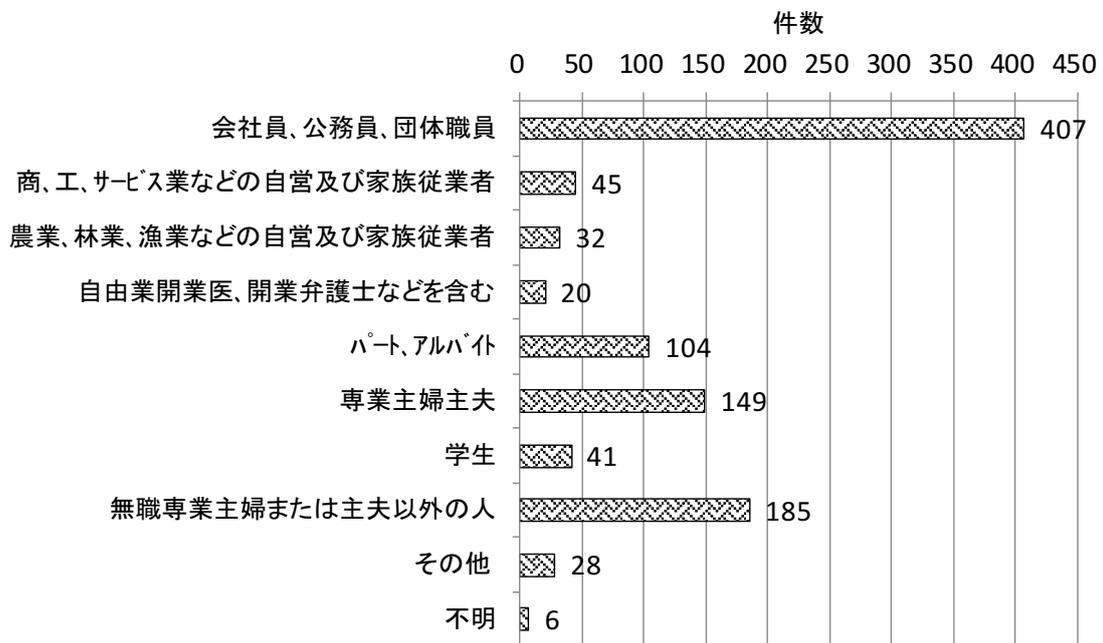


図 7 職業別回答者数

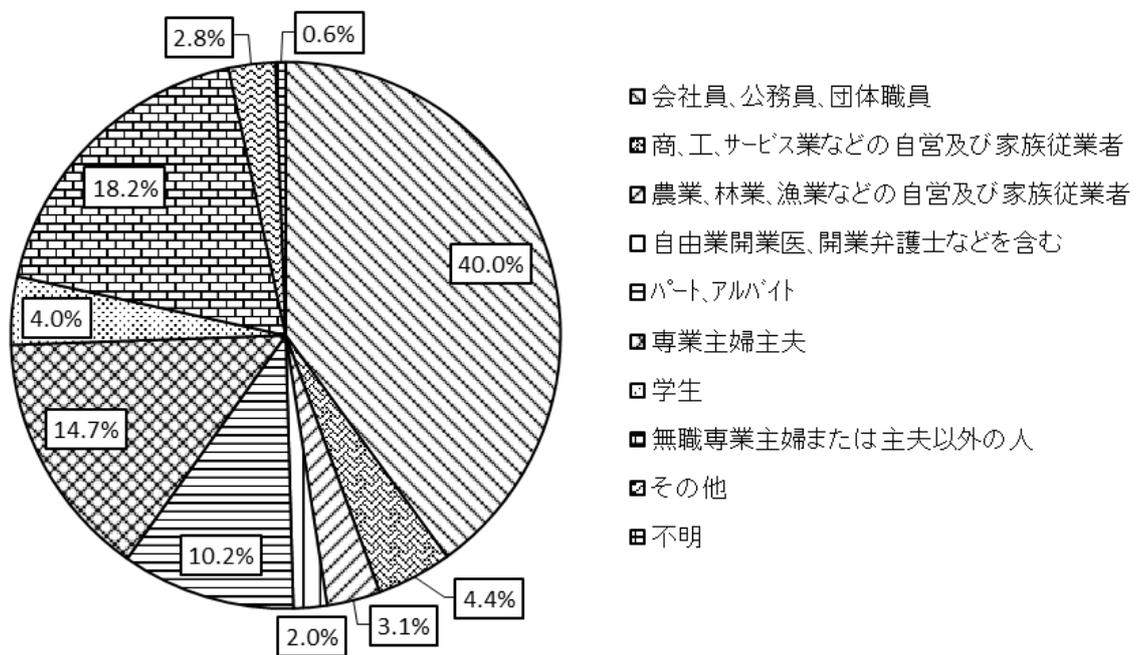


図 8 職業割合

⑤ 居住地

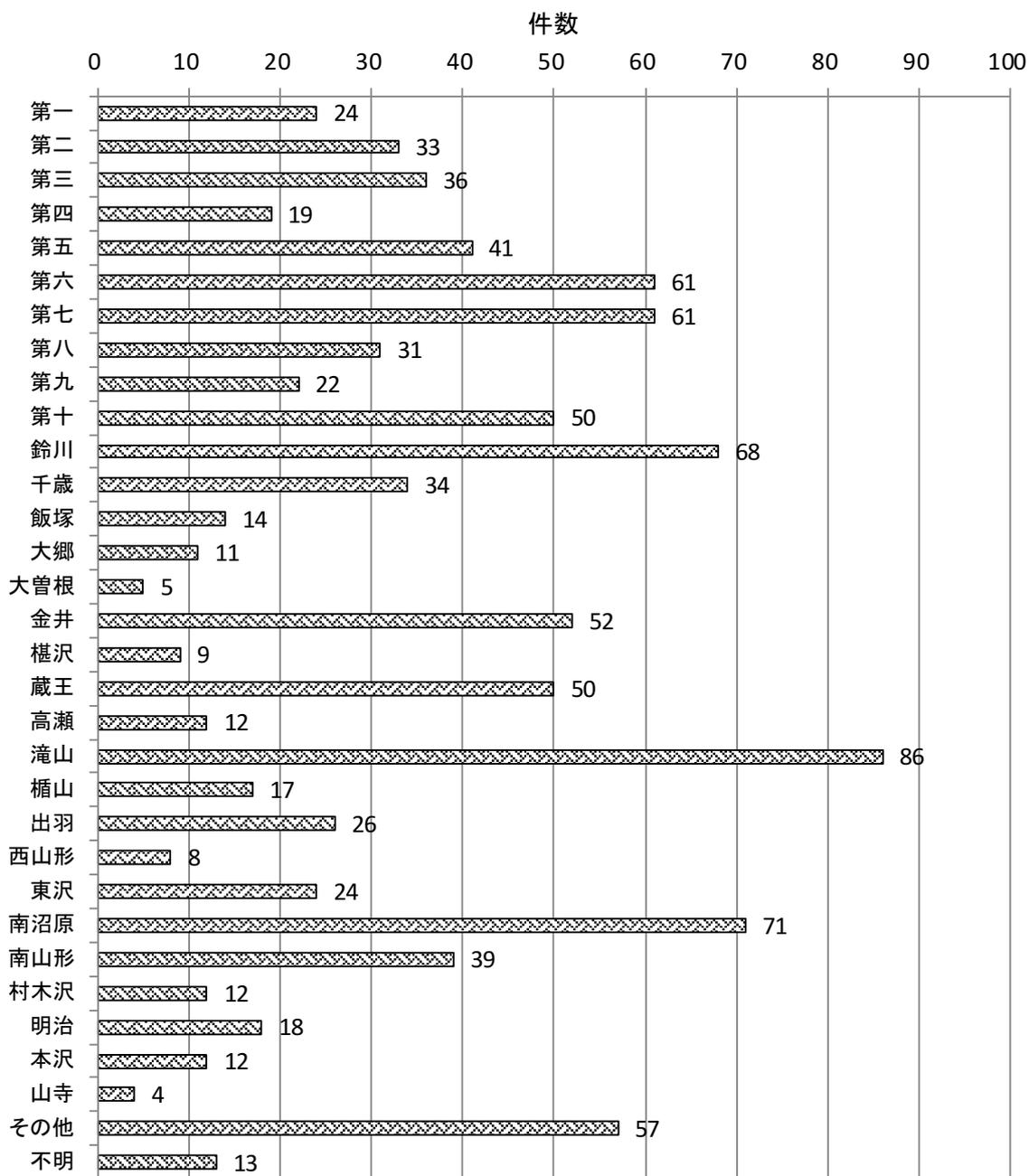
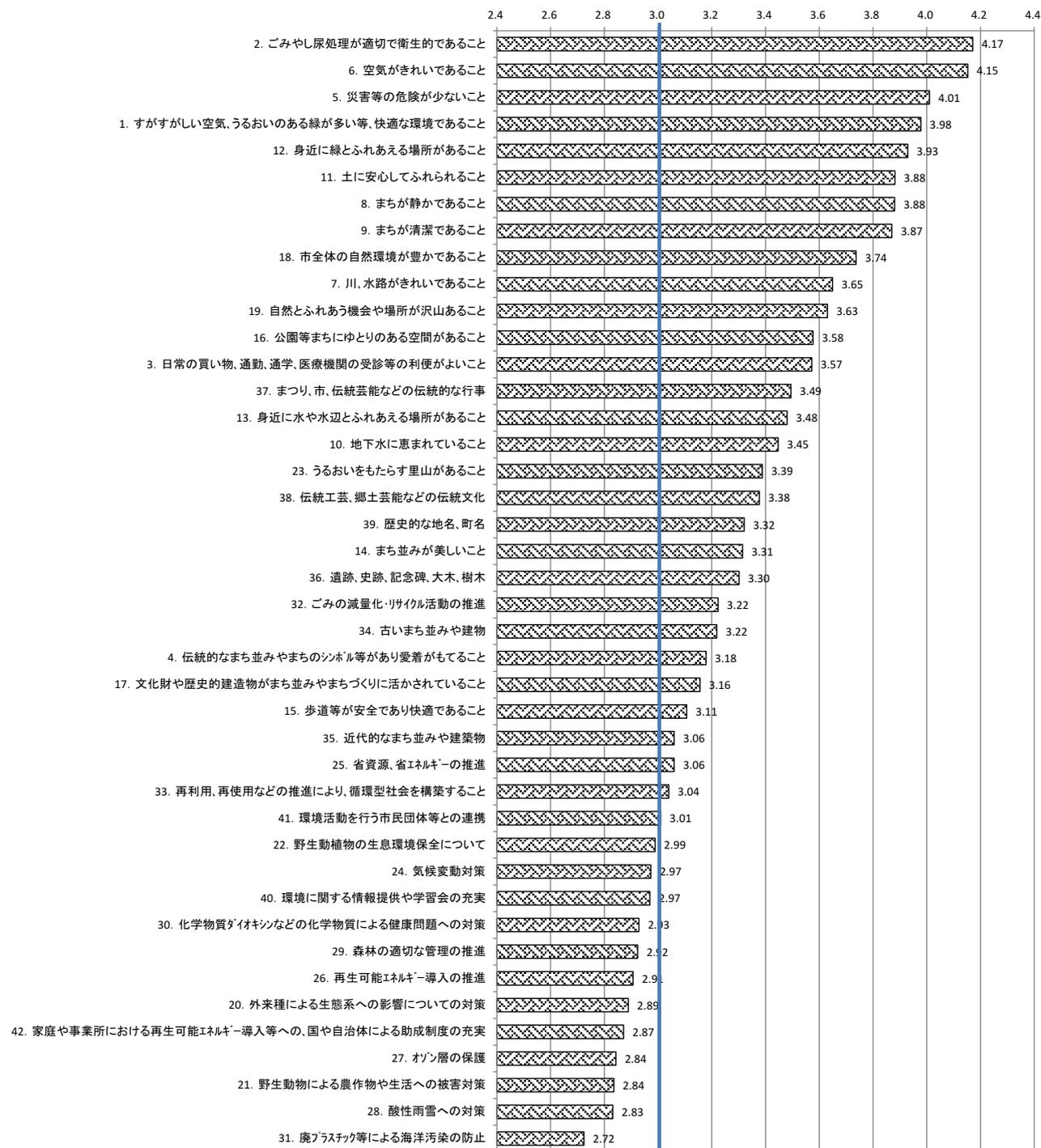


図 9 居住地別回答者数

II. 環境問題全般についての分析

1. 項目別順位（現状評価・重要度）



※数値は満足が5、やや満足が4、どちらともいえないが3、やや不満が2、不満が1とし合計を回答者数で除し平均を求めたもの

図 10 現状評価

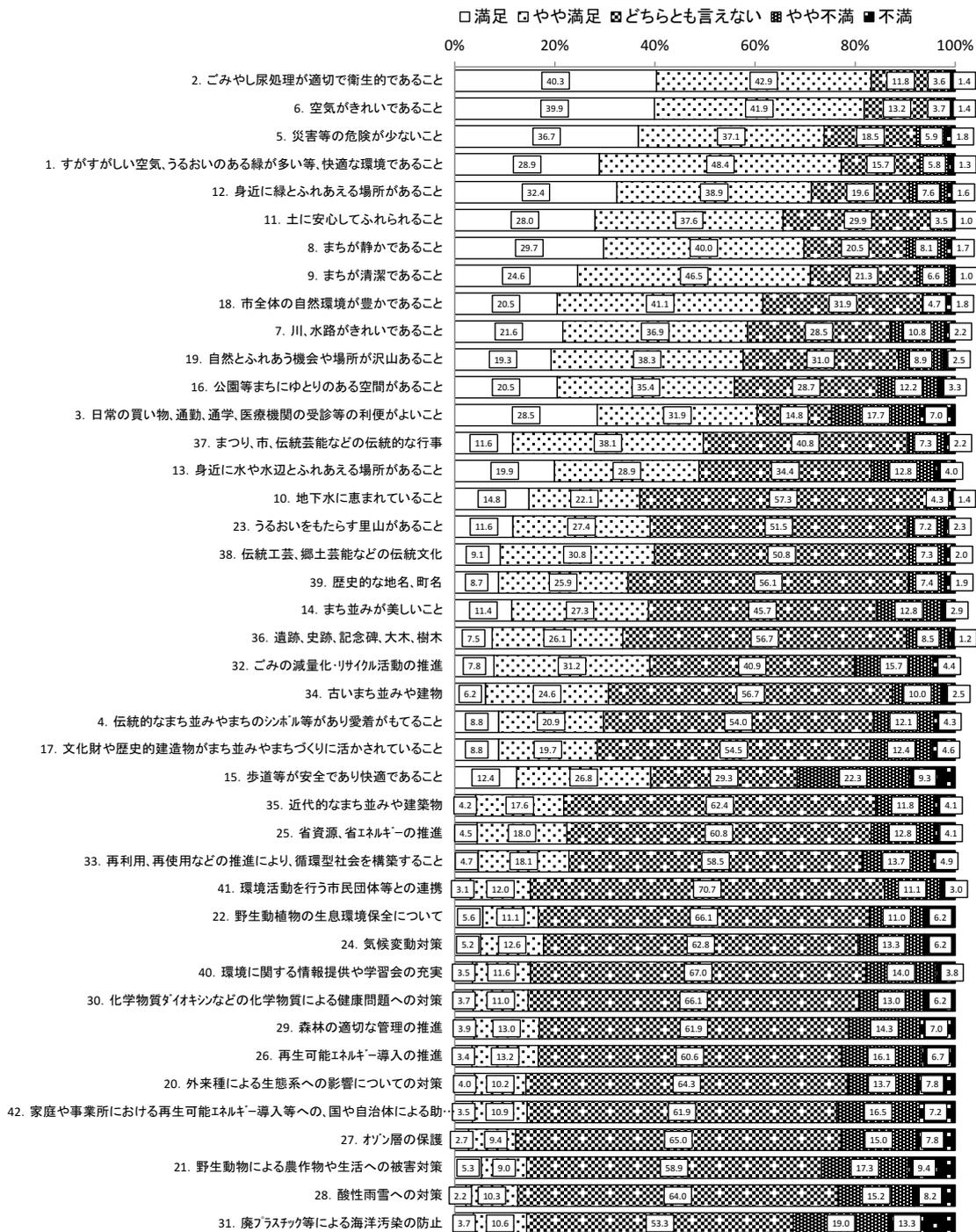
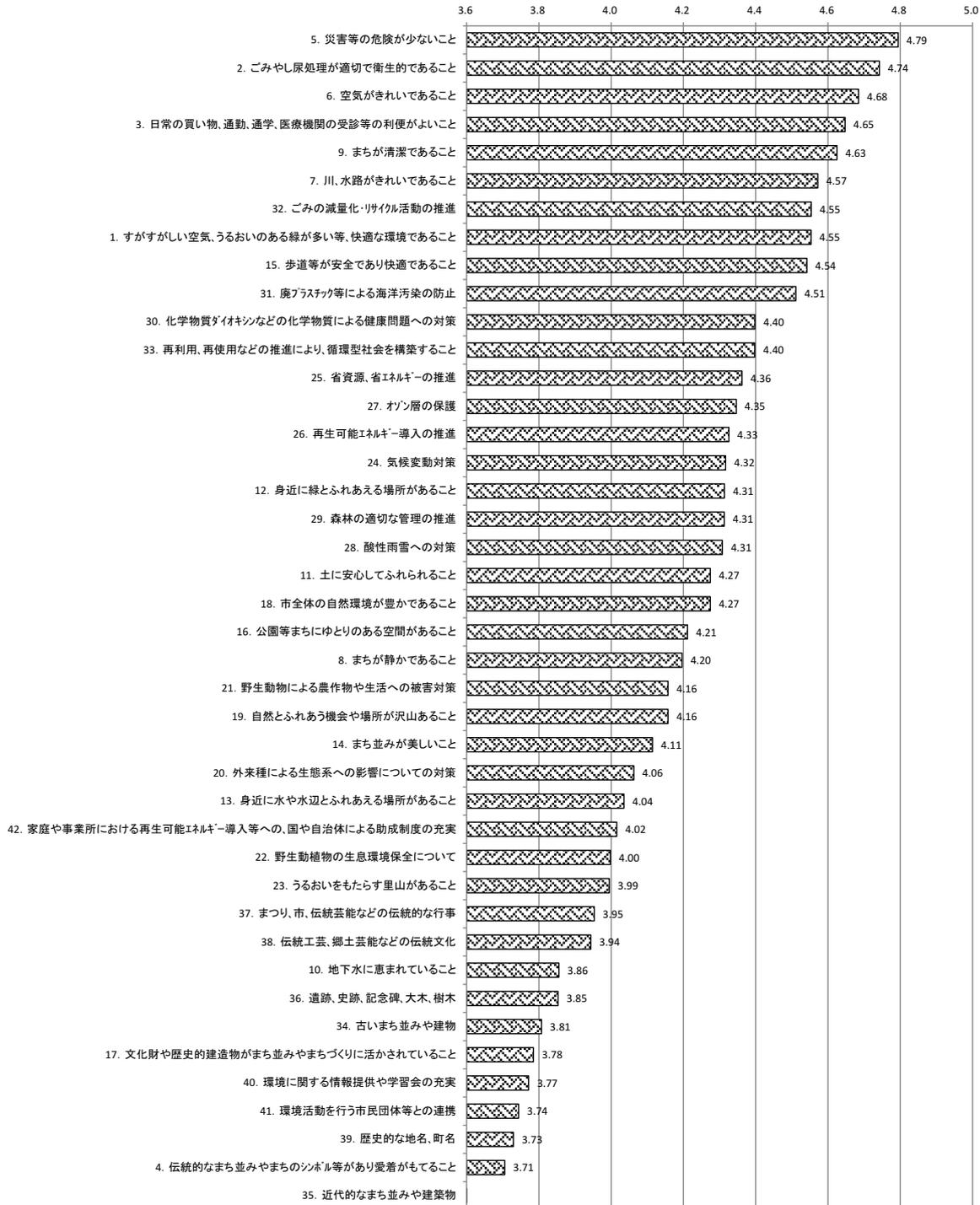


図 11 現状評価内訳



※数値は重要であるが5、やや重要であるが4、どちらとも言えないが3、あまり重要でないが2、重要でないが1とし
合計を回答者数で除し平均を求めたもの

図 12 重要度

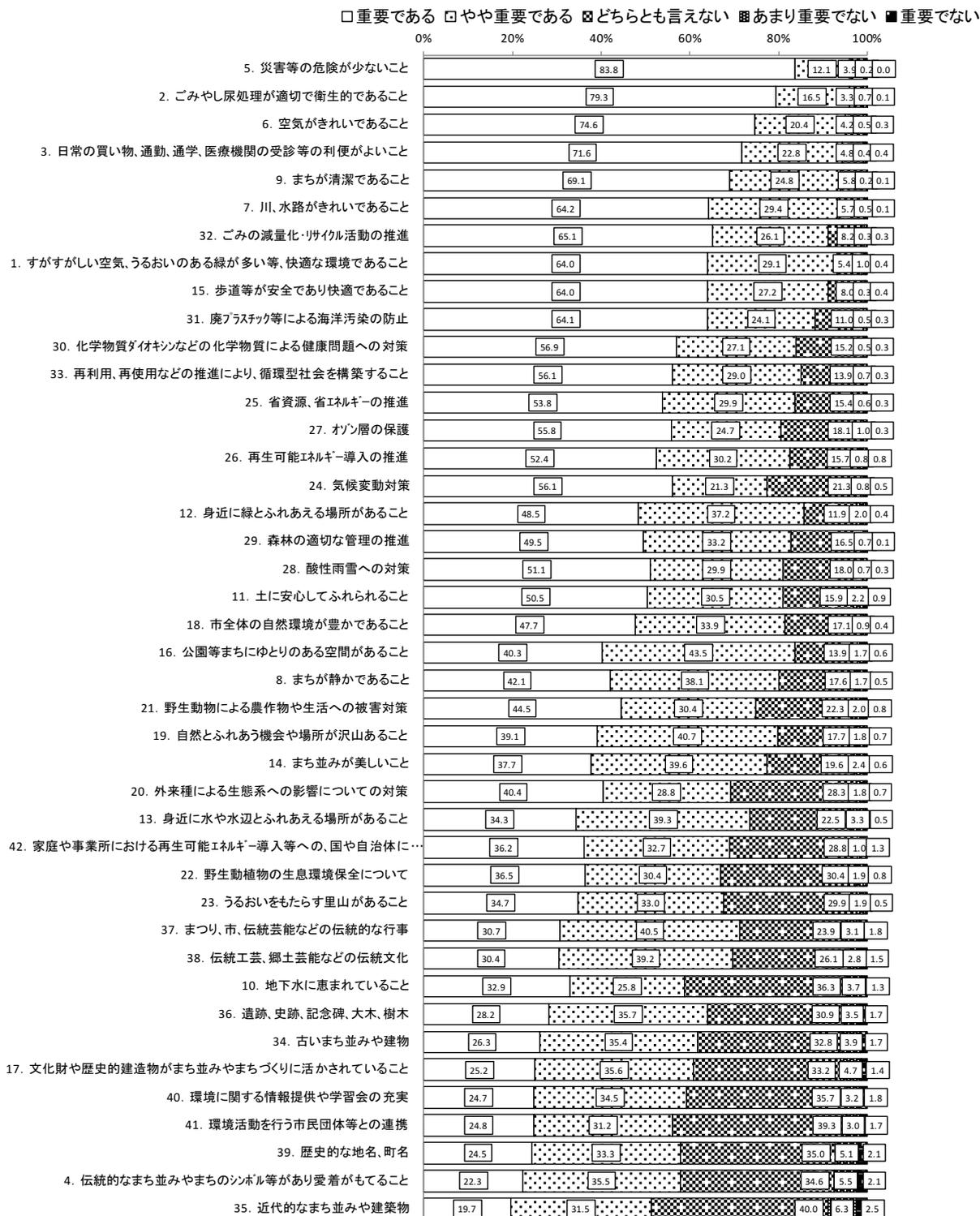
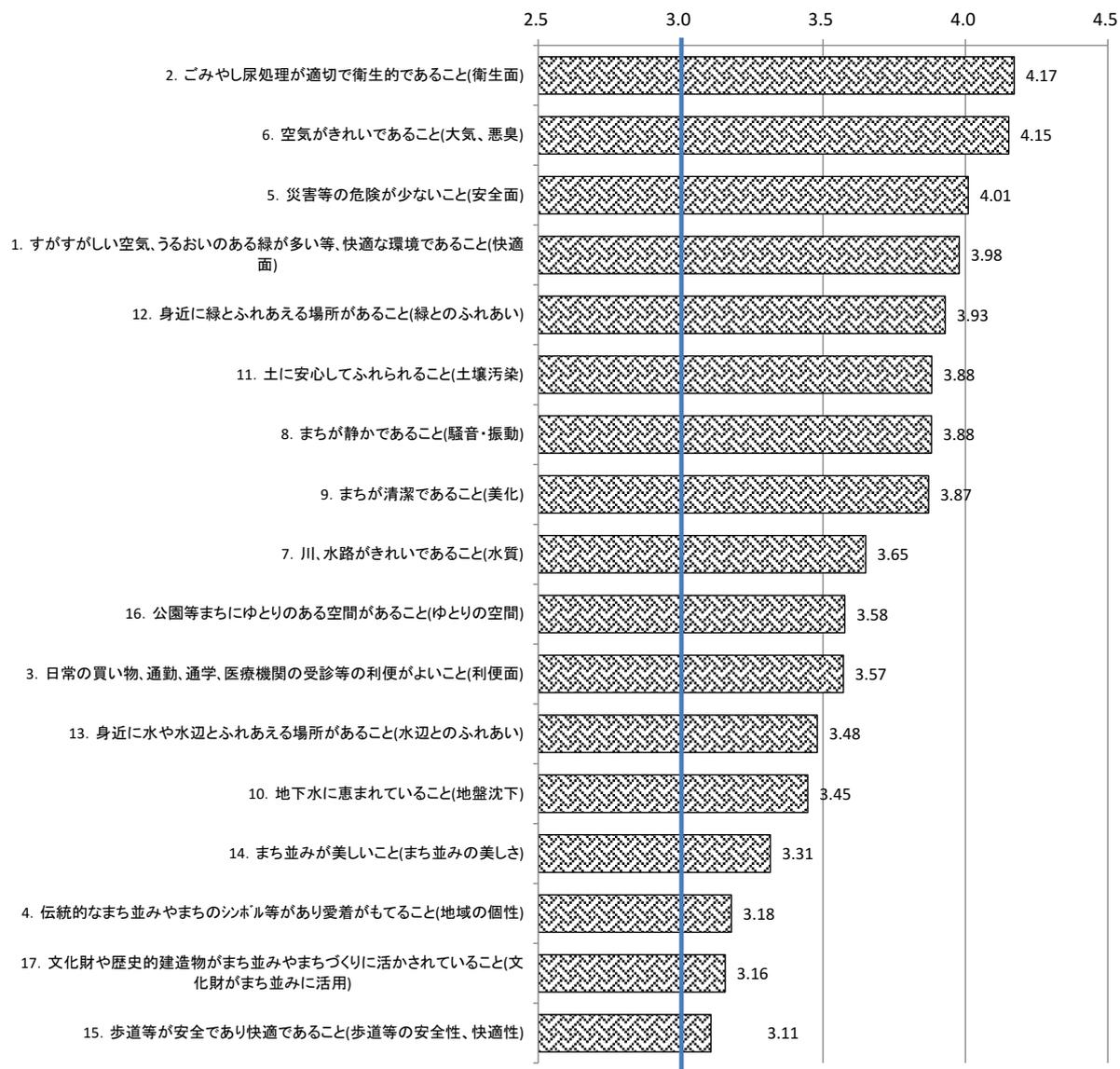


図 13 重要度内訳

2. 住まいの周辺の環境

① 現状評価

設問項目を満足度合いの高い順で並べると、最も評価が高かったのが「ごみやし尿処理が適切で衛生的であること(衛生面)」で、「空気がきれいであること(大気、悪臭)」、「災害等の危険が少ないこと(安全面)」が続いていた。なお、すべての設問で平均値である 3.0 ポイントを上回っており、住まい周辺の環境に対しては、満足度が高いことがうかがえた。一方、満足度合いが低かったのは、「歩道等が安全であり快適であること」であった。



※数値は満足が5、やや満足が4、どちらともいえないが3、やや不満が2、不満が1とし合計を回答者数で除し平均を求めたもの

図 14 「住まいの周辺の環境」現状評価

□満足 □やや満足 ▨どちらとも言えない ▩やや不満 ■不満

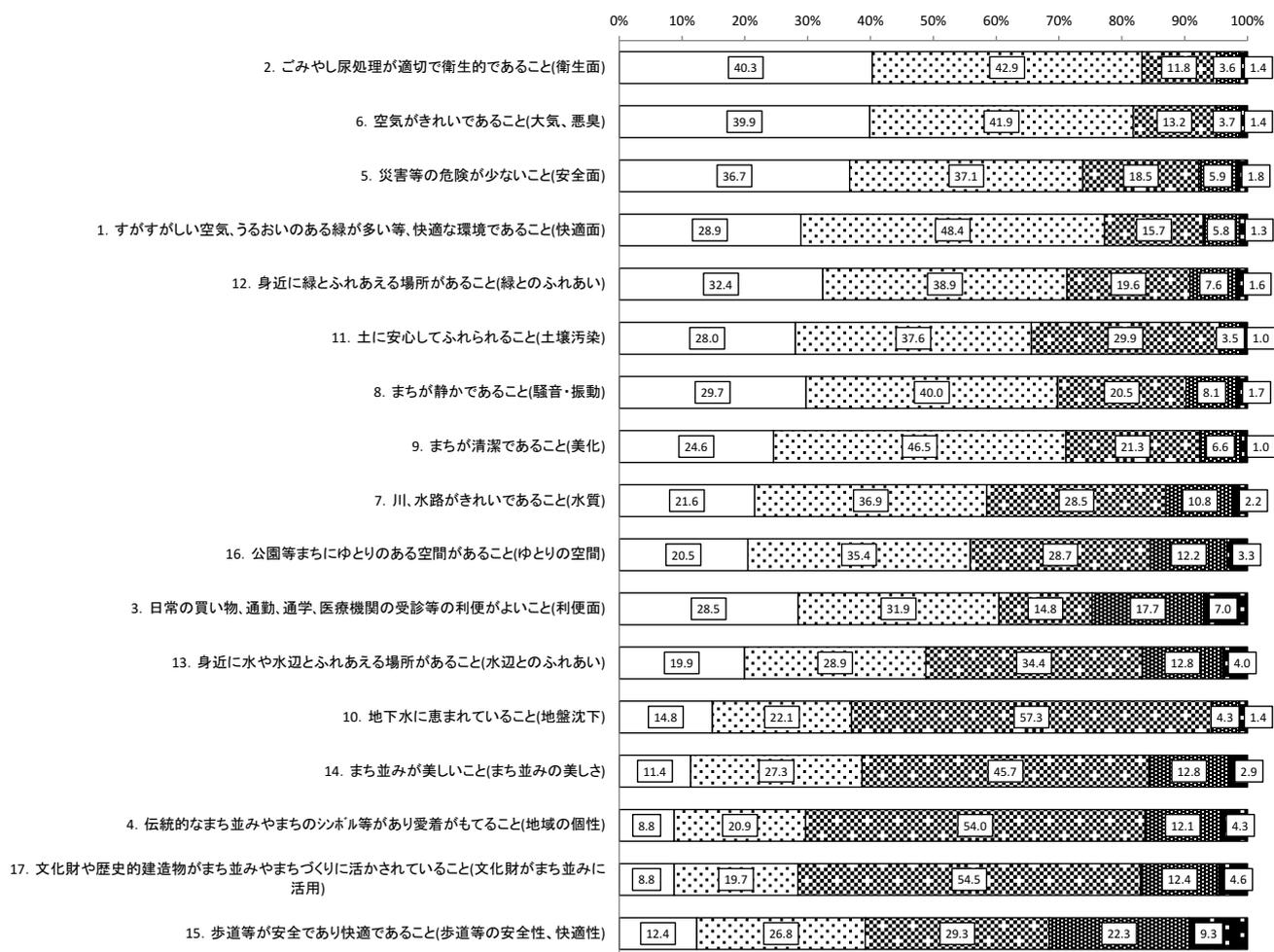
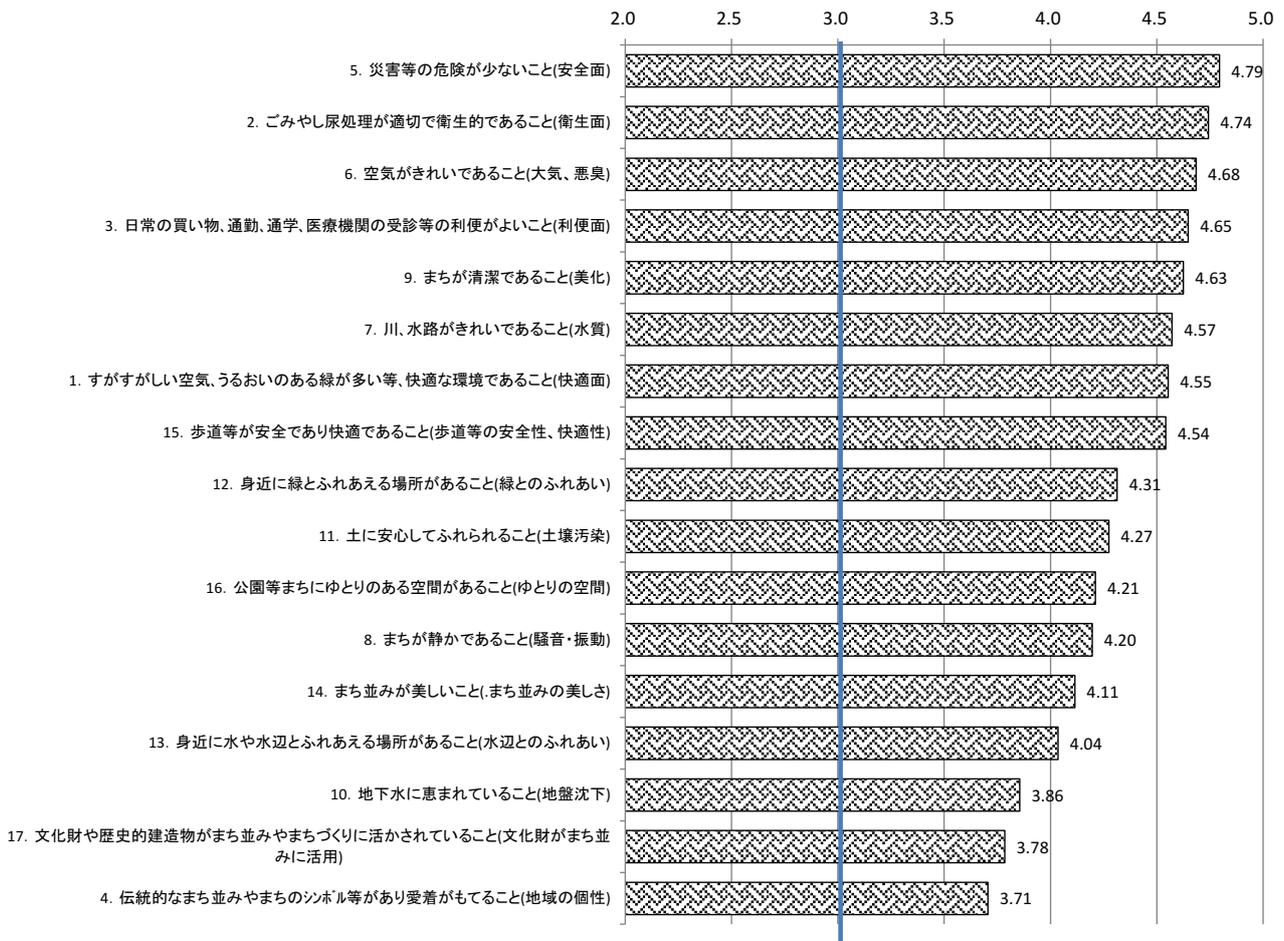


図 15 「住まいの周辺の環境」現状評価内訳

② 重要度

設問項目を重要度合いの高い順で並べると、最も重要度が高かったのが「災害等の危険が少ないこと(安全面)」で、「ゴミやし尿処理が適切で衛生的であること(衛生面)」、「空気がきれいであること(大気、悪臭)」が続いていた。一方、重要度合いが低かったのは、「伝統的なまち並みやまちのシンボル等があり愛着がもてること(地域の個性)」であった。



※数値は重要であるが5、やや重要であるが4、どちらとも言えないが3、あまり重要でないが2、重要でないが1とし
合計を回答者数で除し平均を求めたもの

図 16 「住まいの周辺の環境」重要度

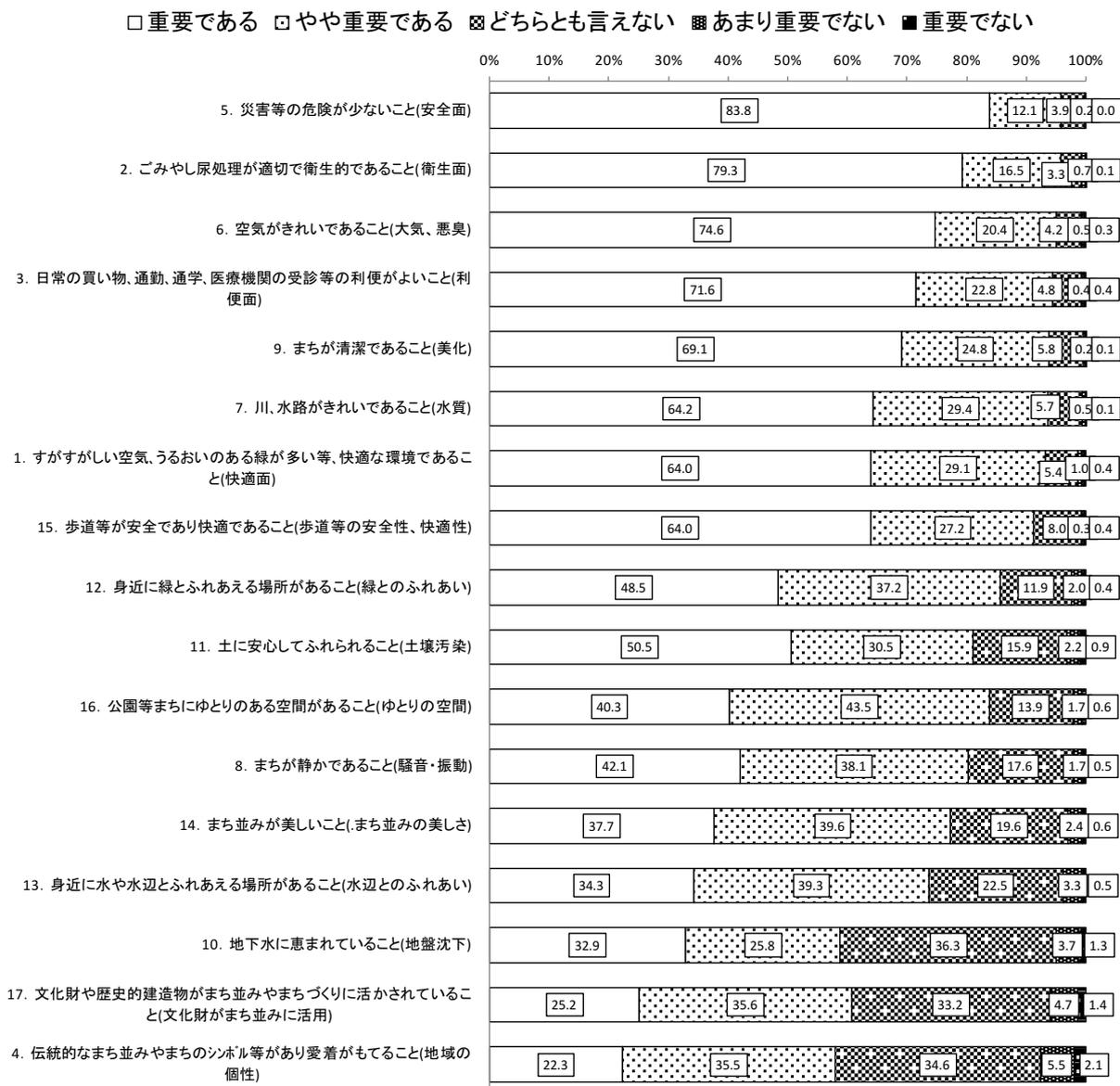


図 17 「住まいの周辺の環境」重要度内訳

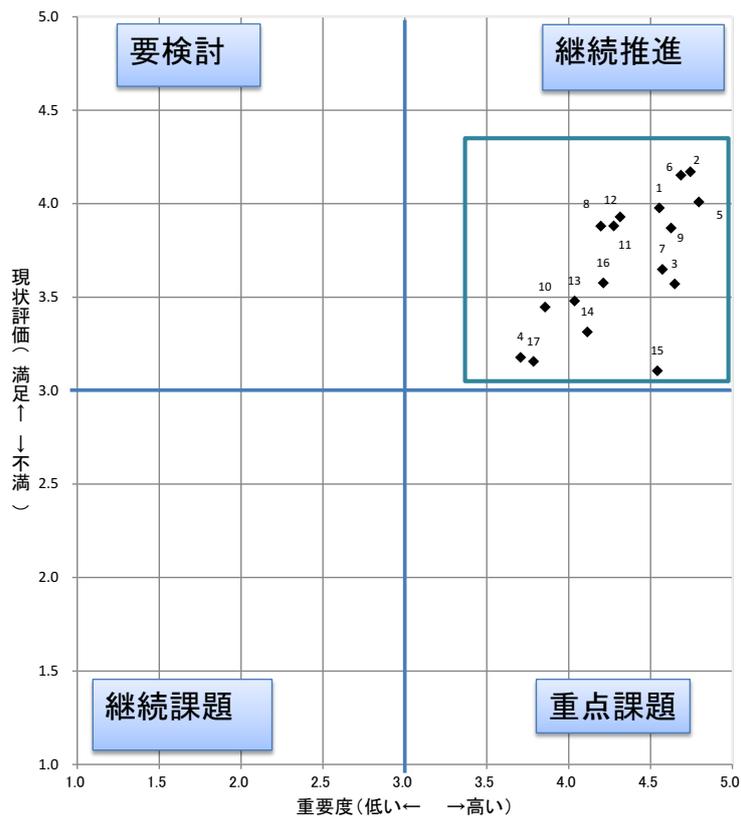


図 18 「住まいの周辺の環境」分散図

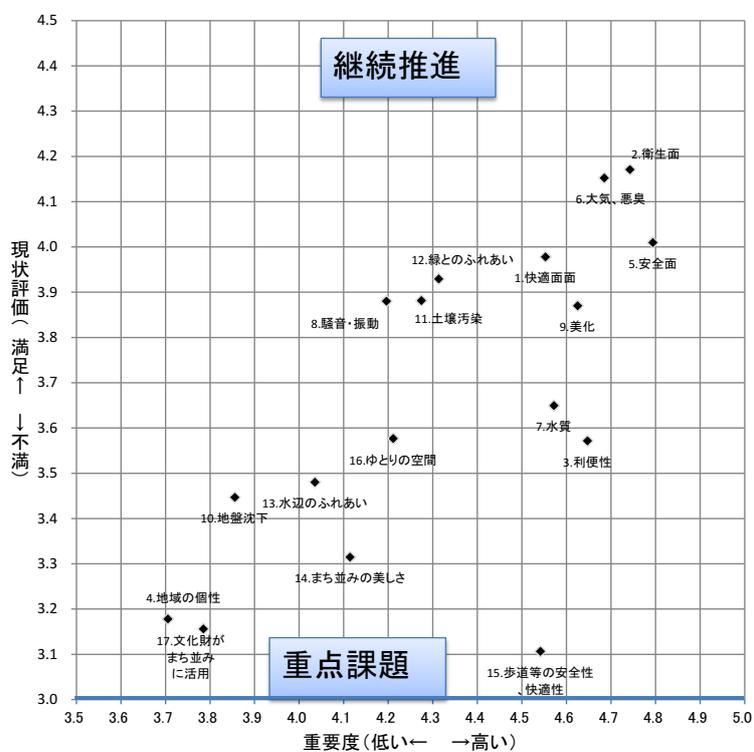
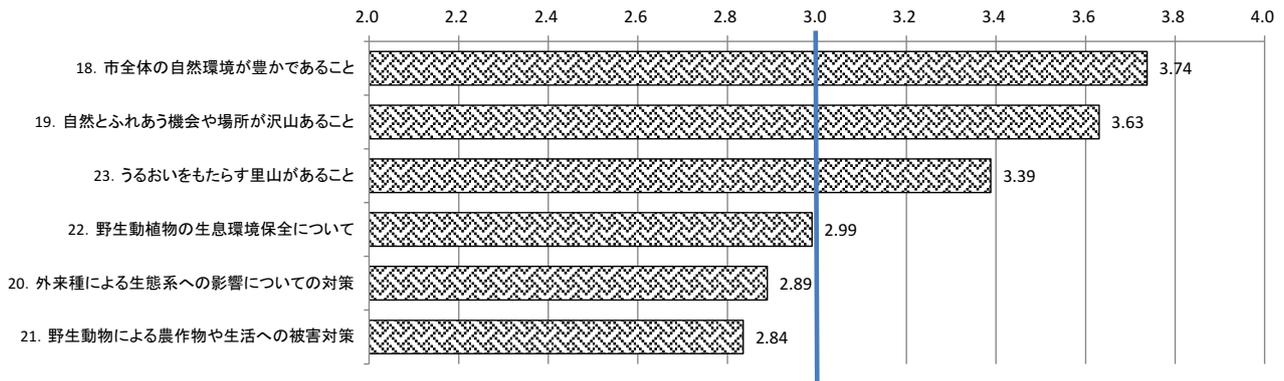


図 19 「住まいの周辺の環境」分散図拡大部分

3. 山形市の自然環境

① 現状評価

設問項目を満足度合いの高い順で並べると、最も評価が高かったのが「市全体の自然環境が豊であること市全体の自然環境が豊かであること」で、「自然とふれあう機会や場所が沢山あること」、「うるおいをもたらす里山があること」が続いていた。一方、平均値である3.0ポイントを下回っているのは、「野生動植物の生息環境保全について」、「外来種による生態系への影響についての対策」、「野生動物による農作物や生活への被害対策」であった。



※数値は満足が5、やや満足が4、どちらともいえないが3、やや不満が2、不満が1とし合計を回答者数で除し平均を求めたもの

図 20 「山形市の自然環境」現状評価

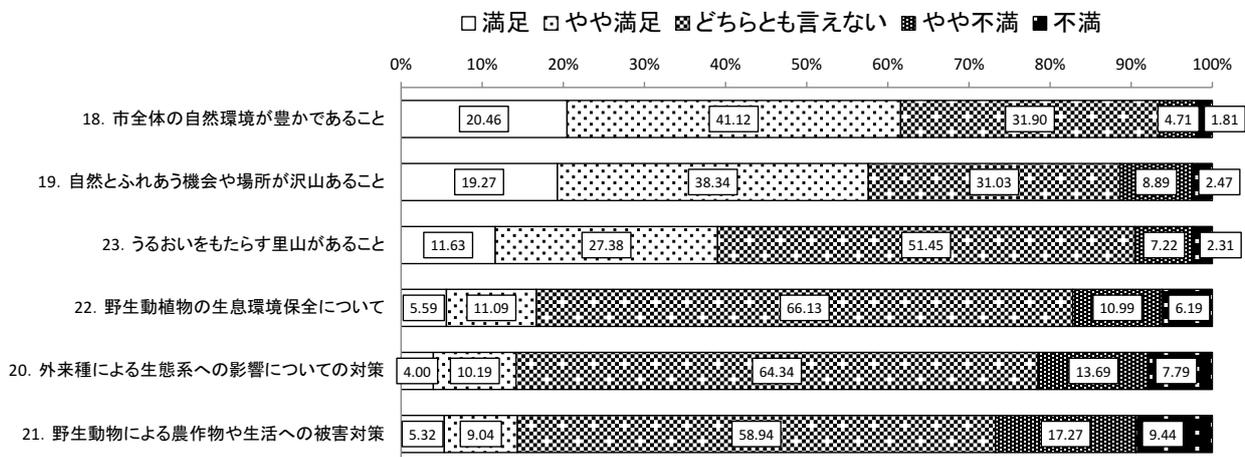
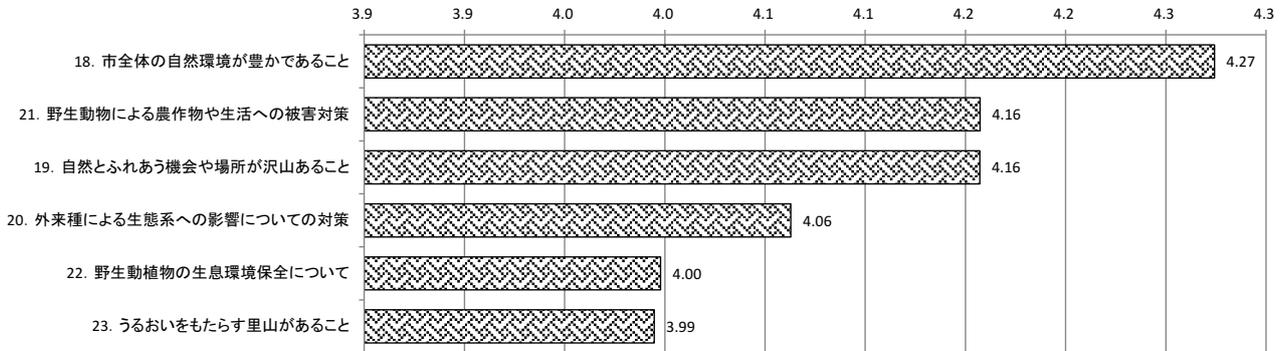


図 21 「山形市の自然環境」現状評価内訳

② 重要度

設問項目を重要度合いの高い順で並べると、最も重要度が高かったのが「市全体の自然環境が豊であること」で、「野生動物による農作物や生活への被害対策」と「自然とふれあう機会や場所がたくさんあること」が続いていた。一方、重要度合いが低かったのは「うるおいをもたらす里山があること」であった。



※数値は重要であるが5、やや重要であるが4、どちらとも言えないが3、あまり重要でないが2、重要でないが1とし
合計を回答者数で除し平均を求めたもの

図 22 「山形市の自然環境」重要度

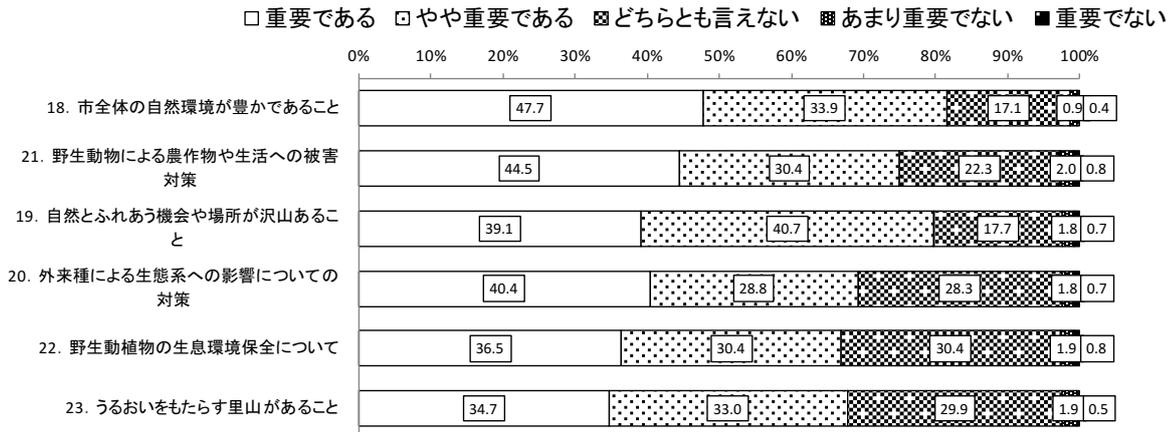


図 23 「山形市の自然環境」重要度内訳

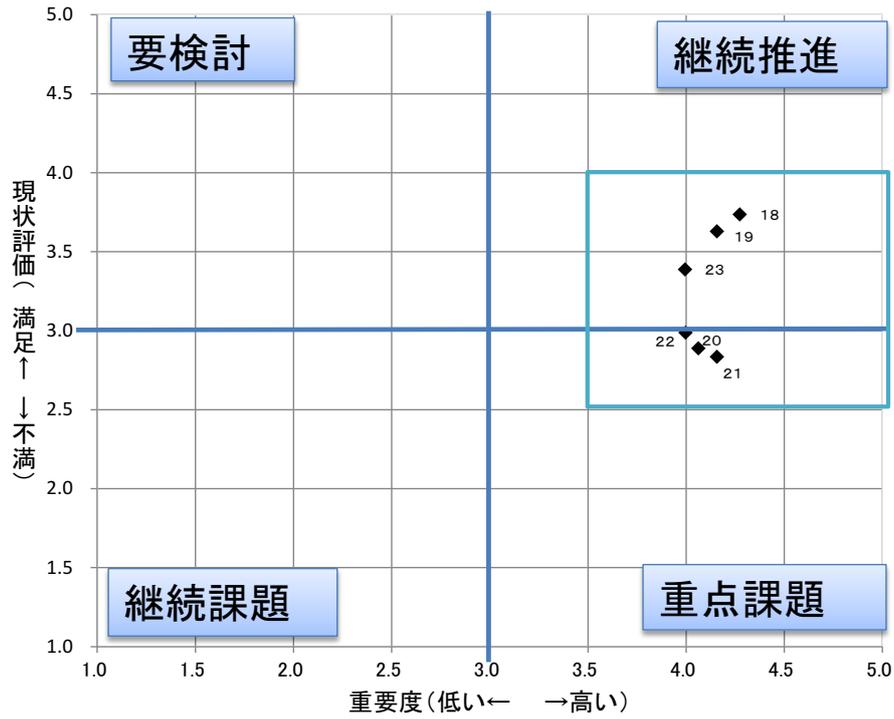


図 24 「山形市の自然環境」分散図

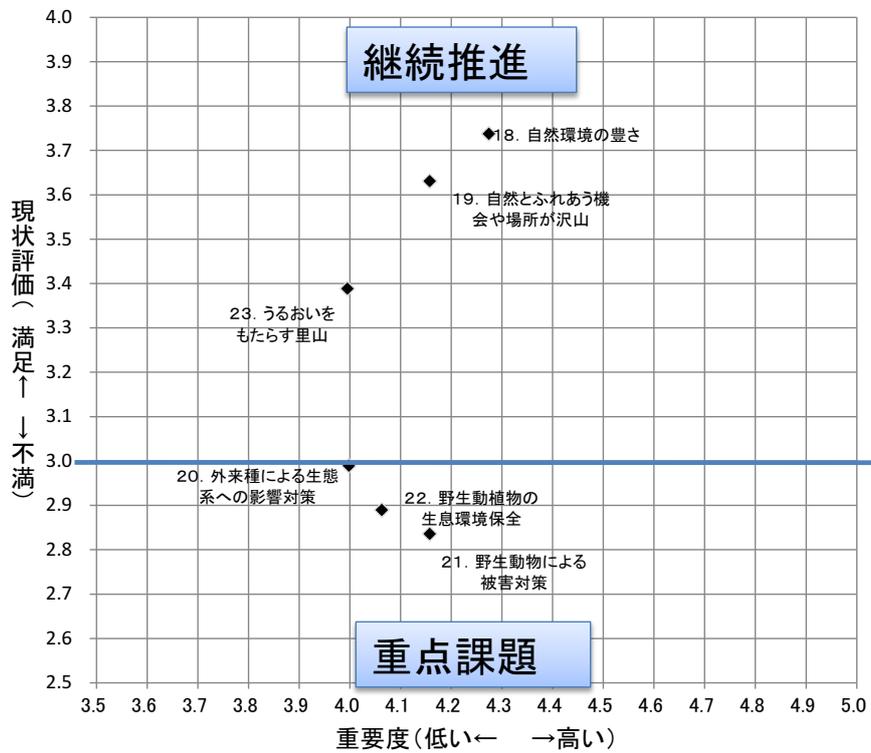


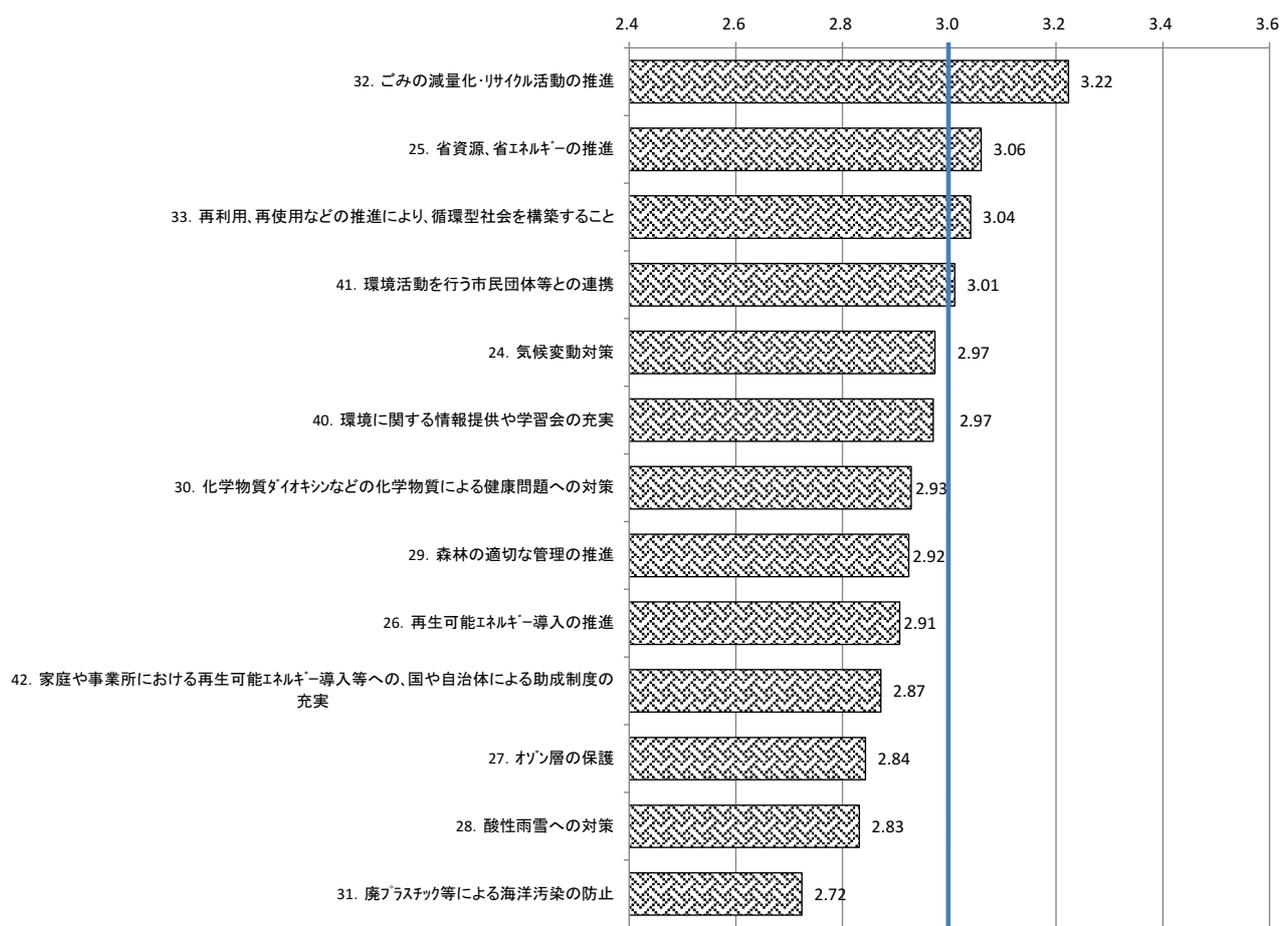
図 25 「山形市の自然環境」分散図拡大部分

4. 地球規模の環境問題、循環型社会の構築、環境教育・情報発信

① 現状評価

設問項目を満足度合いの高い順で並べると、最も評価が高かったのが「ごみの減量化・リサイクル活動の推進」で、次いで「省資源、エネルギーの推進」が続いていた。

一方、現状評価が最も低かったのは、「廃プラスチック等による海洋汚染の防止」であった。地球規模の環境問題については、総じて現状評価は低い状況がうかがえた。



※数値は満足が5、やや満足が4、どちらともいえないが3、やや不満が2、不満が1とし合計を回答者数で除し平均を求めたもの

図 26 「地球規模の環境問題、循環型社会の構築、環境教育・情報発信」現状評価

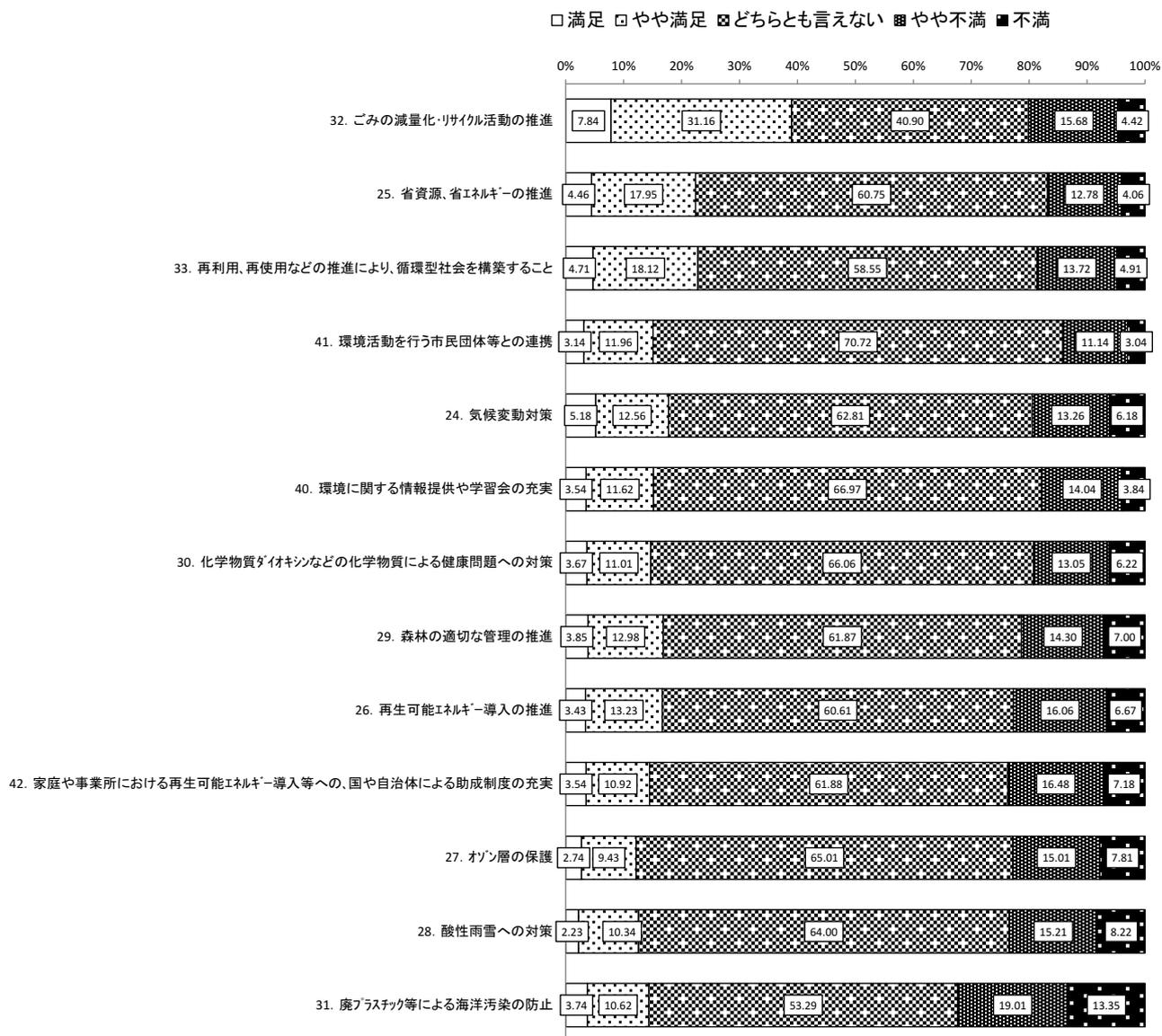
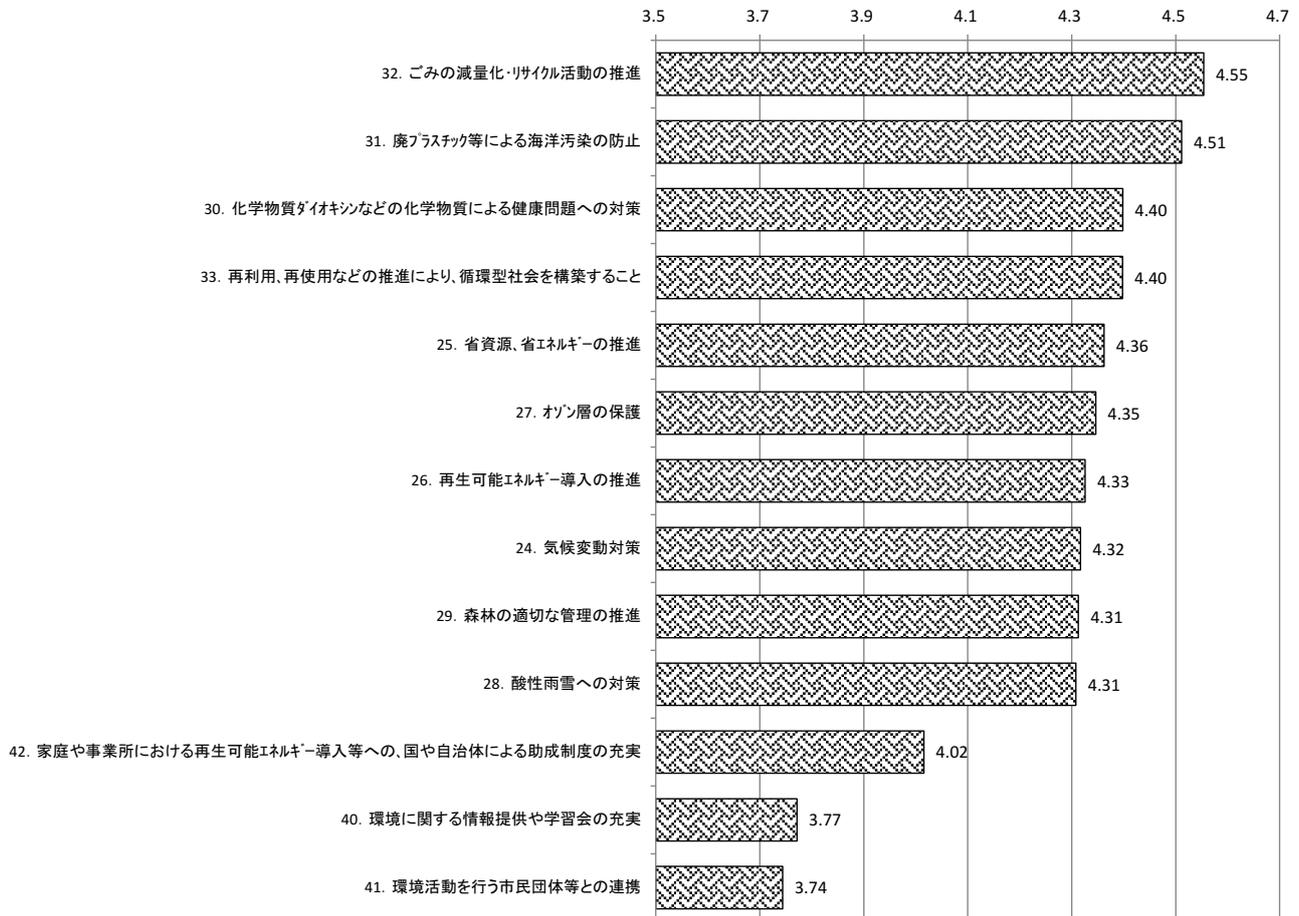


図 27 「地球規模の環境問題、循環型社会の構築、環境教育・情報発信」現状評価内訳

② 重要度

設問項目を重要度合いの高い順で並べると、最も重要度が高かったのが「ごみの減量化・リサイクル活動の推進」で、「廃プラスチック等による海洋汚染の防止」が続いていた。なお、すべての設問で平均値である 3.0 ポイントを上回っており、地球規模の環境問題、循環型社会の構築、環境教育・情報発信に対する関心の高さがうかがえた。



※数値は重要が5、やや重要であるが4、どちらとも言えないが3、あまり重要でないが2、重要でないが1とし
合計を回答者数で除し平均を求めたもの

図 28 「地球規模の環境問題、循環型社会の構築、環境教育・情報発信」重要度

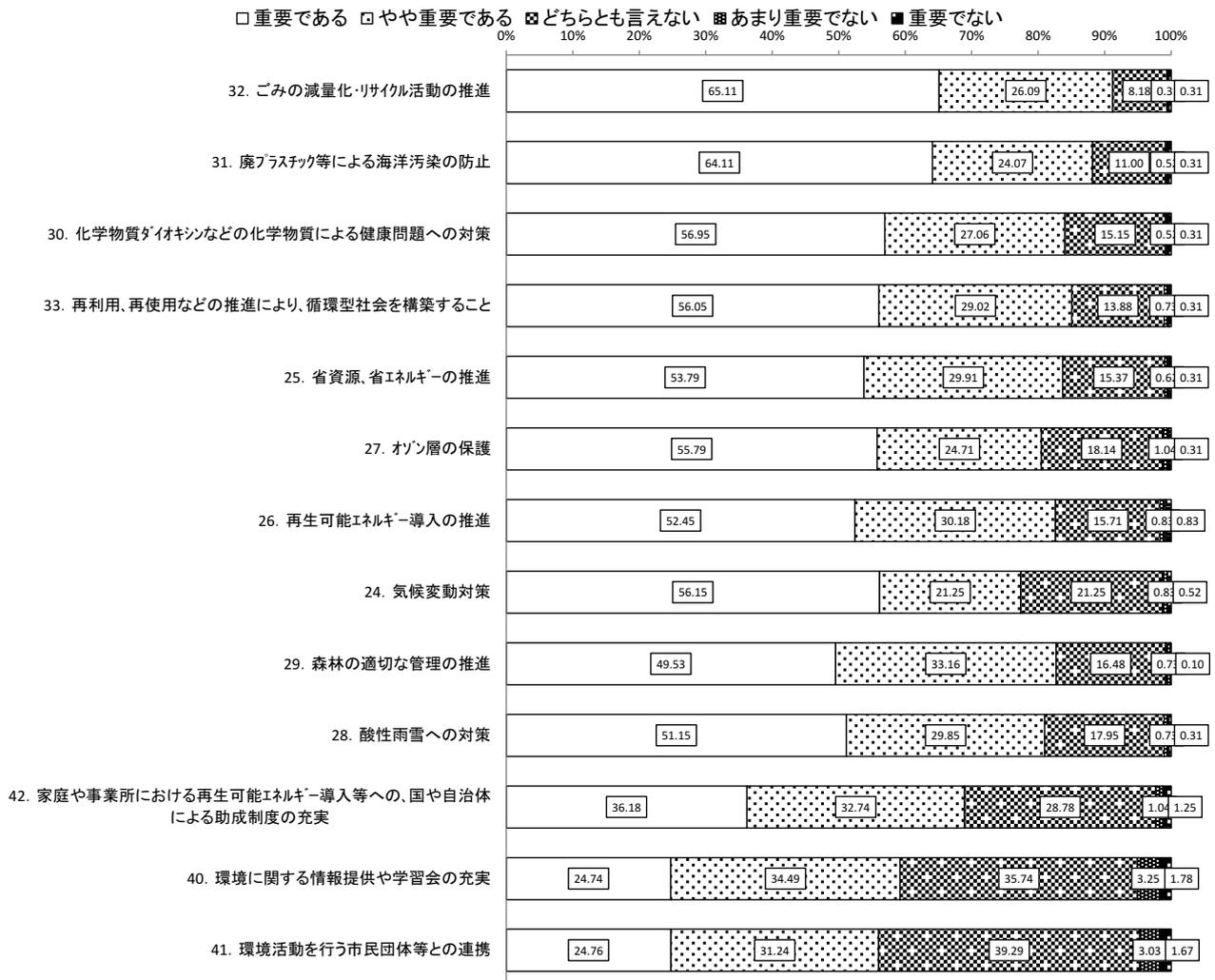


図 29 「地球規模の環境問題、循環型社会の構築、環境教育・情報発信」重要度内訳

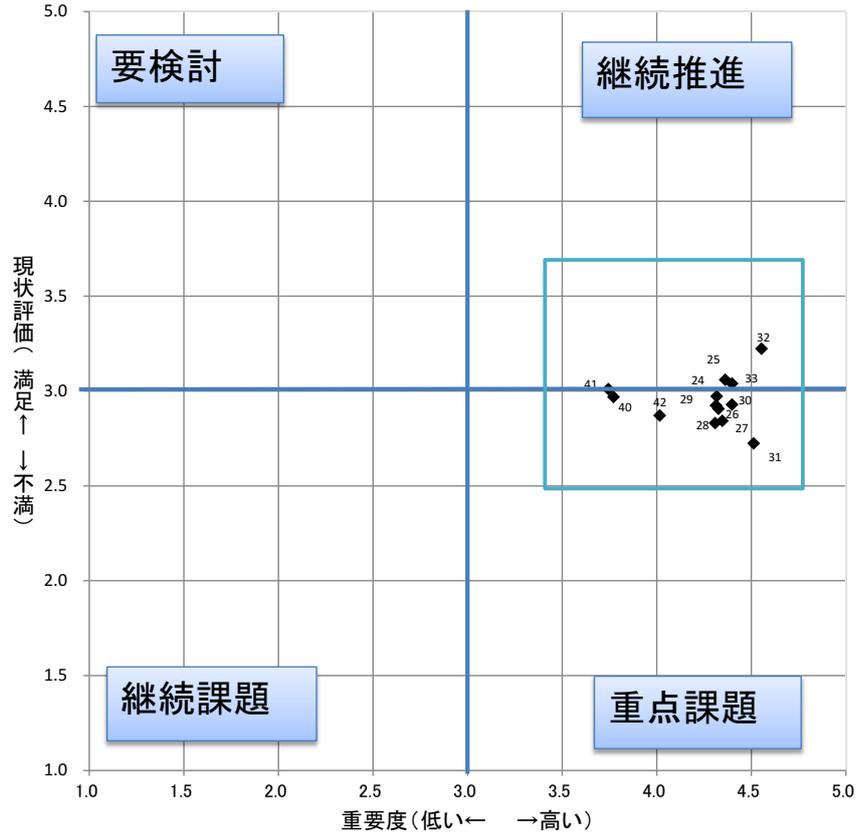


図 30 「地球規模の環境問題、循環型社会の構築、環境教育・情報発信」分散図

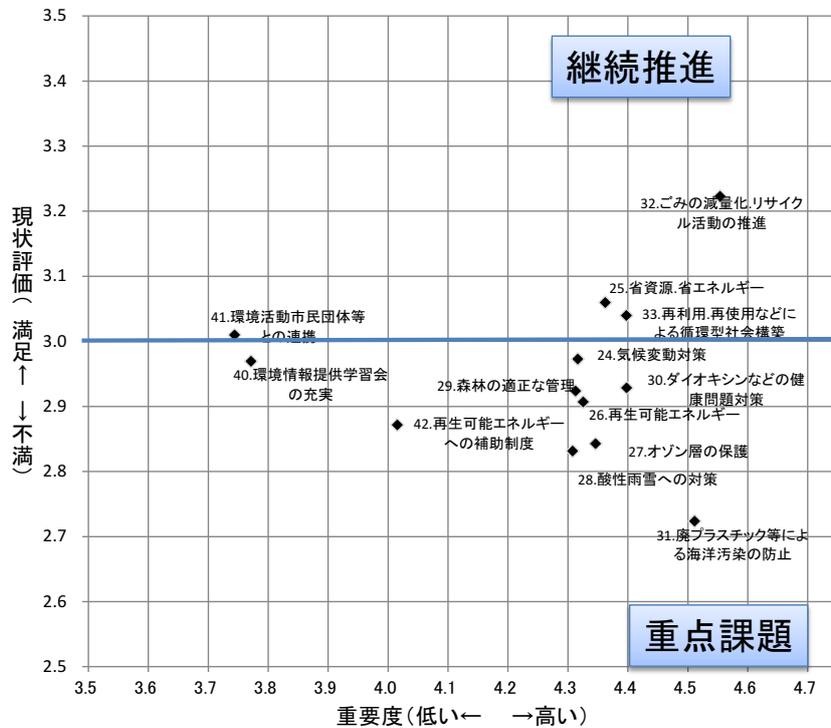


図 31 「地球規模の環境問題、循環型社会の構築、環境教育・情報発信」分散図拡大部分

5. その他（文化財・景観）

① 現状評価

設問項目を満足度合いの高い順で並べると、最も評価が高かったのが「まつり、市、伝統芸能などの伝統的な行事」で、「伝統工芸、郷土芸能などの伝統文化」が続いていた。なお、すべての設問で平均値である 3.0 ポイントを上回っており、文化財・景観については総じて現状評価が高い状況がうかがえた。

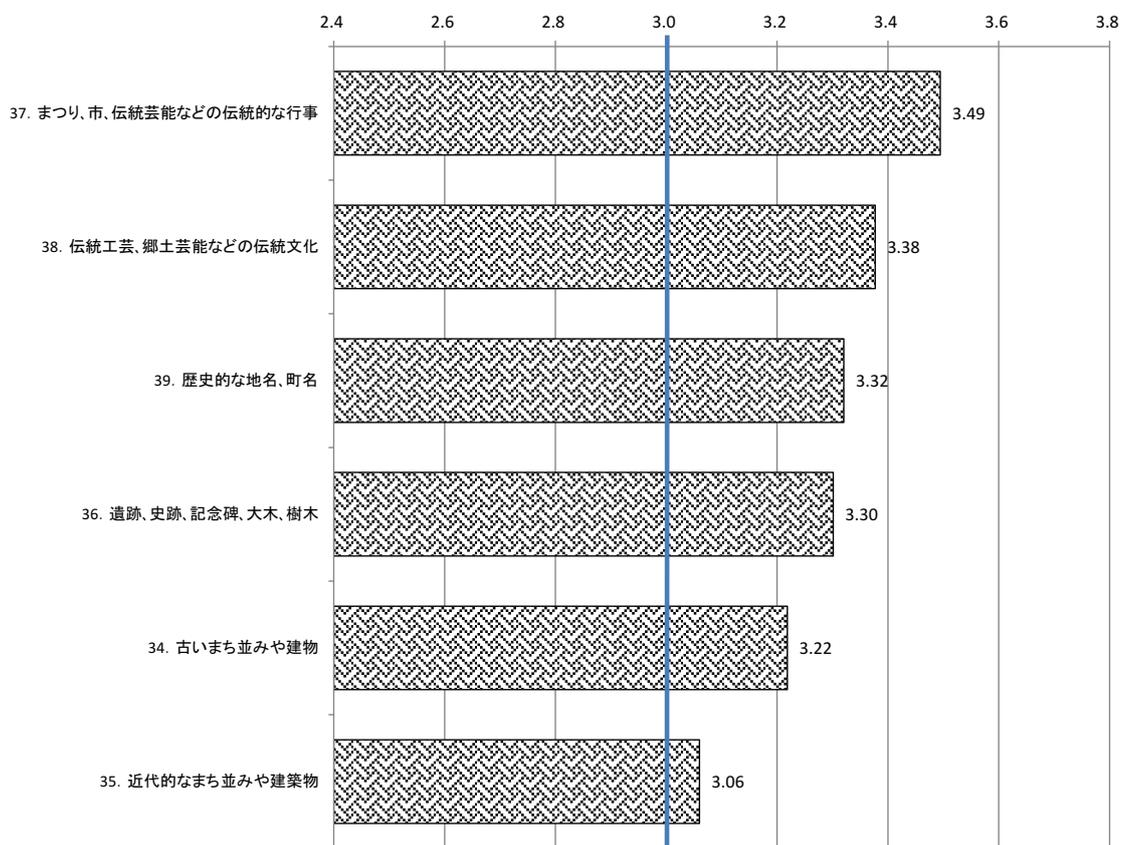


図 32 「その他（文化財・景観）」現状評価

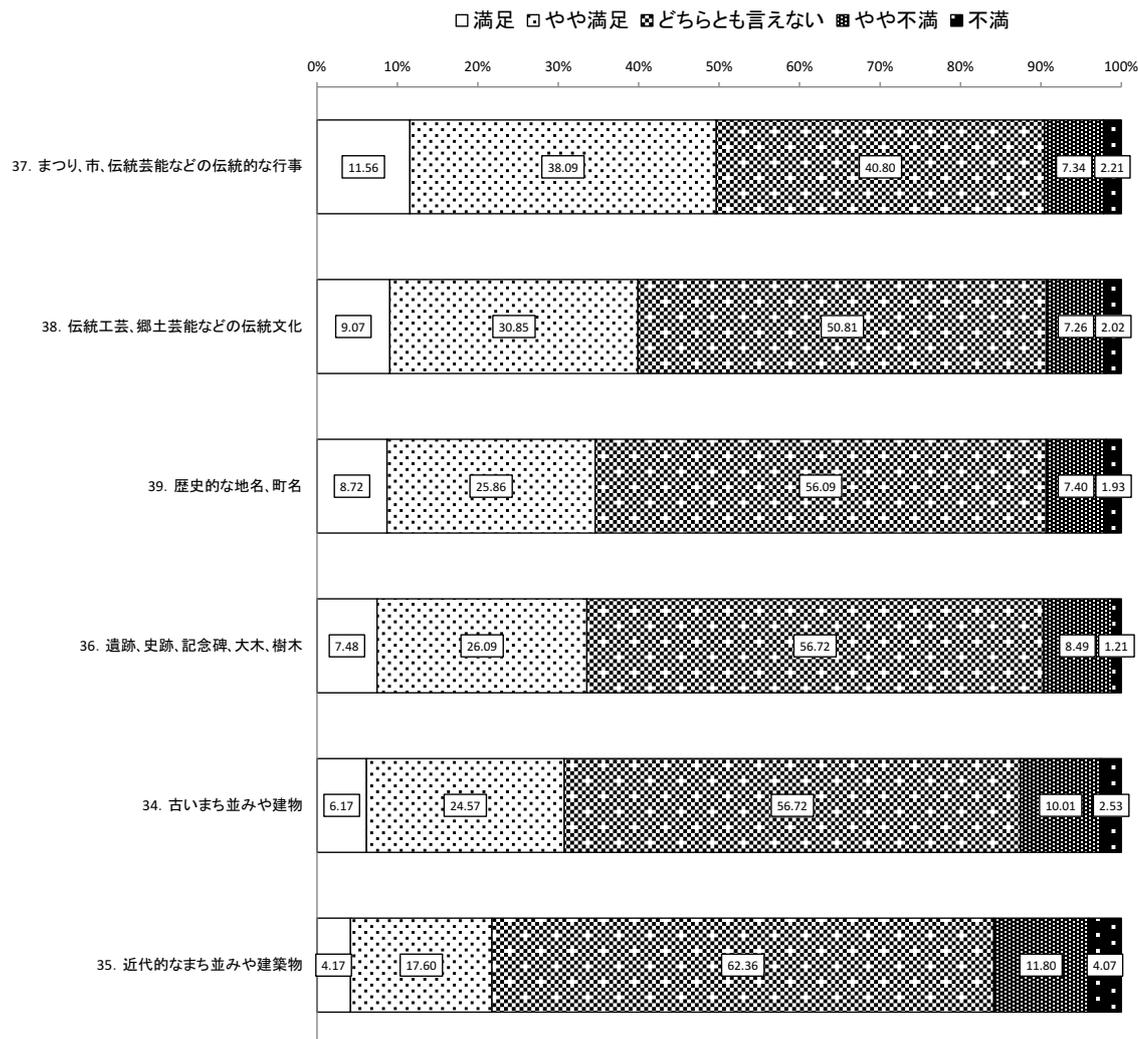
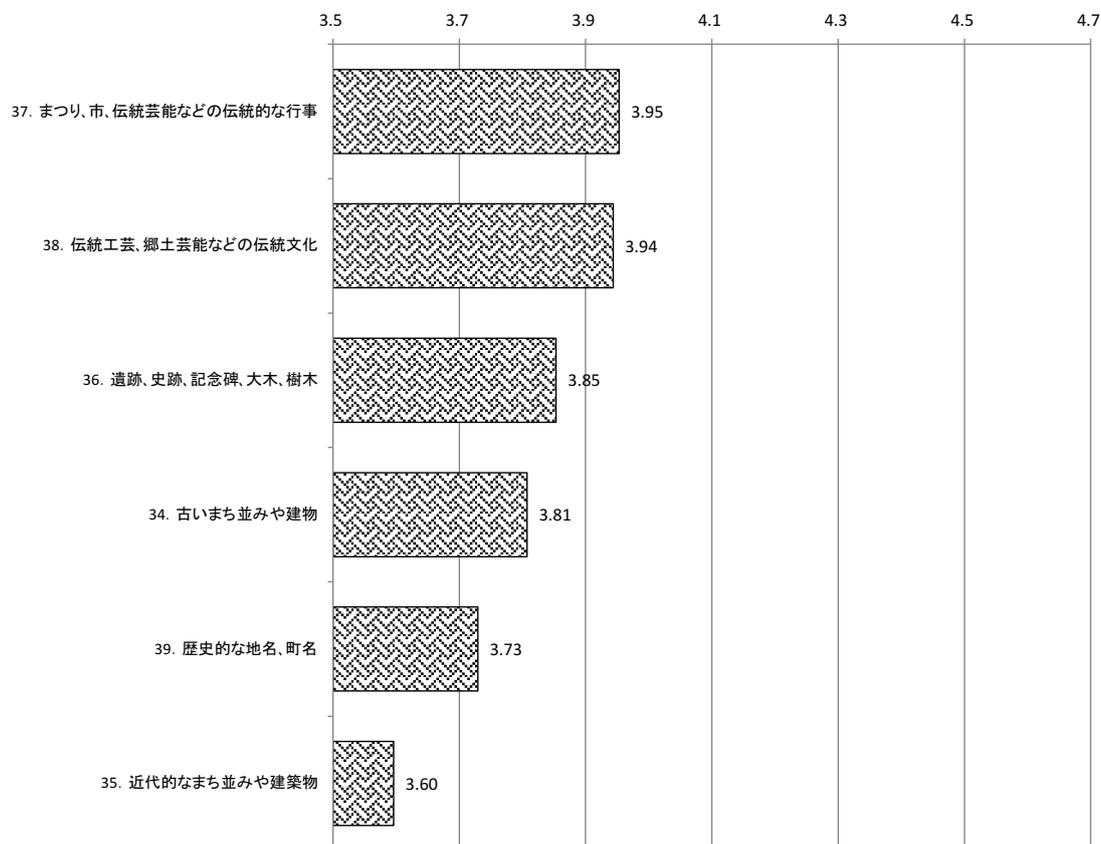


図 333 「その他（文化財・景観）」現状評価内訳

② 重要度

設問項目を重要度合いの高い順で並べると、最も重要度が高かったのが「まつり、市、伝統芸能などの伝統的な行事」で、次いで「伝統工芸、郷土芸能などの伝統文化が続いていた。なお、すべての設問で平均値である 3.0 ポイントを上回っており、文化財・景観に対する関心の高さがうかがえた。



※数値は重要が5、やや重要であるが4、どちらとも言えないが3、あまり重要でないが2、重要でないが1とし
合計を回答者数で除し平均を求めたもの

図 34 「その他（文化財・景観）」重要度

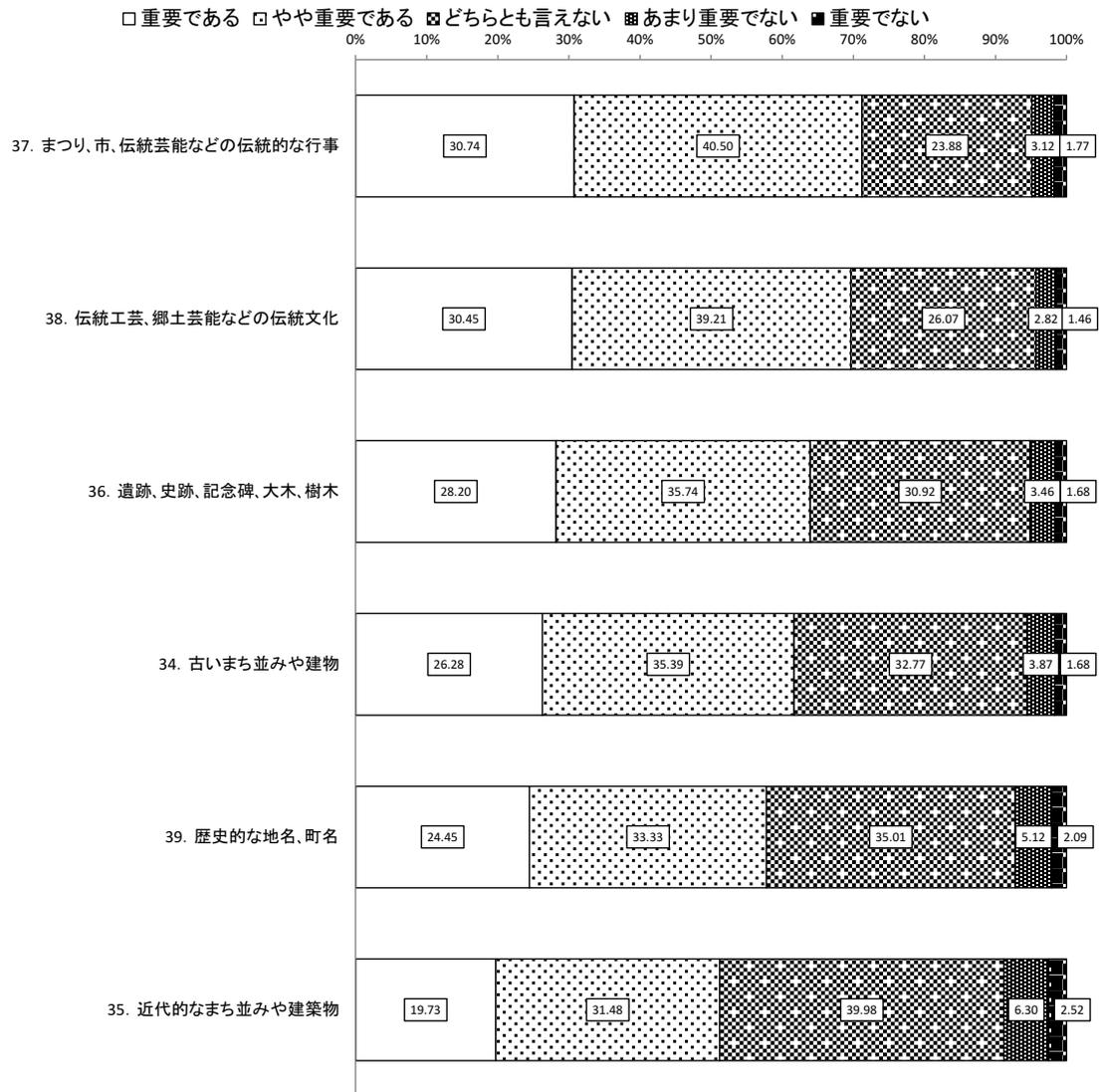


図 35 「その他（文化財・景観）」重要度内訳

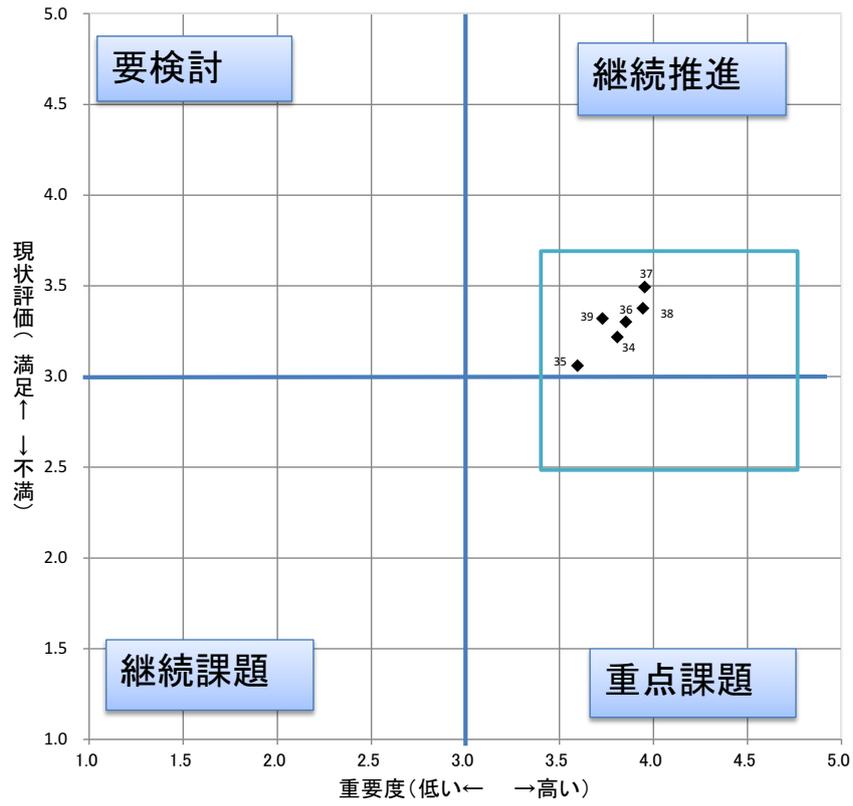


図 36 「その他（文化財・景観）」分散図

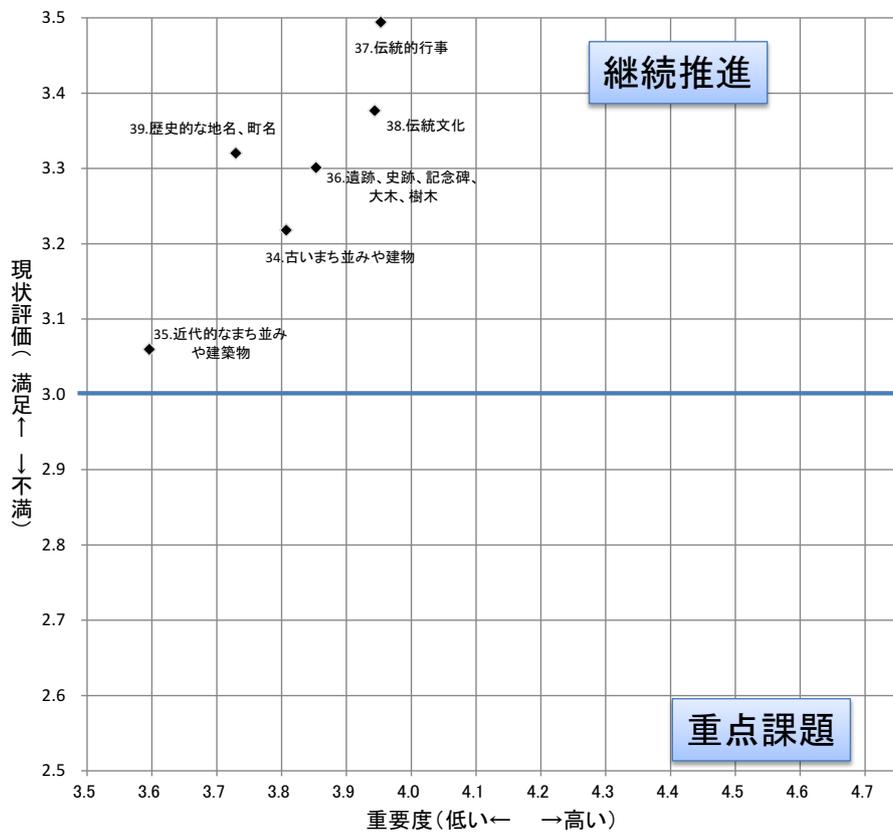


図 37 「その他（文化財・景観）」分散図拡大部分

6. 現状評価の推移

① 住まいの周辺環境

(1) すがすがしい空気、うるおいのある緑が多い等、快適な環境であること(快適面)

現状評価で「満足」と「やや満足」を合わせると77.3%であり、H22年調査の68.6%に比べて満足度は8.7ポイント向上していた。また「不満」と「やや不満」と合わせると7.1%であり、H22年調査の9.6%に比べて不満度は2.5ポイント改善していた。

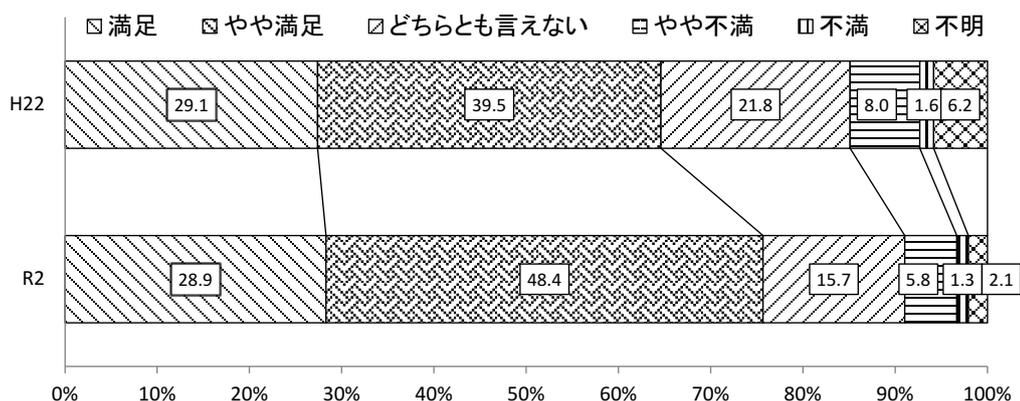


図 38 現状評価の推移

(2) ごみやし尿処理が適切で衛生的であること(衛生面)

現状評価で「満足」と「やや満足」を合わせると83.2%であり、H22年調査の60.9%に比べて満足度は22.3ポイント向上していた。また「不満」と「やや不満」と合わせると5.0%であり、H22年調査の13.5%に比べて不満度は8.5ポイント改善していた。

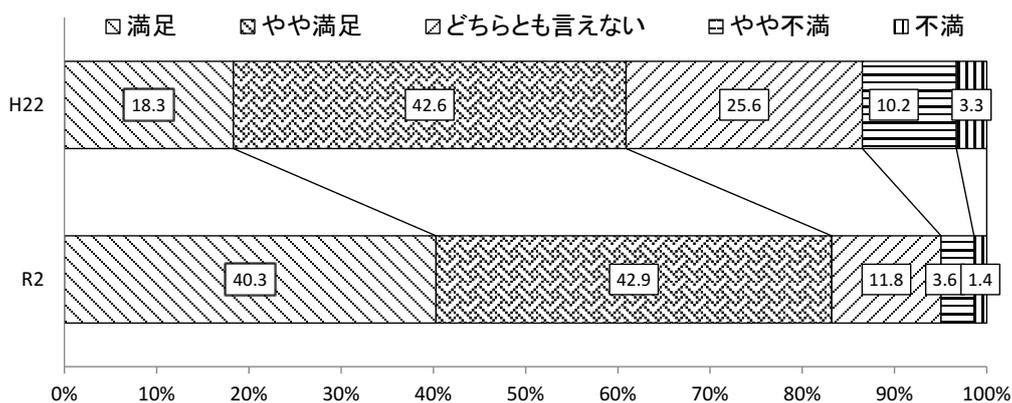


図 39 現状評価の推移

(3) 日常の買い物、通勤、通学、医療機関の受診等の利便がよいこと(利便面)

現状評価で「満足」と「やや満足」を合わせる 60.4%であり、H22 年調査の 62.1%に比べて満足度は 1.7 ポイント低下していた。また「不満」と「やや不満」と合わせると 24.7%であり、H22 年調査の 22.2%に比べて不満度は 2.5 ポイント増加していた。

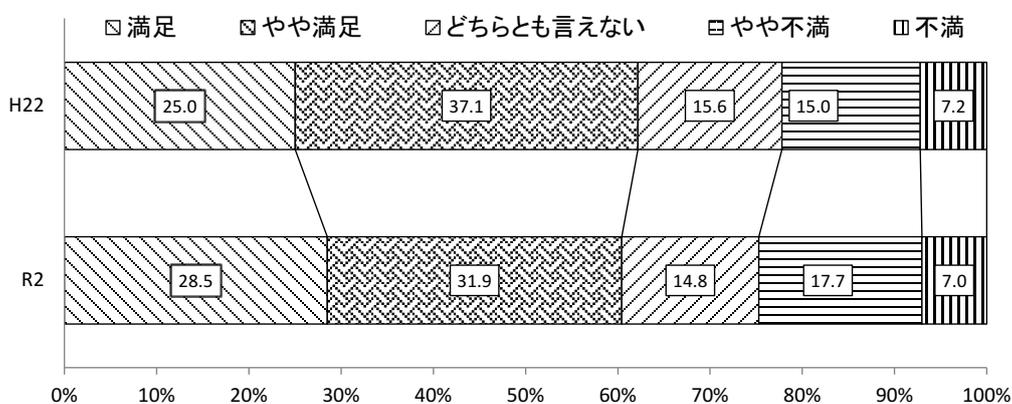


図 40 現状評価の推移

(4) 伝統的なまち並みやまちのシンボル等があり愛着がもてること(地域の個性)

現状評価で「満足」と「やや満足」を合わせると 29.7%であり、H22 年調査の 29.2%に比べて満足度は 0.5 ポイント向上していた。また「不満」と「やや不満」と合わせると 16.4%であり、H22 年調査の 19.4%に比べて不満度は 3.1 ポイント改善していた。

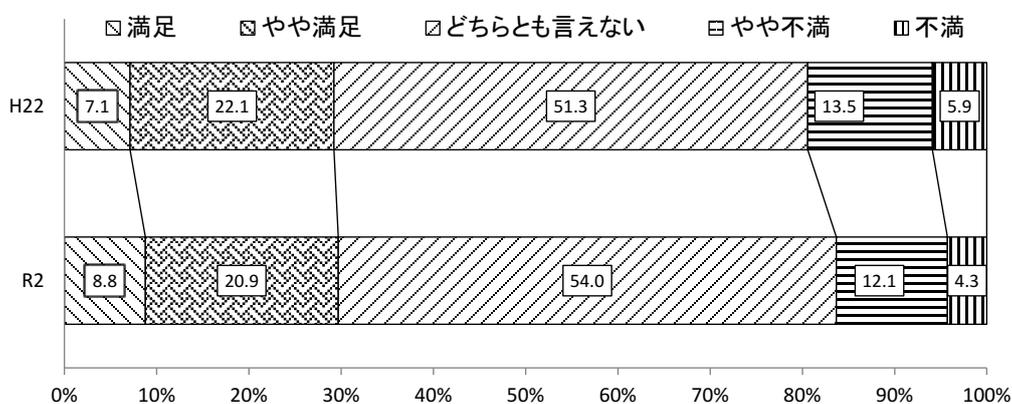


図 41 現状評価の推移

(5) 災害等の危険が少ないこと(安全面)

現状評価で「満足」と「やや満足」を合わせると73.8%であり、H22年調査の63.6%に比べて満足度は10.2ポイント向上していた。また「不満」と「やや不満」と合わせると7.7%であり、H22年調査の15.2%に比べて不満度は7.5ポイント改善していた。

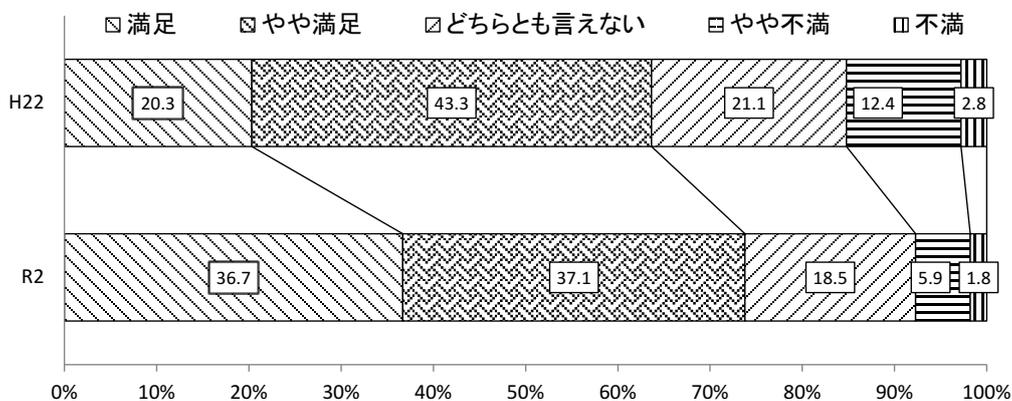


図 42 現状評価の推移

(6) 空気がきれいであること(大気、悪臭)

現状評価で「満足」と「やや満足」を合わせると81.8%であり、H22年調査の70.9%に比べて満足度は10.9ポイント向上していた。また「不満」と「やや不満」と合わせると5.1%であり、H22年調査の10.6%に比べて不満度は5.5ポイント改善していた。

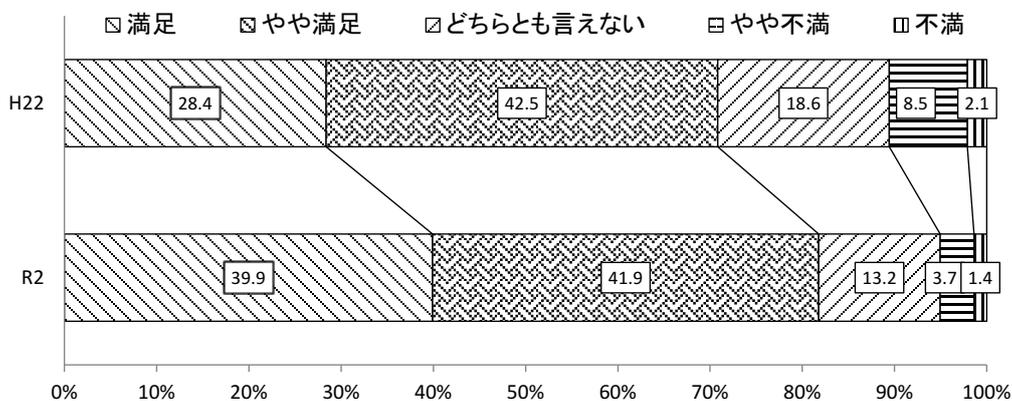


図 43 現状評価の推移

(7) 川、水路がきれいであること(水質)

現状評価で「満足」と「やや満足」を合わせると 58.5%であり、H22 年調査の 49.0%に比べて満足度は 9.5 ポイント向上していた。また「不満」と「やや不満」と合わせると 13.0%であり、H22 年調査の 20.2%に比べて不満度は 7.2 ポイント改善していた。

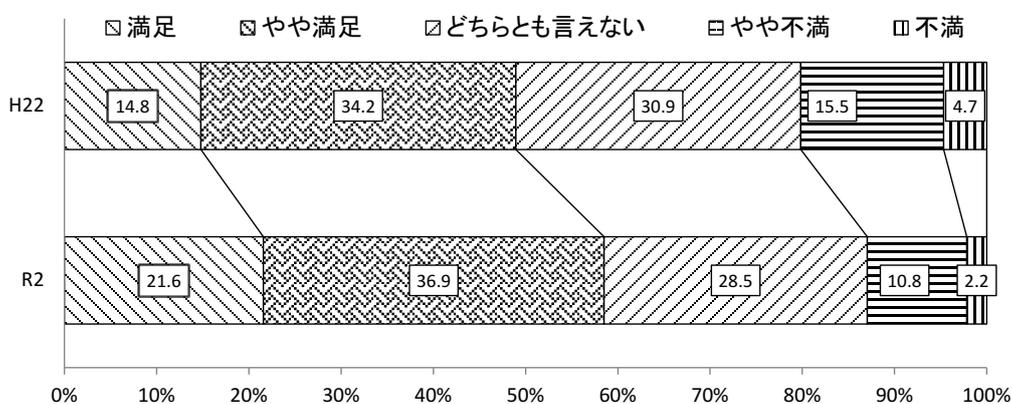


図 44 現状評価の推移

(8) まちが静かであること(騒音・振動)

現状評価で「満足」と「やや満足」を合わせると 69.7%であり、H22 年調査の 66.0%に比べて満足度は 3.7 ポイント向上していた。また「不満」と「やや不満」と合わせると 9.8%であり、H22 年調査の 14.8%に比べて不満度は 5.0 ポイント改善していた。

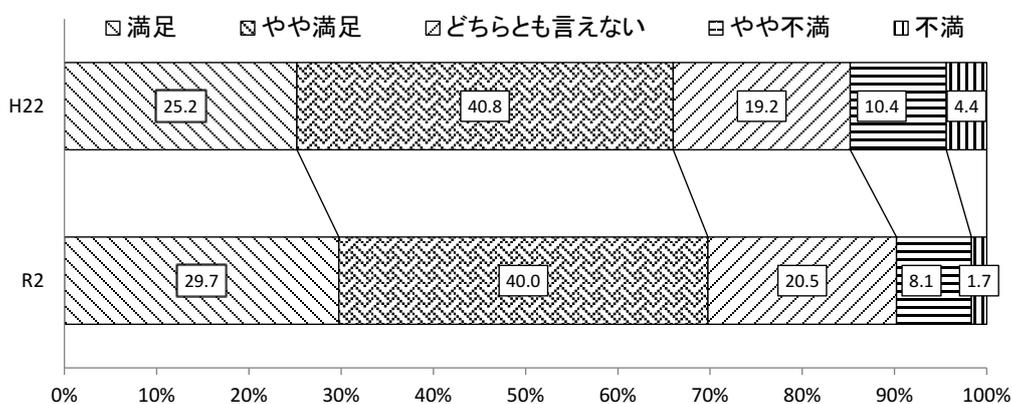


図 45 現状評価の推移

(9) まちが清潔であること(美化)

現状評価で「満足」と「やや満足」を合わせると71.1%であり、H22年調査の59.3%に比べて満足度は11.8ポイント向上していた。また「不満」と「やや不満」と合わせると7.6%であり、H22年調査の14.1%に比べて不満度は6.5ポイント改善していた。

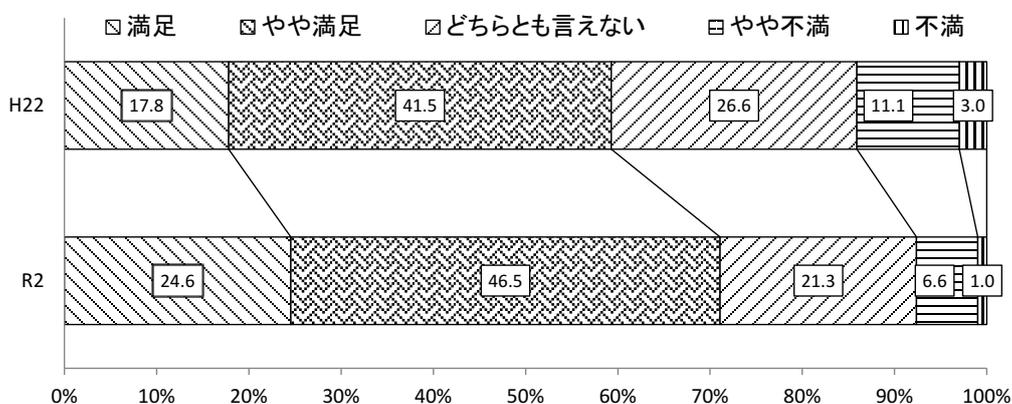


図 46 現状評価の推移

(10) 地下水に恵まれていること(地盤沈下)

現状評価で「満足」と「やや満足」を合わせると36.9%であり、H22年調査の36.0%に比べて満足度は0.9ポイント向上していた。また「不満」と「やや不満」と合わせると5.7%であり、H22年調査の9.1%に比べて不満度は3.4ポイント改善していた。

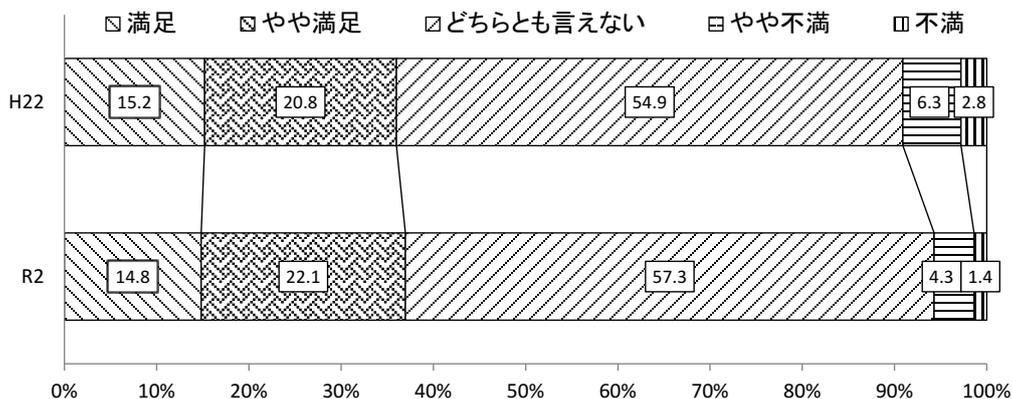


図 47 現状評価の推移

(11) 土に安心してふれられること(土壌汚染)

現状評価で「満足」と「やや満足」を合わせると65.6%であり、H22年調査の58.6%に比べて満足度は7.0ポイント向上していた。また「不満」と「やや不満」と合わせると4.5%であり、H22年調査の5.1%に比べて不満度は0.6ポイント改善していた。

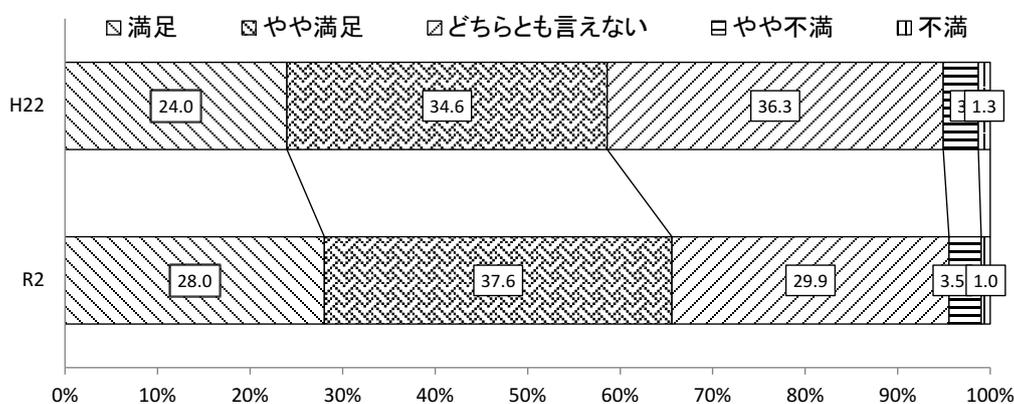


図 48 現状評価の推移

(12) 身近に緑とふれあえる場所があること(緑とのふれあい)

現状評価で「満足」と「やや満足」を合わせると71.3%であり、H22年調査の70.0%に比べて満足度は1.3ポイント向上していた。また「不満」と「やや不満」と合わせると9.2%であり、H22年調査の10.2%に比べて不満度は1.0ポイント改善していた。

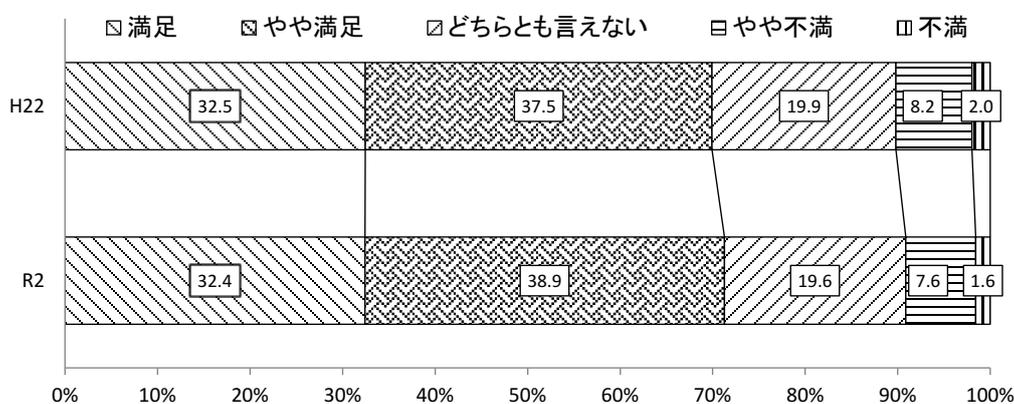


図 49 現状評価の推移

(13) 身近に水や水辺とふれあえる場所があること(水辺とのふれあい)

現状評価で「満足」と「やや満足」を合わせると48.8%であり、H22年調査の45.2%に比べて満足度は3.6ポイント向上していた。また「不満」と「やや不満」と合わせると16.8%であり、H22年調査の24.7%に比べて不満度は7.9ポイント改善していた。

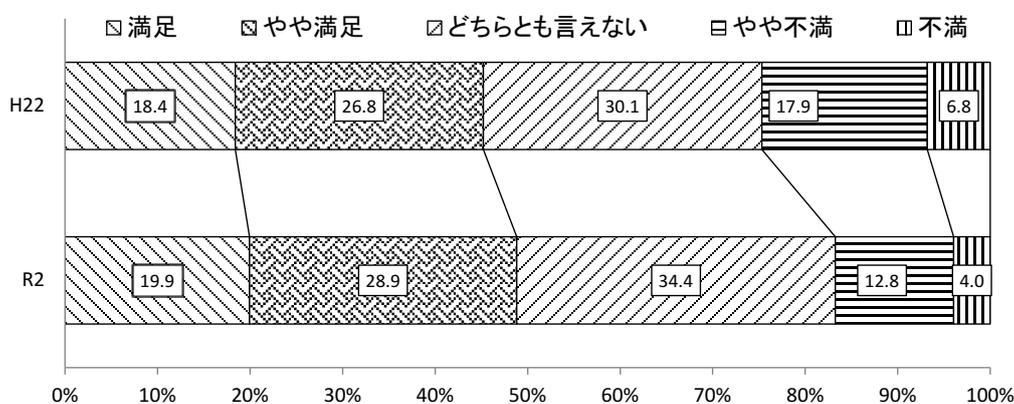


図 50 現状評価の推移

(14) まち並みが美しいこと(まち並みの美しさ)

現状評価で「満足」と「やや満足」を合わせると38.7%であり、H22年調査の35.9%に比べて満足度は2.8ポイント向上していた。また「不満」と「やや不満」と合わせると15.7%であり、H22年調査の18.8%に比べて不満度は3.1ポイント改善していた。

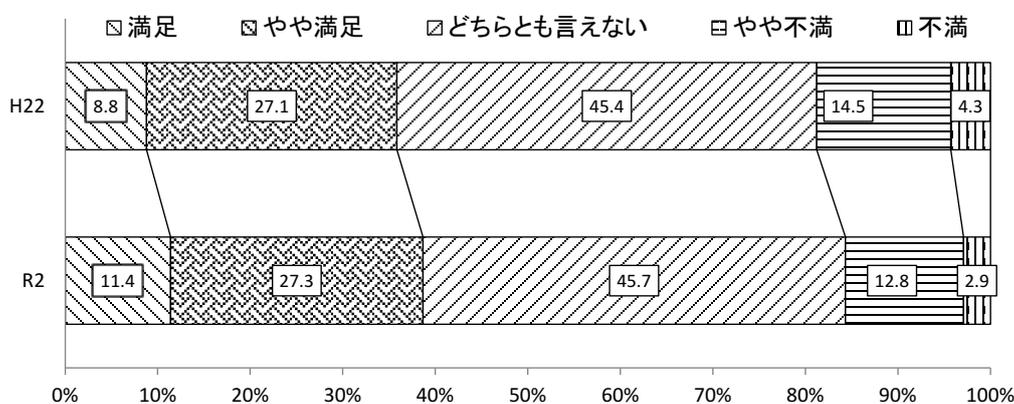


図 51 現状評価の推移

(15) 歩道等が安全であり快適であること(歩道等の安全性、快適性)

現状評価で「満足」と「やや満足」を合わせると39.2%であり、H22年調査の31.3%に比べて満足度は7.9ポイント向上していた。また「不満」と「やや不満」と合わせると31.6%であり、H22年調査の38.6%に比べて不満度は7.0ポイント改善していた。

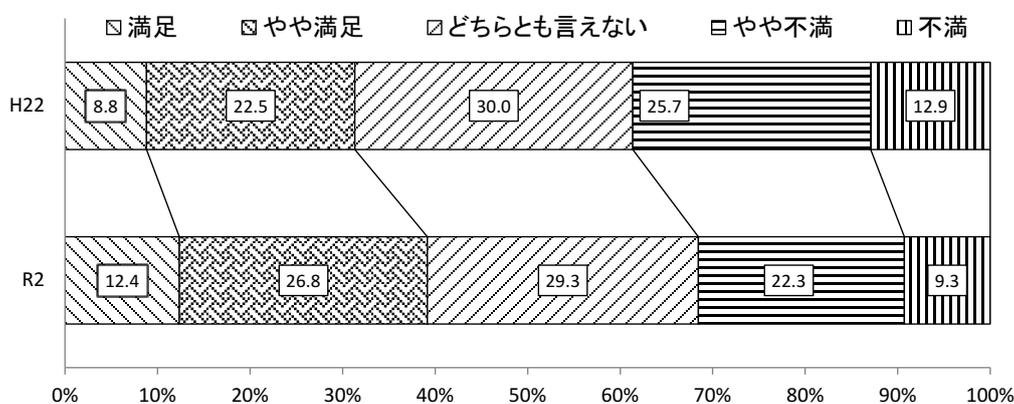


図 52 現状評価の推移

(16) 公園等まちにゆとりのある空間があること(ゆとりの空間)

現状評価で「満足」と「やや満足」を合わせると55.9%であり、H22年調査の50.7%に比べて満足度は5.2ポイント向上していた。また「不満」と「やや不満」と合わせると15.5%であり、H22年調査の20.6%に比べて不満度は5.1ポイント改善していた。

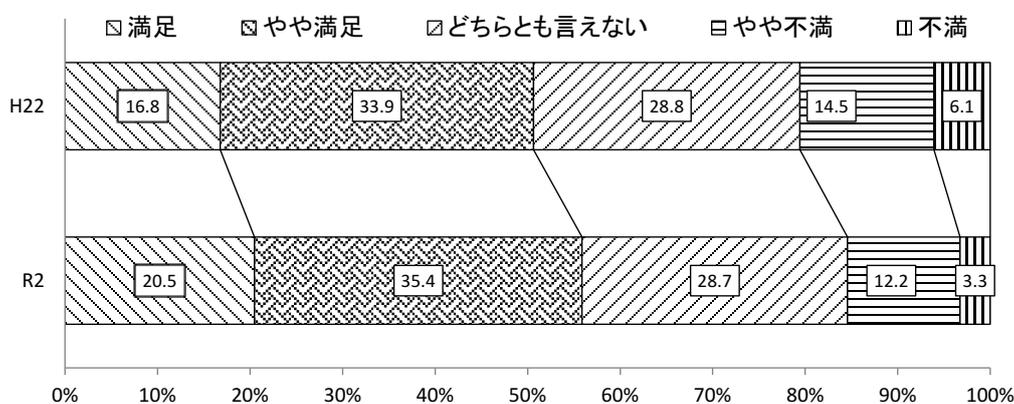


図 53 現状評価の推移

(17) 文化財や歴史的建造物がまち並みやまちづくりに活かされていること(文化財がまち並みに活用)

現状評価で「満足」と「やや満足」を合わせると28.5%であり、H22年調査の24.3%に比べて満足度は4.2ポイント向上していた。また「不満」と「やや不満」と合わせると17.0%であり、H22年調査の22.9%に比べて不満度は5.9ポイント改善していた。

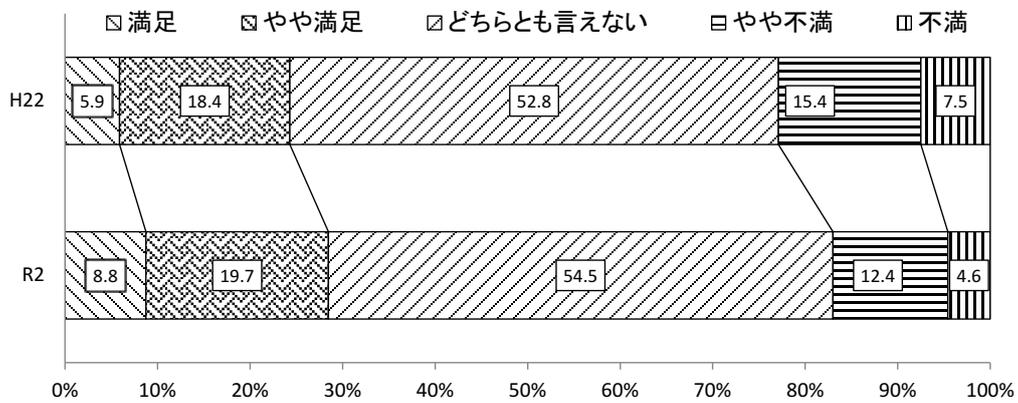


図 54 現状評価の推移

② 山形市の自然環境

(1) 市全体の自然環境が豊かであること

現状評価で「満足」と「やや満足」を合わせると 61.6%であり、H22 年調査の 63.0%に比べて満足度は 1.4 ポイント低下していた。一方、「不満」と「やや不満」と合わせると 6.5%であり、H22 年調査の 7.3%に比べて不満度は 0.8 ポイント改善していた。

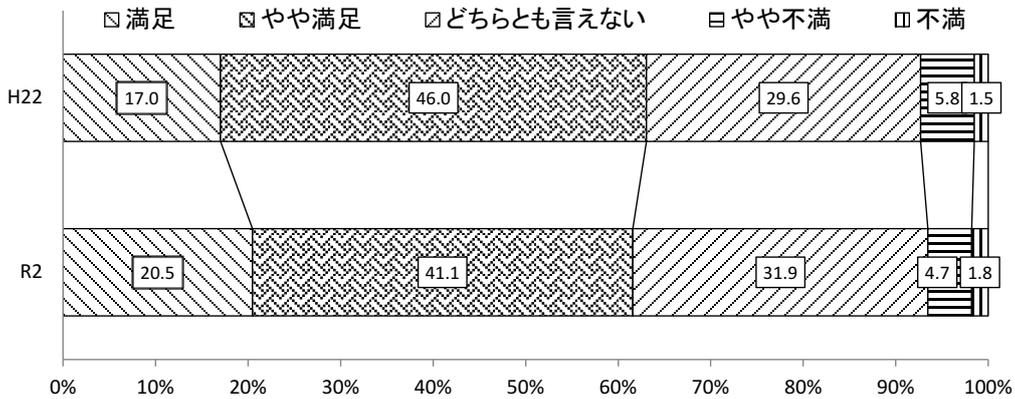


図 55 現状評価の推移

(2) 自然とふれあう機会や場所が沢山あること

現状評価で「満足」と「やや満足」を合わせると 57.6%であり、H22 年調査の 58.2%に比べて満足度は 0.6 ポイント低下していた。また「不満」と「やや不満」と合わせると 11.4%であり、H22 年調査の 11.3%に比べて不満度は 0.1 ポイント増加していた。

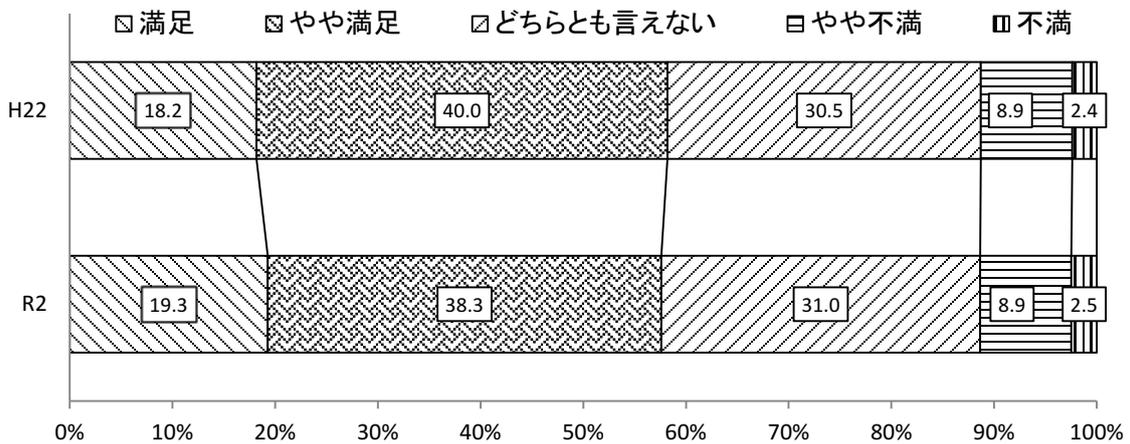


図 56 現状評価の推移

Ⅲ. 住まいの周辺（概ね500m範囲）環境について

1. 「空気がきれいであること」の現状評価において不満を感じる理由（複数回答）

不満を感じる理由として最も多かったのは「自動車の排気ガス」で47.1%、次いで「道路からの粉じん」が45.1%であった。

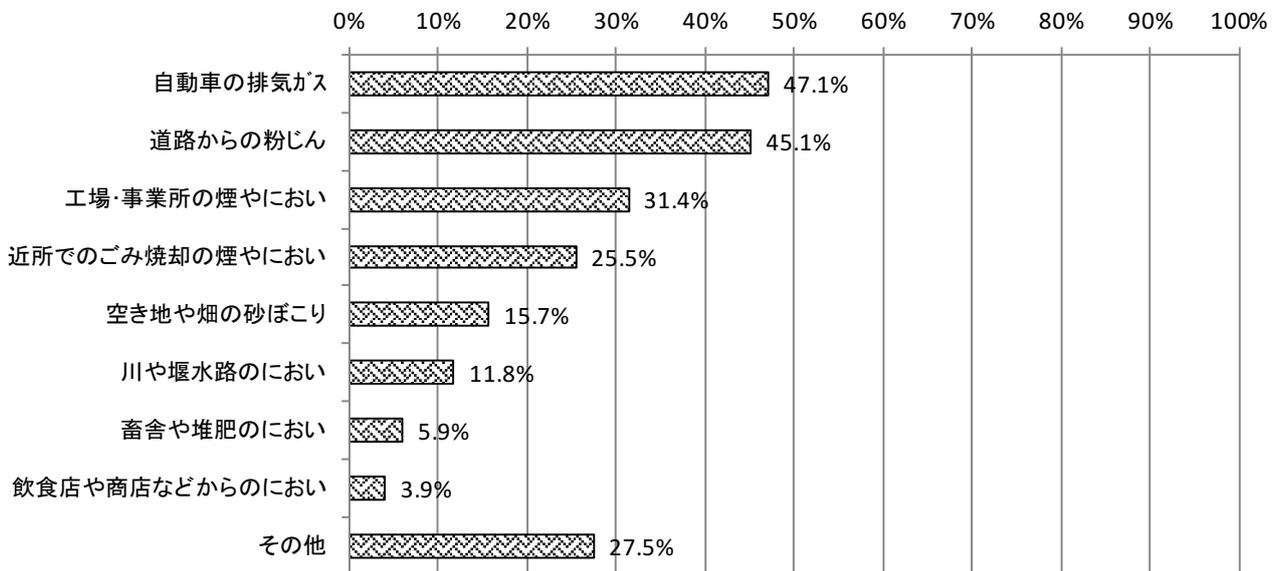


図 57 回答割合

2. 「川、水路がきれいであること」の現状評価において不満を感じる理由（複数回答）

不満を感じる理由として最も多かったのは「投棄ごみや浮遊物」で70.6%であった。

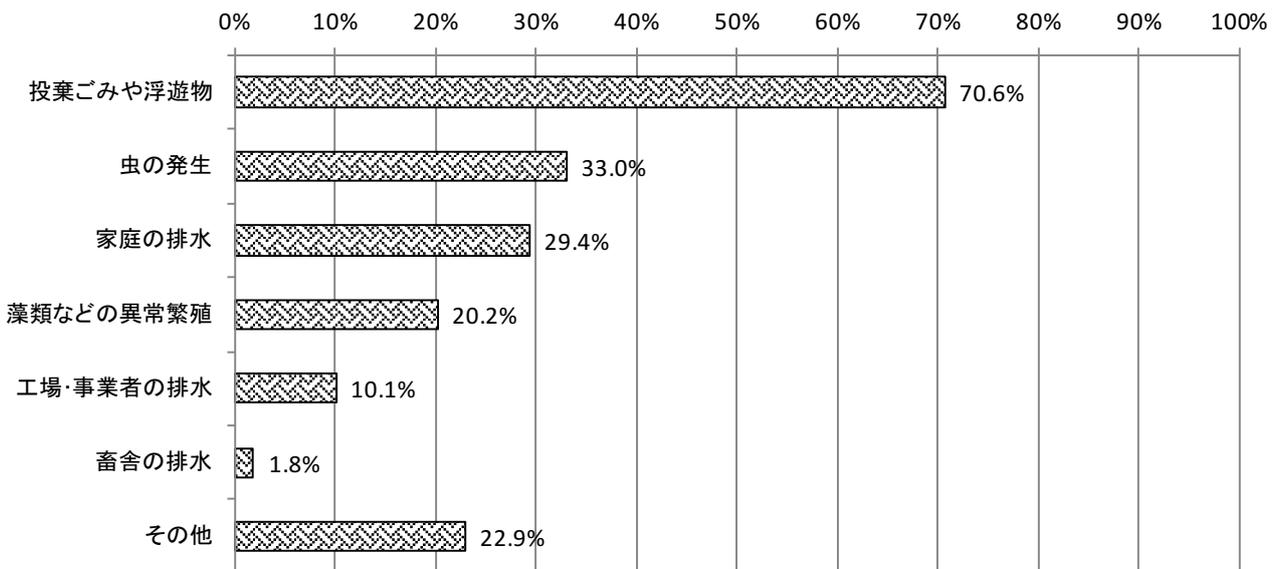


図 58 回答割合

3. 「まちが静かであること」の現状評価において不満とを感じる理由（複数回答）

不満を感じる理由として最も多かったのは「自動車・バイクの走行等による道路の騒音・振動」で67.7%であった。

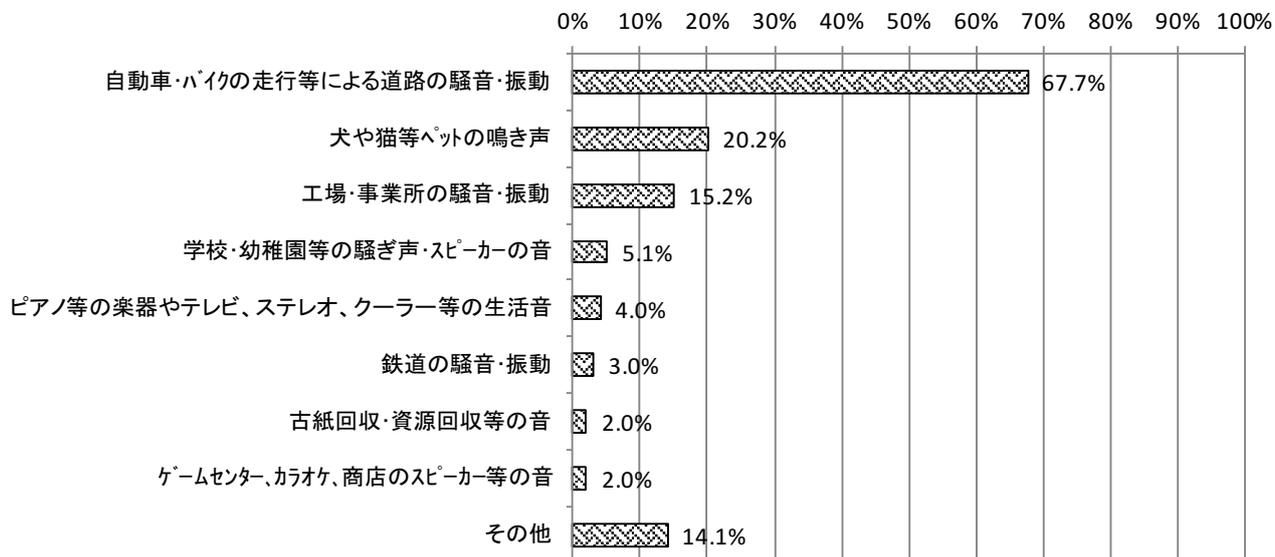


図 59 回答割合

4. 「まちが清潔であること」の現状評価において不満とを感じる理由（複数回答）

不満を感じる理由として最も多かったのは「空き缶やタバコの吸い殻等、ポイ捨てごみの散乱」で55.8%、次いで「犬や猫等のペットのふん」が40.3%であった。

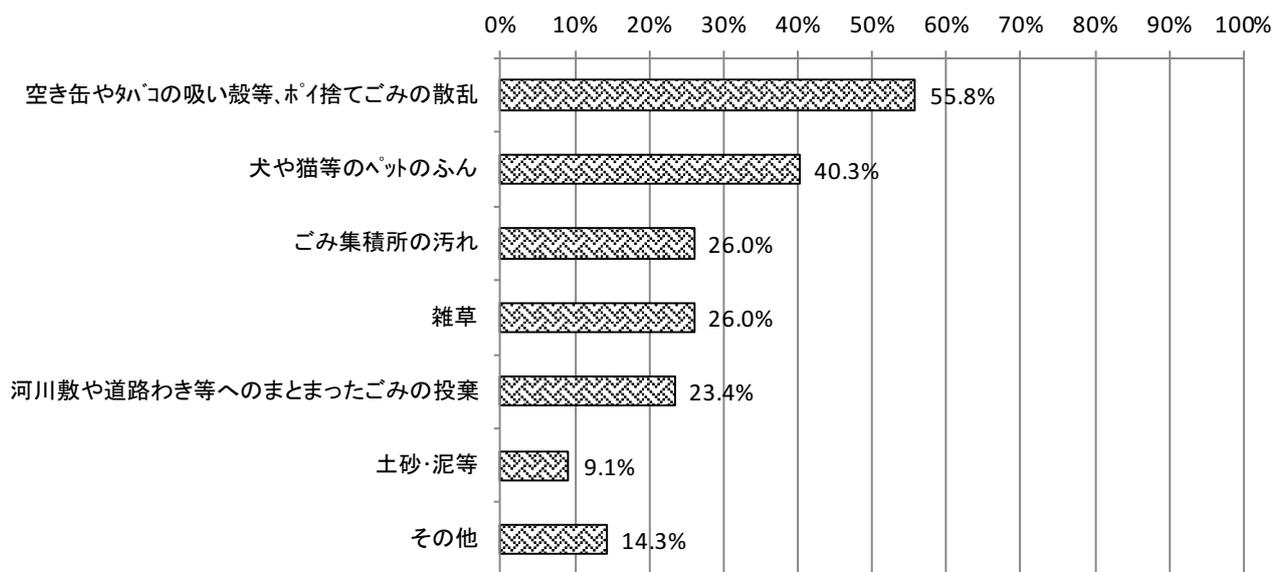


図 60 回答割合

IV. 山形市の自然環境について

1. 「自然とのふれあいの場所が沢山あること」の満足度において不満を感じる理由（複数回答）

不満を感じる理由として最も多かったのは「自然と親しめる公園などが少ない」で53.0%であった。

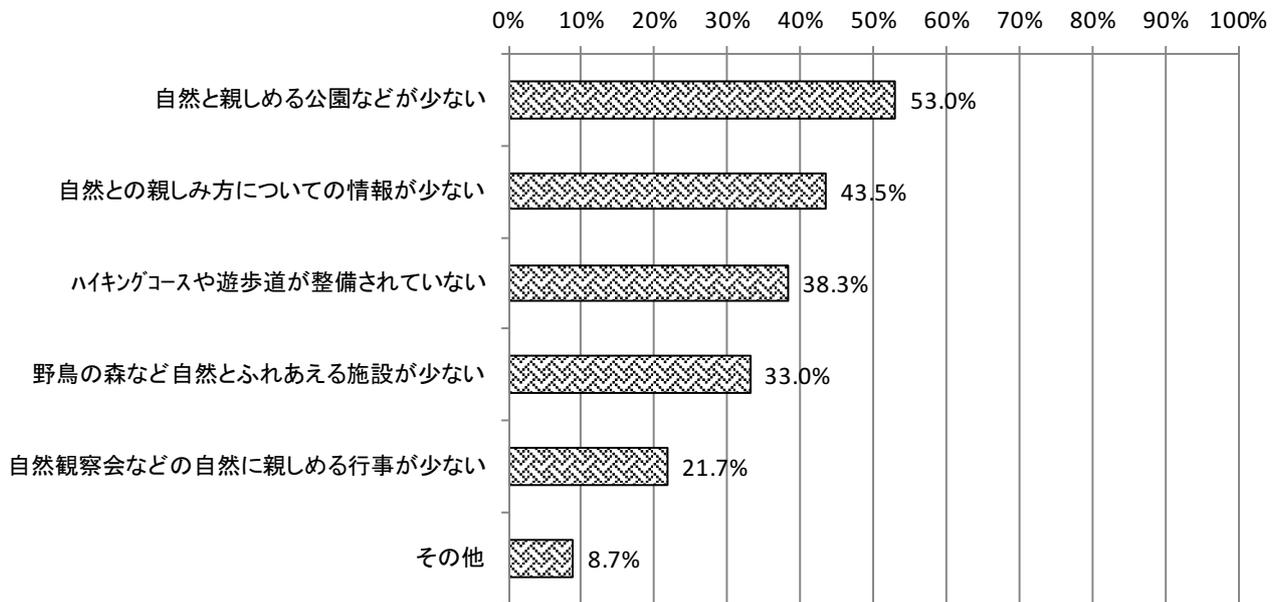


図 61 回答割合

2. 過去1年以内に日常生活や仕事等で、動物による被害を受けたことがあるか。

「被害を受けたことはない」が35.1%であり、6割以上の市民が過去1年以内に被害を受けている状況であった。被害の内訳をみると、「鳴き声やふん害により迷惑をかけられたことがある」が31.6%と最も多くなっていた。

図63の地域別でみると滝山、東沢地区など市の東部で農産物の被害が多く、鳴き声やふん害は鈴川、滝山、南沼原地区など市内全域に及んでいる。また鳴き声やふん害、家屋への侵入ではネコが多く、集団化した動物ではカラスの被害が多い状況がうかがえた。

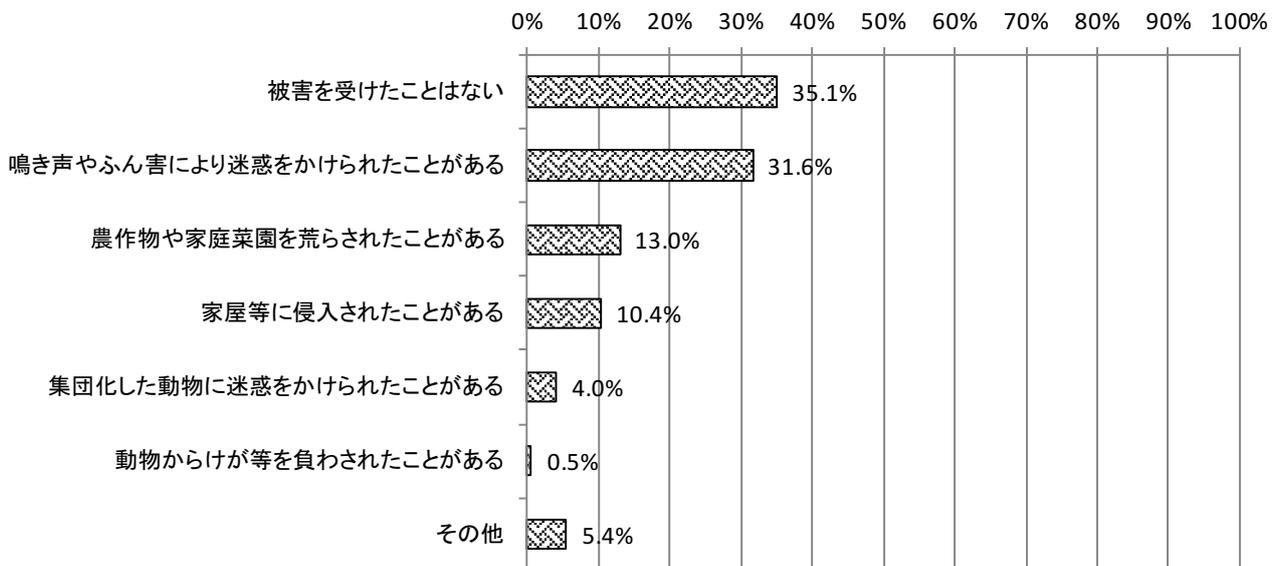


図 62 回答割合

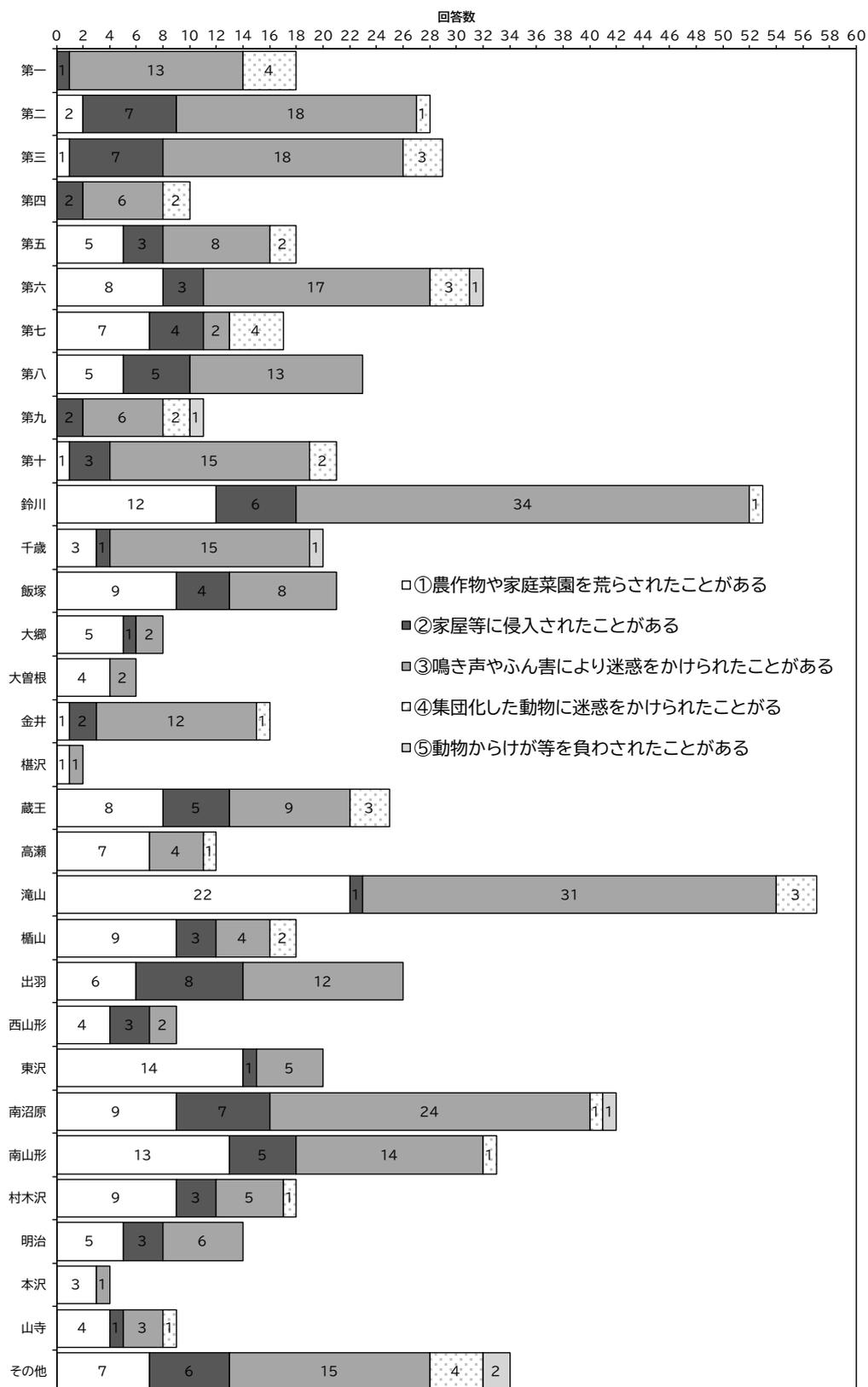


図 63 地域別動物被害数

② 家屋等に侵入されたことがある

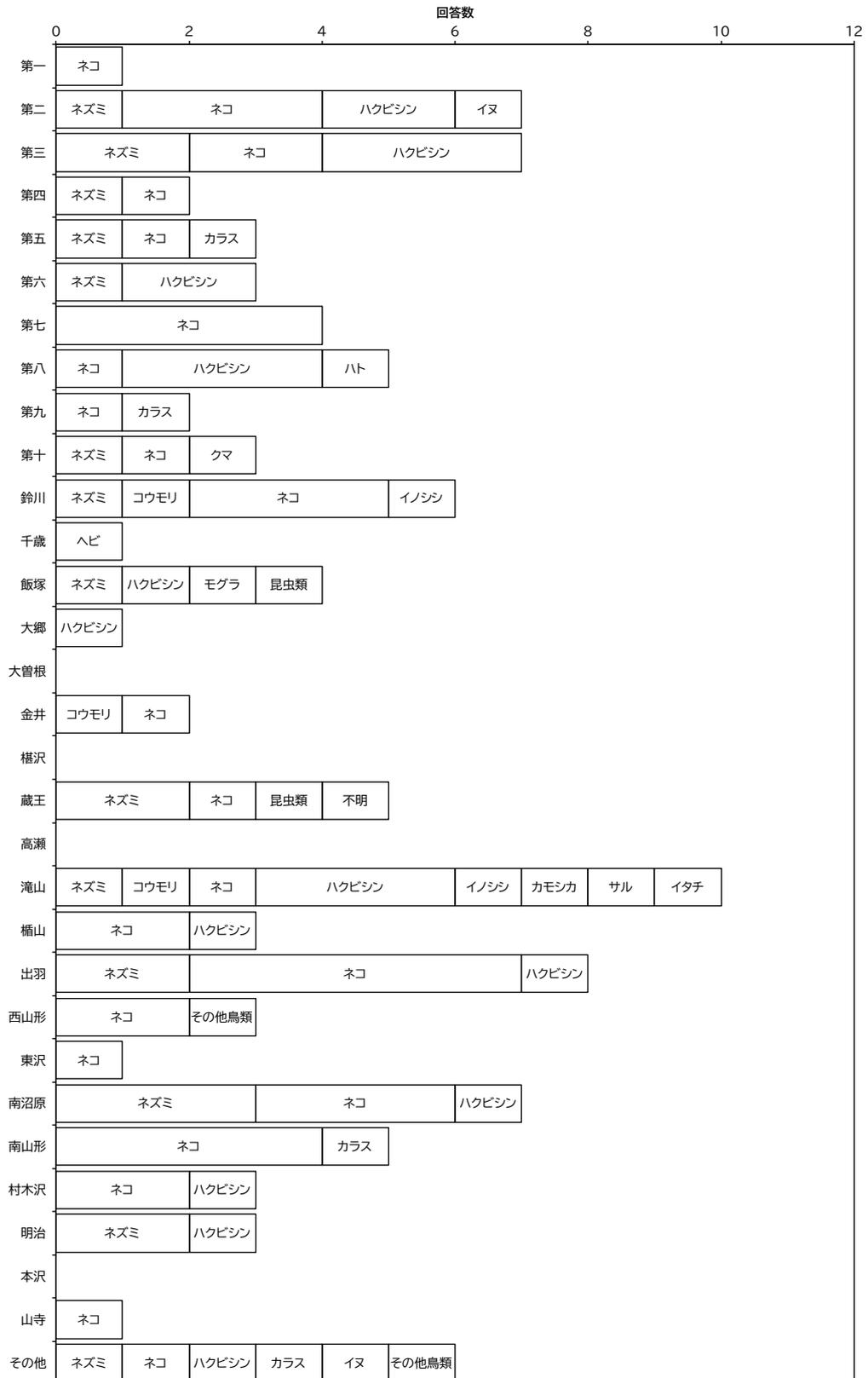


図 65 地域別動物名

③ 鳴き声やふん害により迷惑をかけられたことがある

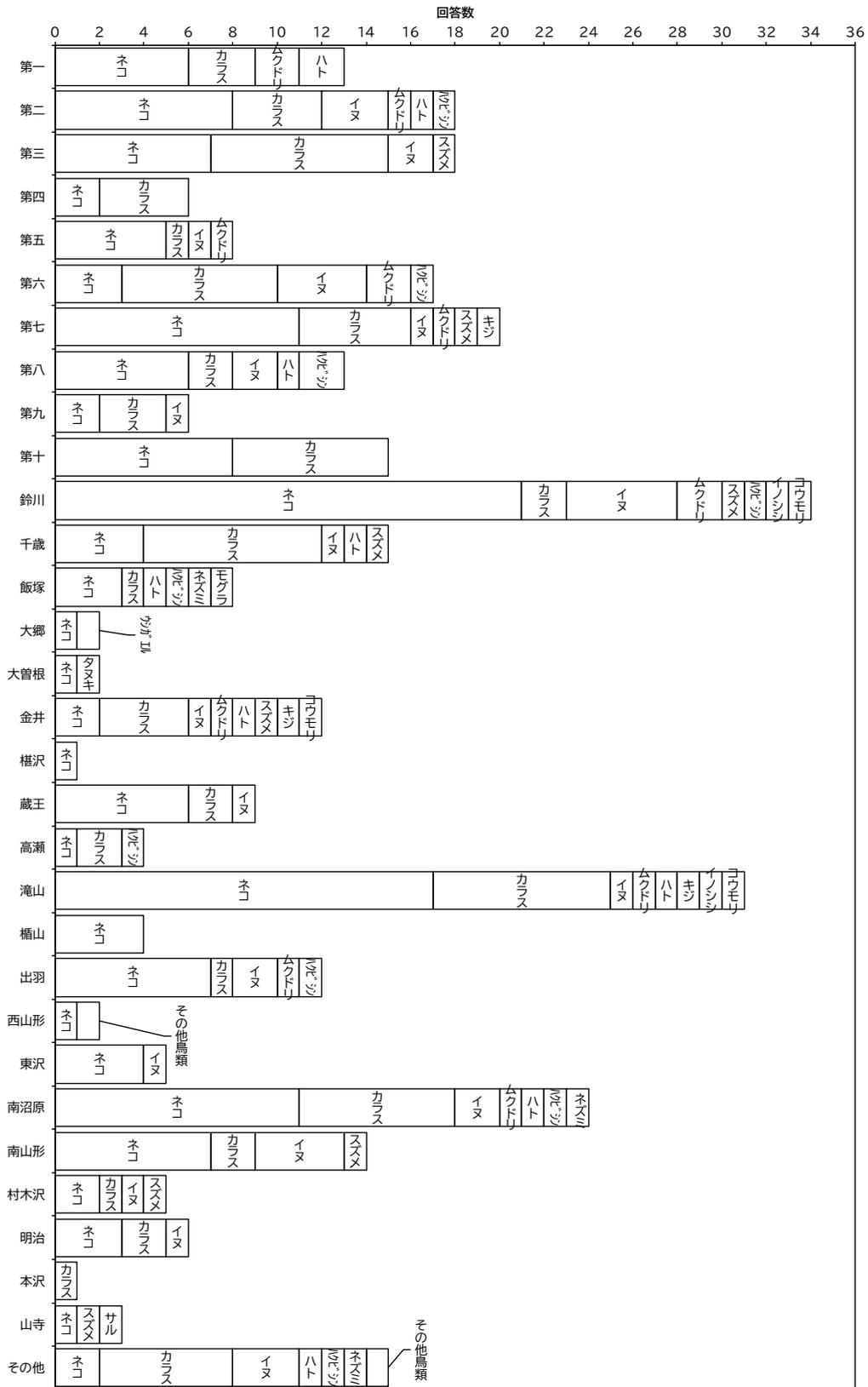


図 66 地域別動物名

④ 集団化した動物に迷惑をかけられたことがある

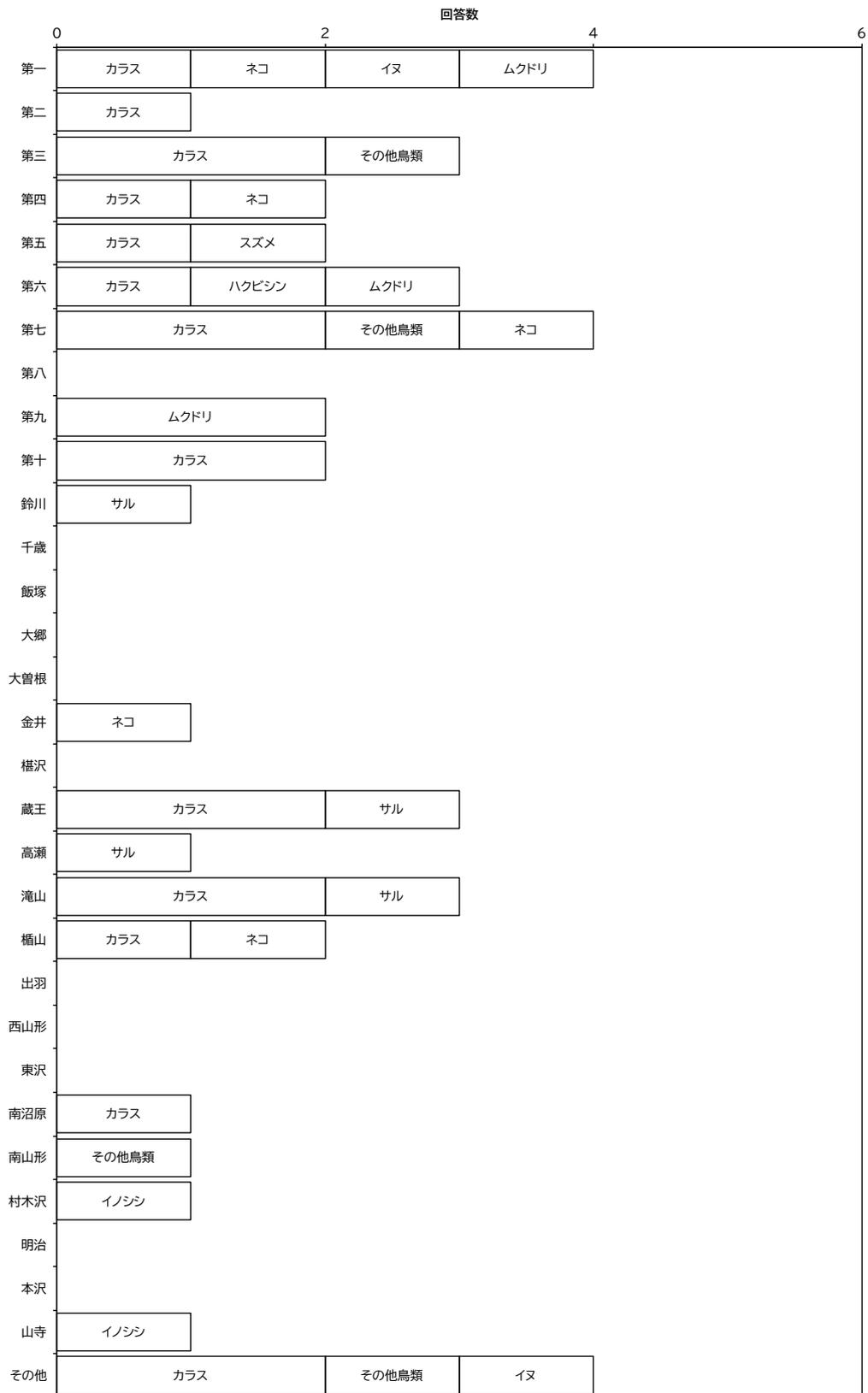


図 67 地域別動物名

⑤ 動物からけが等を負わされたことがある

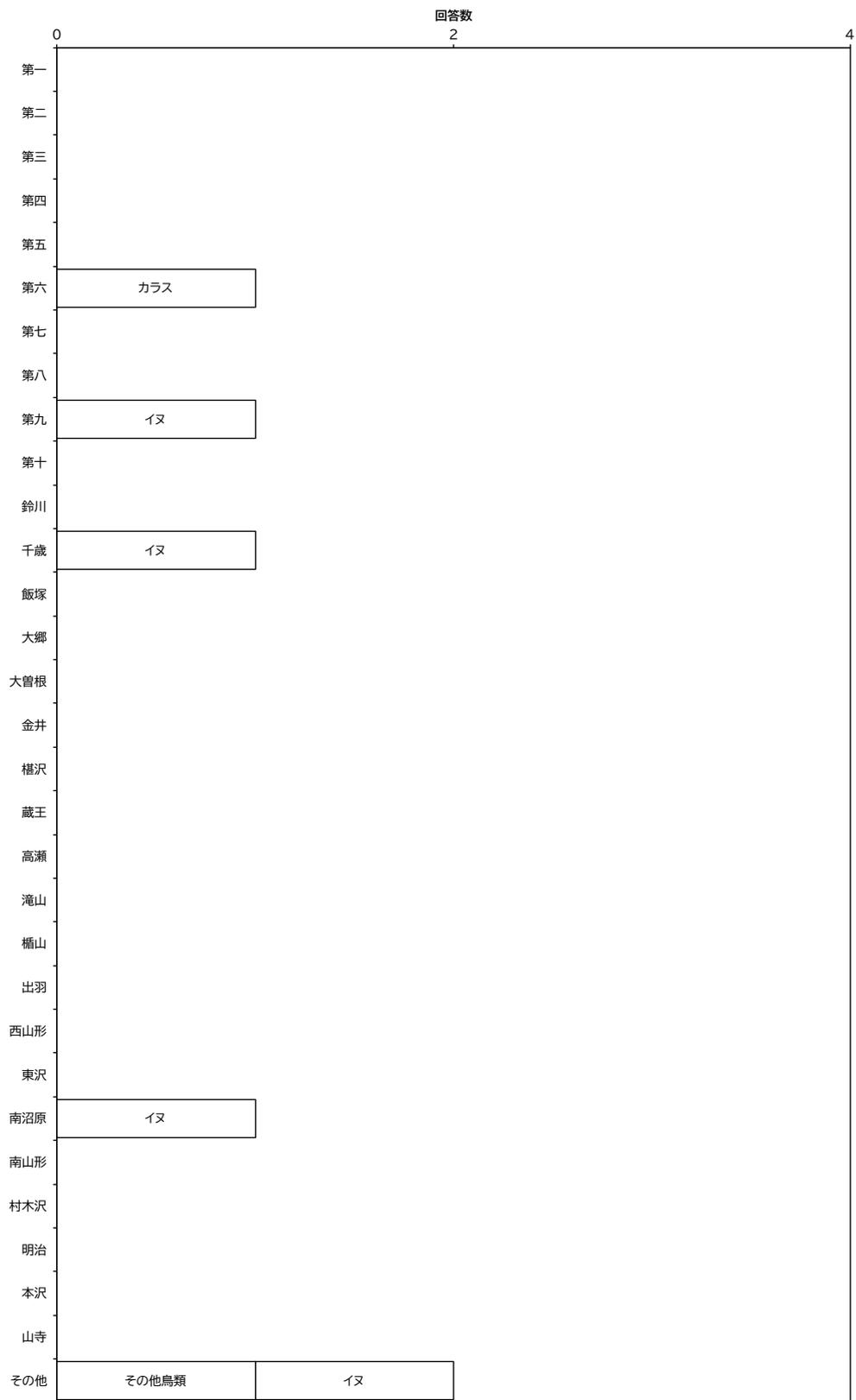


図 68 地域別動物名

V. 地球規模の環境問題と循環型社会の構築について

1. 国民運動 COOL CHOICE（クールチョイス＝賢い選択）を認知状況

国民運動 COOL CHOICE（クールチョイス＝賢い選択）を「知らない（今回の調査で初めて知った）」市民が 72.5%を占めており、市民の認知度が低い状況であった。

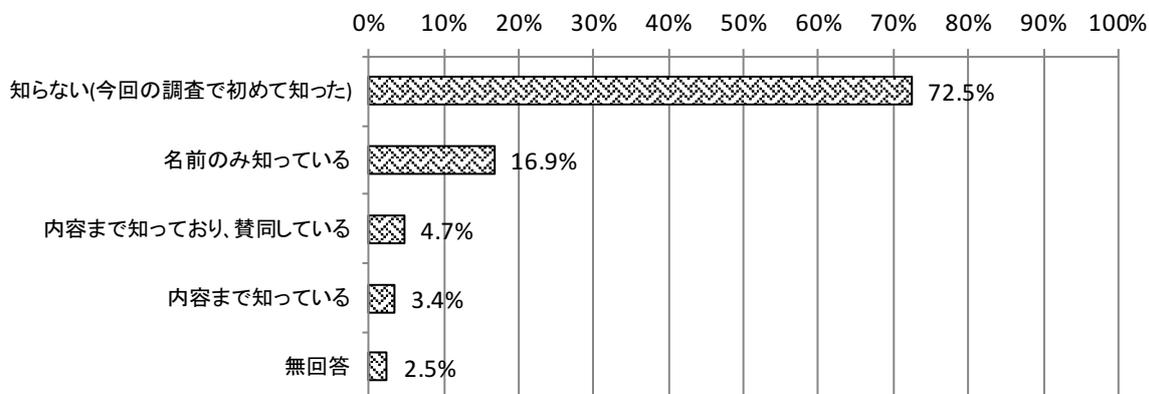


図 69 回答割合

2. 地球温暖化防止への取組みとして重要なもの（3つ選択）

地球温暖化防止への取組みとして重要なものとして最も多かったのは「リサイクルの徹底などによるごみの減量化」で 52.6%、次いで「再生可能エネルギーの開発・導入」が 44.2%、「温室効果ガスの排出量の抑制」が 38.3%と続いていた。

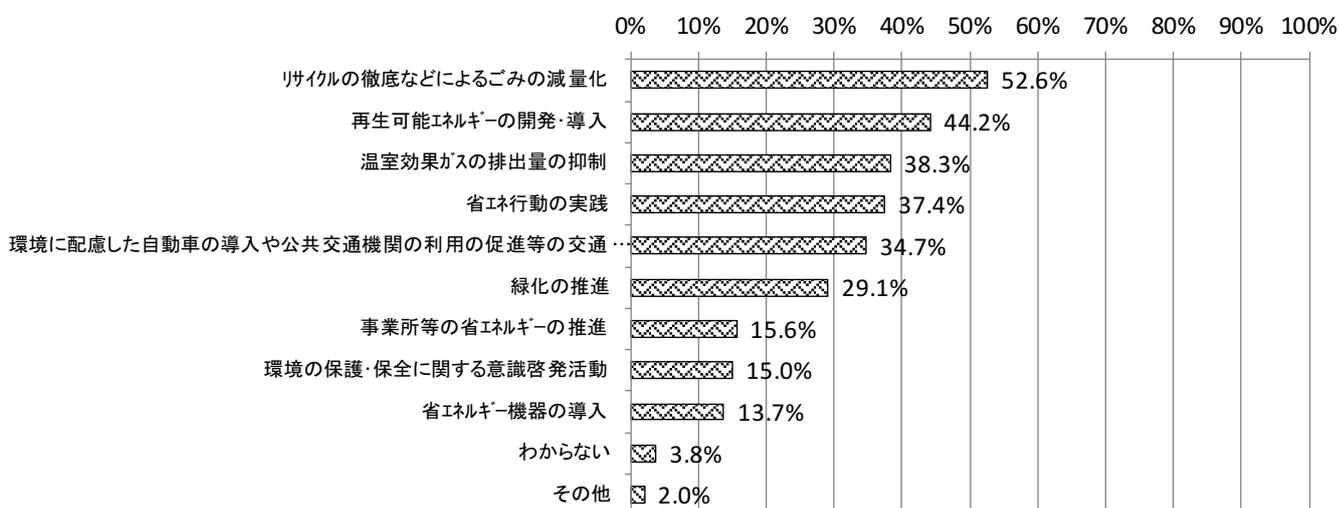


図 70 回答割合

3. 地球温暖化対策で市が重点的に取り組むべきこと（3つ選択）

地球温暖化対策で重点的に取り組むべきこととして最も多かったのは、「市民や事業者に対して省エネルギーの方法や再生可能エネルギーに関する情報を提供する」の44.5%で、次いで「市民や事業者が再生可能エネルギーを導入する際に市が助成をする」が42.7%、「小中学校での環境教育を充実させる」が37.1%と続いていた。

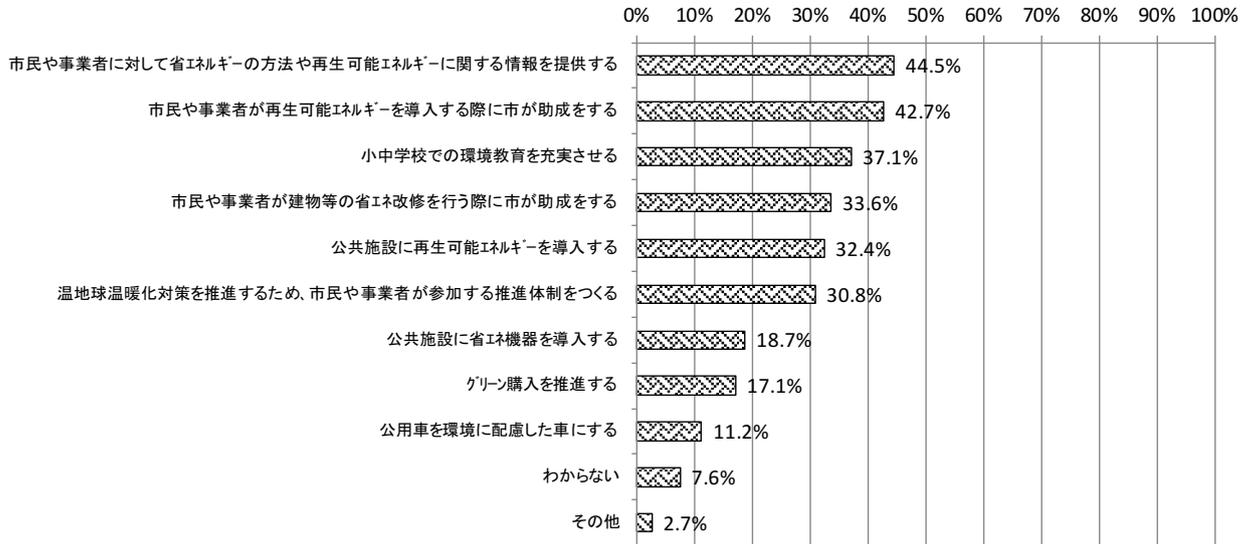


図 71 回答割合

4. 循環型社会をつくるために、重要な取組み（3つ選択）

循環型社会をつくるために重要な取組みとして最も多かったのは、「買い物のときは、マイバッグを持参し、レジ袋を受け取らないようにする:リデュース」の64.2%で、「日頃からごみの分別を徹底する:リユース、リサイクル」が54.5%、「雑がみ等の分別を行い、資源回収に出すようにする:リサイクル」が43.9%と続いていた。

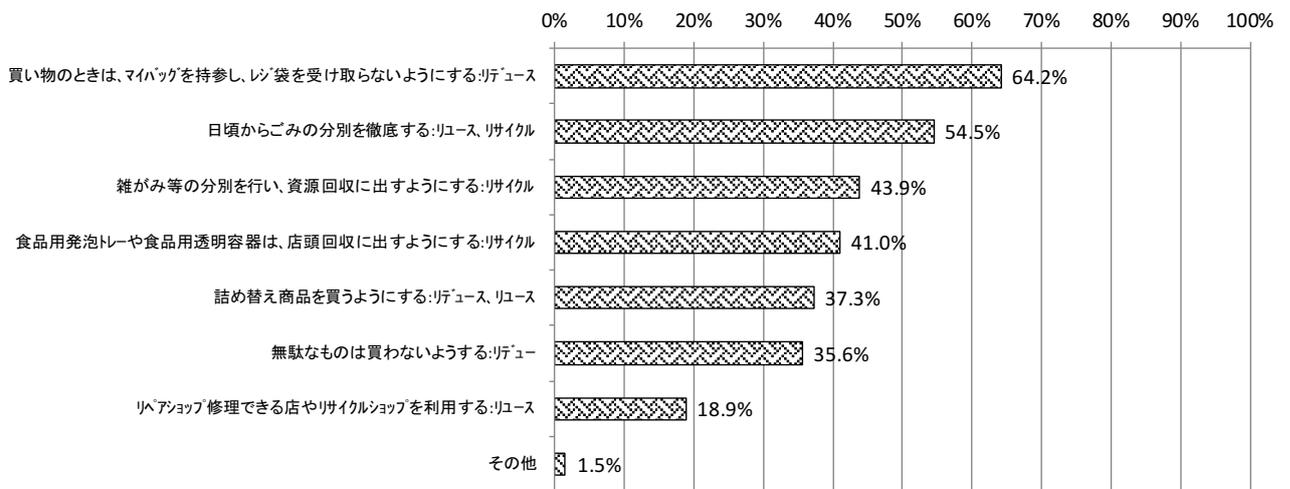


図 72 回答割合

VI. 環境をよくするためにできること

1. 環境をよくするために心がけていること

① 家の中

環境をよくするために家の中で心がけていることや実際やっていることで最も多かったのは「水を出しっぱなしにしないようにしている」が95.1%で、次いで「ごみと資源の分別を徹底している」が93.2%、「台所の排水には、ごみが混ざらない工夫をしている（ろ紙やネットの使用）」が91.3%と続いており、これらの取組は大半の市民が心がけている状況がうかがえた。

一方で、「生ごみを肥料として活用している」は12.9%、「生ごみ処理機を利用している」は4.6%に留まっており、家庭において生ごみの処理・資源化は困難と考える市民が多い状況がうかがえた。

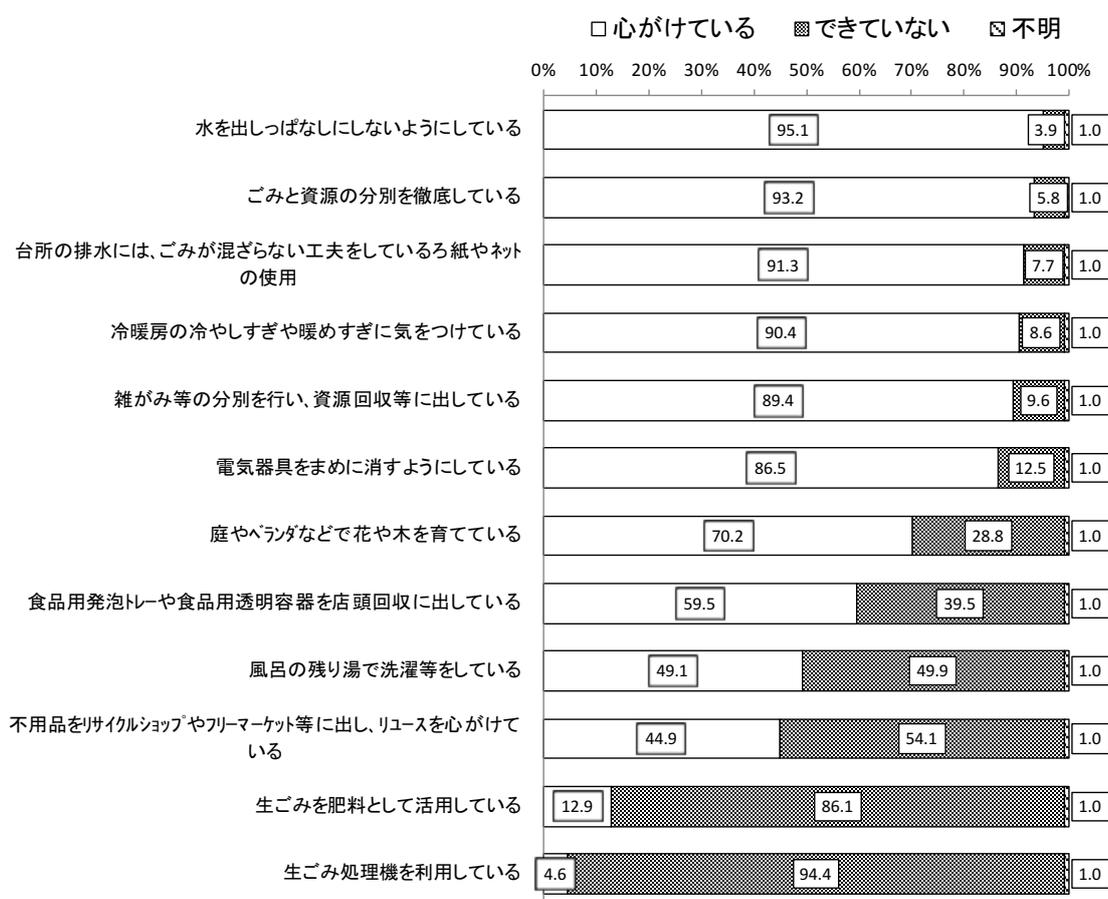


図 73 「家の中」現状評価

② 買い物など

環境をよくするために買い物で心がけていることや実際やっていることで最も多かったのは「買い物の際はマイバッグを持参するようにしている」が94.3%であった。

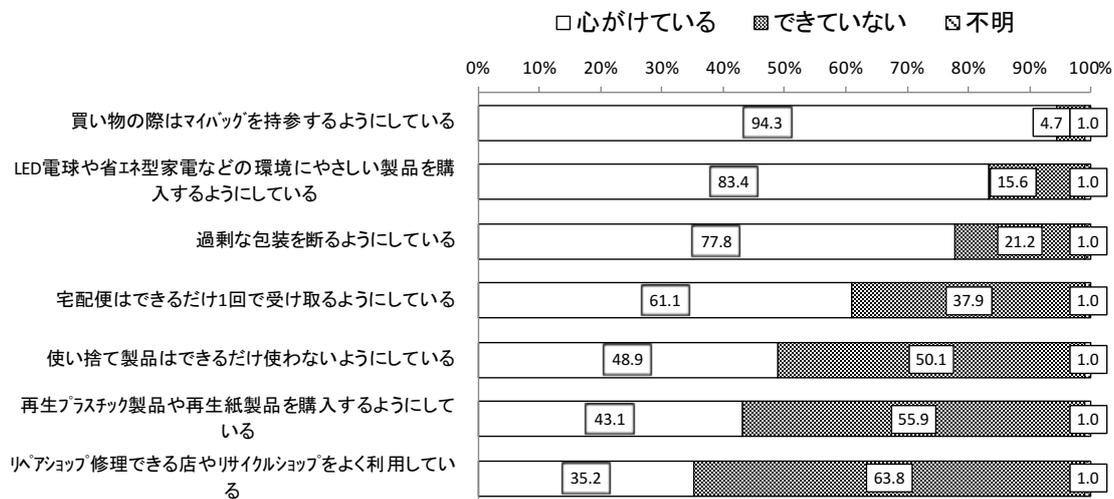


図 74 「買い物など」現状評価

③ その他

その他に心がけていることや実際やっていることで最も多かったのは「タバコの吸い殻、ごみや空き缶等の投げ捨てをしない」で 91.4%、「家庭や宴会で食べ残し食品ロスを減らすようにしている」が 84.3%と続いていた。

一方で、「自家用車よりも徒歩や自転車を利用するようにしている」が 12.5%、「住宅に太陽光発電設備を設置した」が 7.3%、「外食のときなど、割ばしの使用を自粛し、マイはしを使うようにしている」が 7.2%に留まっており、実施が困難と考える市民が多い状況がうかがえた。

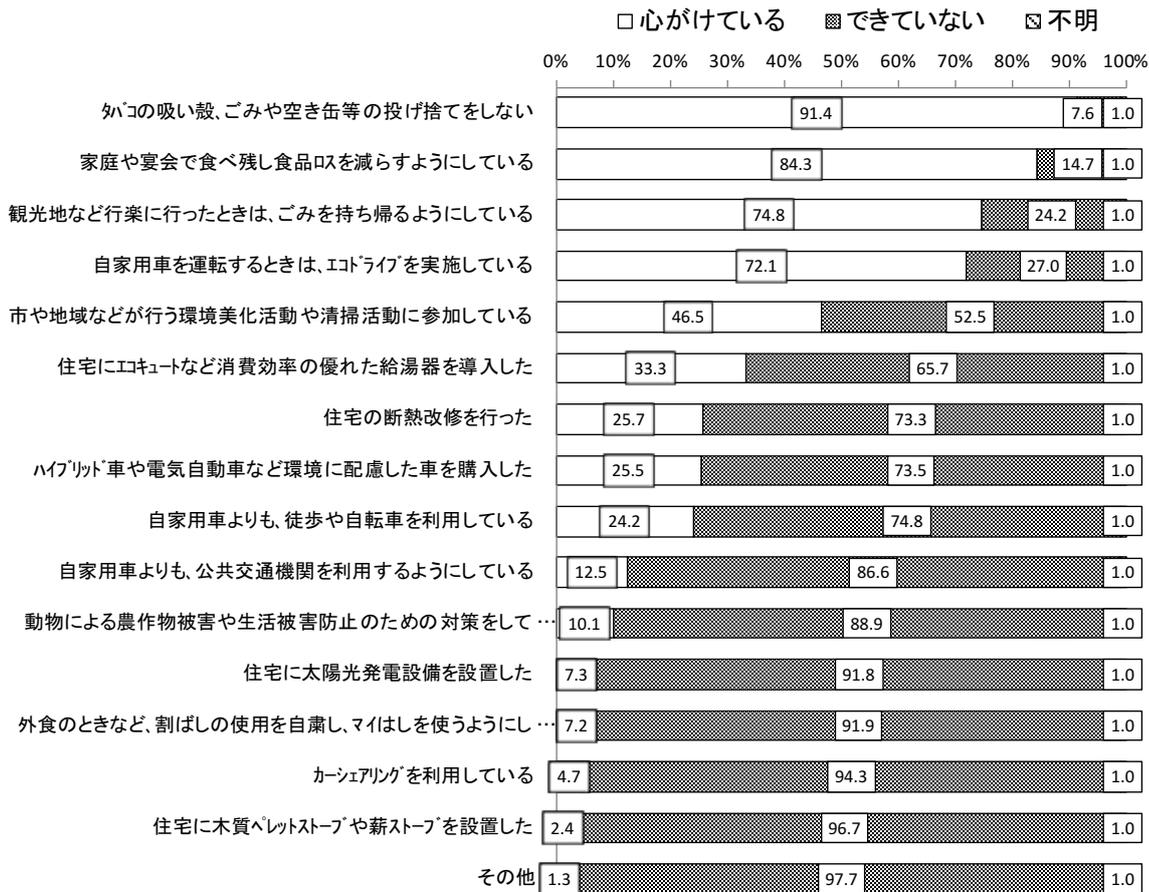


図 75 「その他」現状評価

2. SDGs（エスディーゼーズ）の認知状況

SDGs（エスディーゼーズ）については「知らない（今回の調査で初めて知った）」が大半の73.3%を占めており、市民の認知度が低い状況であった。

※SDGSとは「持続可能な開発目標」を指す言葉の略称。2015年（平成27年）に国連で採択されたもので、環境を含めた2030年までに達成すべき17の目標と169のターゲットで構成されている。

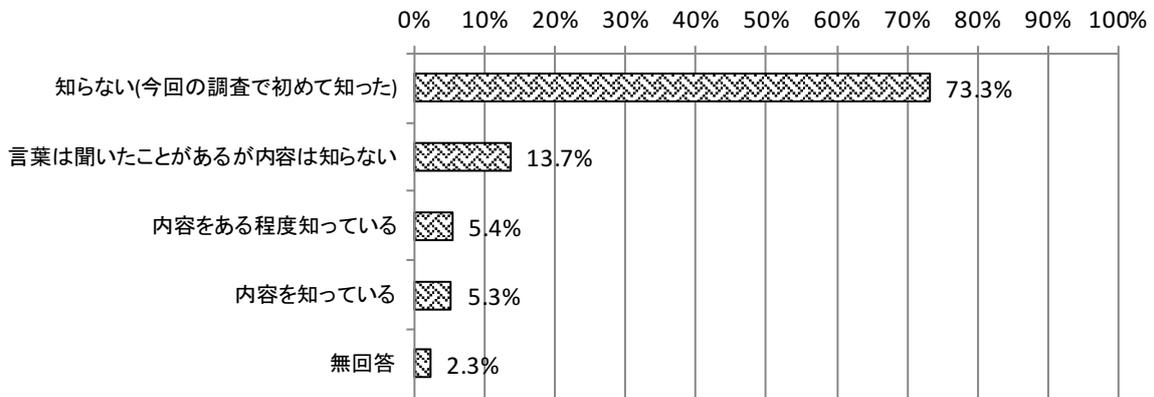


図 76 回答割合

3. 快適な生活環境や地球環境問題対策について

① 環境保全と経済活動

現状評価で「Aに近い」と「ややAに近い」を合わせると53.7%であり、H22年調査の49.8%に比べて3.9ポイント増加していた。また「Bに近い」と「ややBに近い」と合わせると19.9%であり、H22年調査の20.6%に比べて0.7ポイント低下していた。10年前に比べて経済活動よりも環境保全を優先にする傾向がうかがえた。

Aの意見・・・産業や都市開発の大切だが、環境保全を優先し、快適な環境を守る方がよい
 Bの意見・・・環境保全も大切だが、産業や都市開発を優先し、経済活動を活発にした方がよい

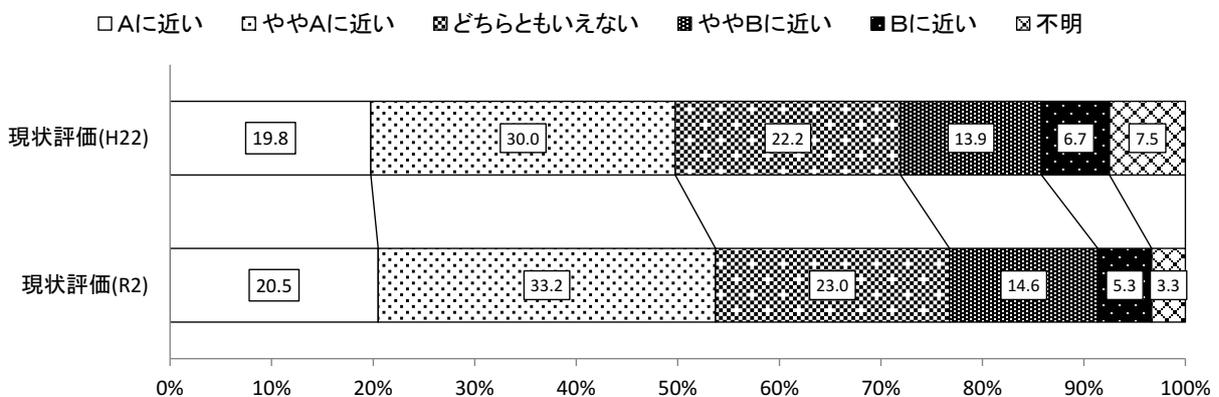


図 77 回答割合の推移

② 環境保全と生活利便性

現状評価で「Aに近い」と「ややAに近い」を合わせると32.3%であり、H22年調査の33.7%に比べて1.4ポイント低下していた。また「Bに近い」と「ややBに近い」と合わせると37.7%であり、H22年調査の32.5%に比べて5.2ポイント増加していた。10年前に比べて環境保全よりも生活の利便性が優先される傾向がうかがえた。

Aの意見・・・環境保全のためには、生活が多少不便になるのはやむをえない
 Bの意見・・・環境保全は必要だが、生活が今より不便になるのは我慢できない

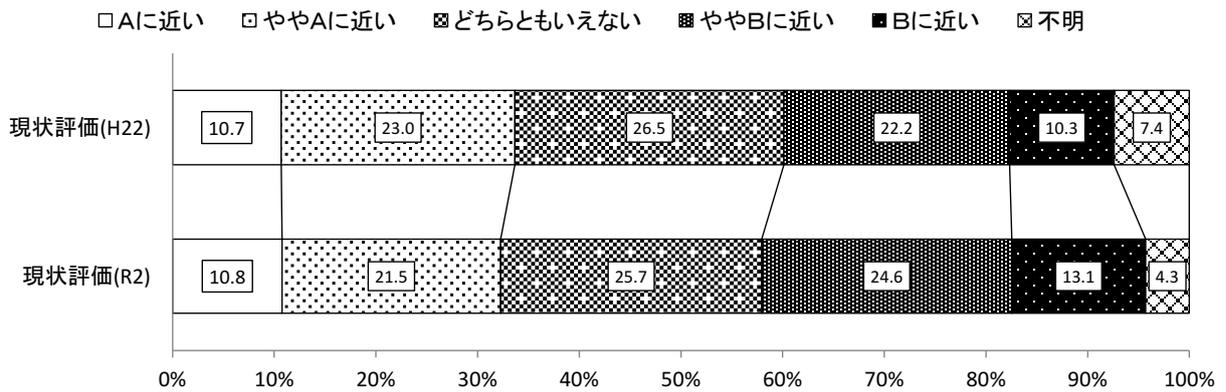


図 78 回答割合の推移

③ 環境保全と経済的負担

現状評価で「Aに近い」と「ややAに近い」を合わせると32.0%であり、H22年調査の27.9%に比べて4.2ポイント増加していた。また「Bに近い」と「ややBに近い」と合わせると36.0%であり、H22年調査の36.3%に比べて0.3ポイント低下している。10年前に比べて環境保全のために経済的負担が生じることもやむをえないと考える傾向がうかがえた。

Aの意見・・・環境保全のために、経済的負担が生じることもやむをえない
 Bの意見・・・環境保全のために、経済的負担が生じることは好ましくない

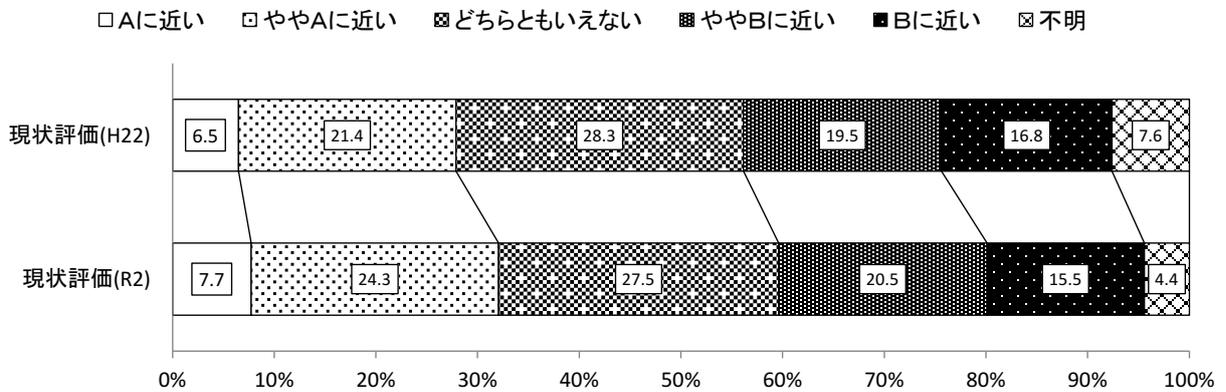


図 79 回答割合の推移

4. 環境保全のために参加・協力できること（複数回答）

環境保全のための行動として参加・行動できることとして最も多かったのは「日常生活が多少不便になっても、環境に配慮した暮らしをする」で50.2%であった。「特に参加、協力するつもりはない」は10.3%に留まっていることから、約9割の市民に環境保全のために何らかの活動について参加・行動する意思がある状況がうかがえた。

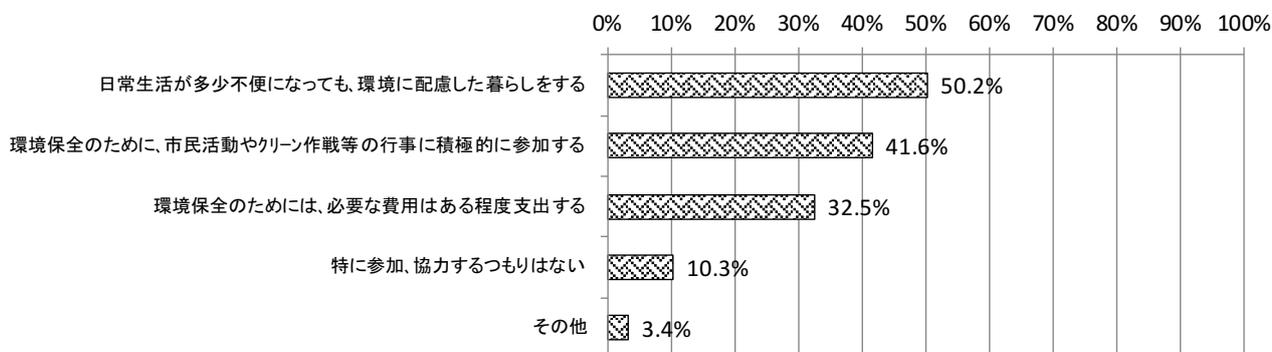


図 80 回答割合

5. 環境問題に関する情報で不足していると感じるもの（複数回答）

環境問題に関する情報として不足しているものについて最も多かったのは「環境に配慮した暮らし方やそのヒント」で44.2%、次いで「再生可能エネルギーや省エネ技術の情報」が37.4%、「地球環境問題の全般的な動き」が34.9%と続いていた。

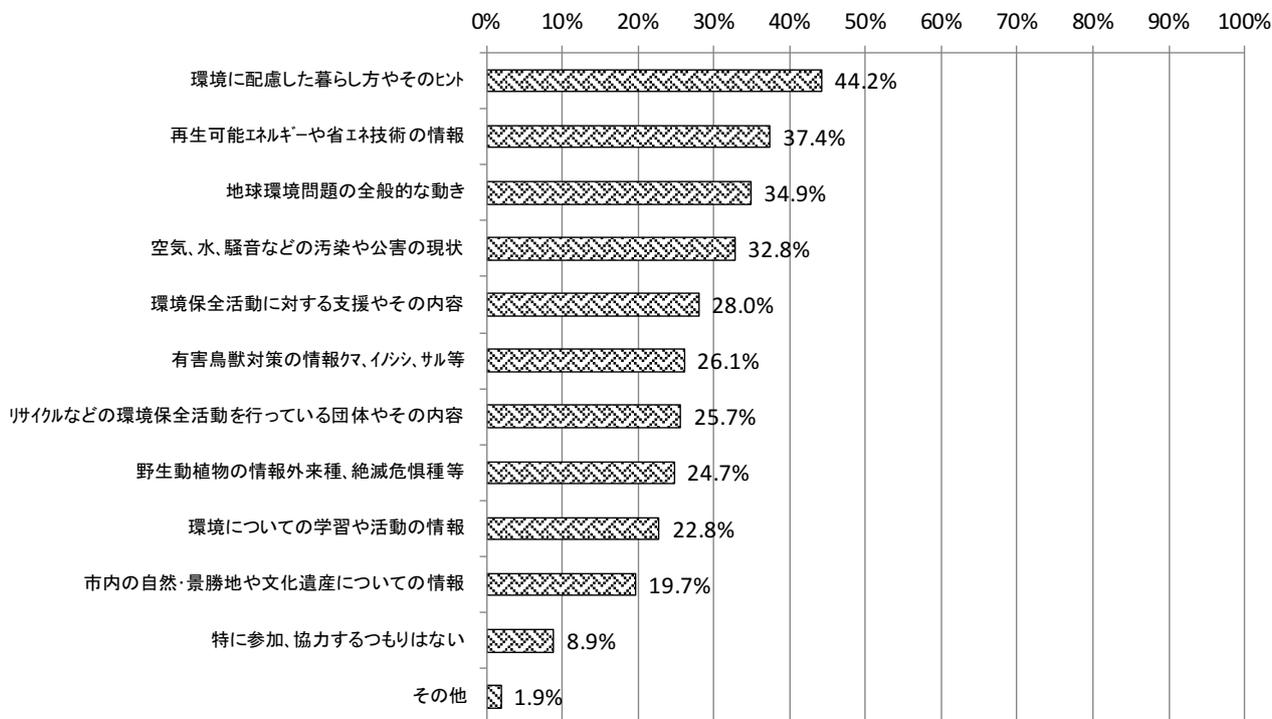


図 81 回答割合

VII. 環境学習について

1. 環境問題について話を聞いたり学んだりしていますか

環境問題について「あまり学んでいない」が 55.1%と過半数を占めており、「積極的に学んでいる」と「できるだけ学んでいる」を合わせた 25.1%の 2 倍以上であった。

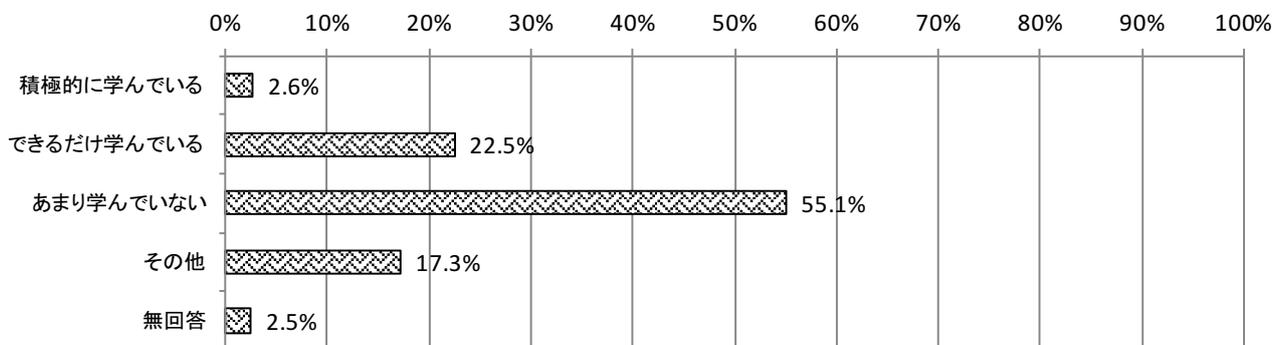


図 82 回答割合

2. 環境学習についてどのような形で学んでいますか

環境問題について学ぶ形として最も多かったのは「市の広報誌・ホームページから」で 43.6%であった。次いで「その他（テレビ、インターネット、新聞、書籍等）」が 18.5%と続いていた。

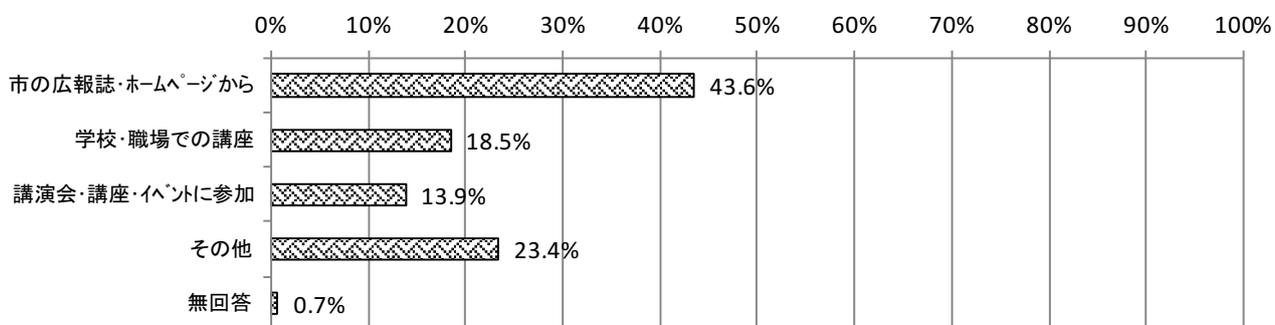


図 83 回答割合

3. 環境学習について学んでいない理由について

環境問題について学んでいない理由として最も多かったのは「仕事や家事で時間がない」で38.2%、次いで「講座やイベント情報の情報が得られない」が25.9%、「参加したい講座・イベントがない」が13.1%と続いていた。なお、「環境に関心がない」は4.2%に留まっていることから9割以上の市民は環境学習に関心がある状況がうかがえた。

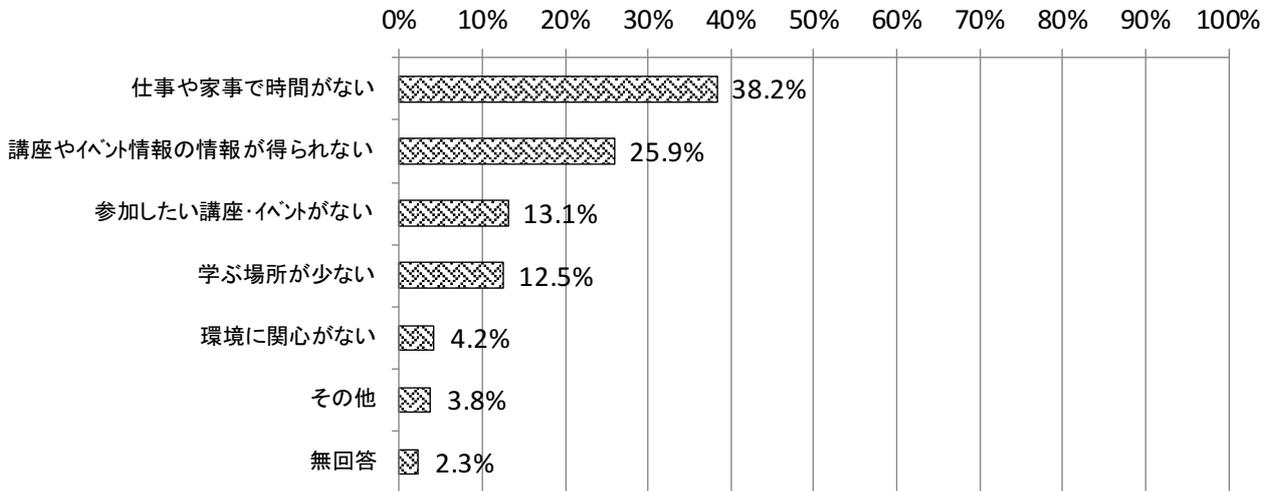


図 84 回答割合

4. 環境学習について、どのような形であれば参加したいですか

環境問題への参加の形として最も多かったのは「省エネ・節電等、暮らしに役立つエネルギーに関する講座・イベント」で27.7%、次いで「環境に関するホームページを充実させる」で13.4%、「ごみの減量・分別に関する講座・イベント」が13.1%と続いていた。

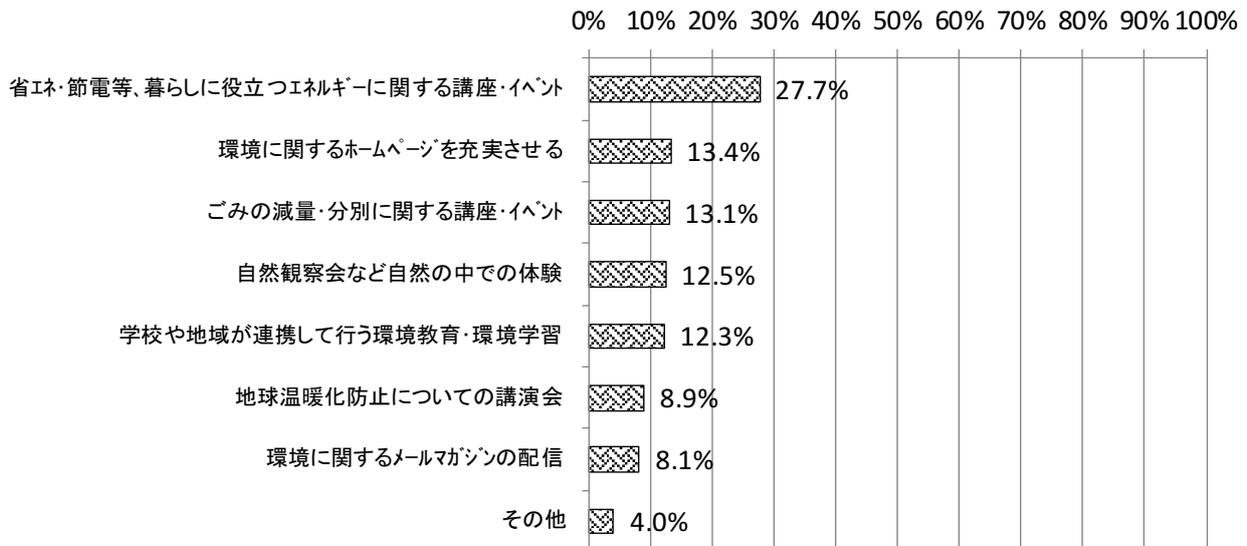


図 85 回答割合

【資料】

環境に関する市民意識調査 調査票

環境問題全般についておたずねします。

問2 あなたは環境問題について、現状をどのように評価し、今後取り組むことがどのくらい重要であると思いますか。下記の(1)から(42)の設問項目ごとに現状評価と重要度について、あなたの考えに一番近いものを、1つつ選び、あてはまる番号に○を付けてください。

設問項目		現 状 評 価					重 要 度				
		満足	やや満足	どちらとも言えない	やや不満	不満	重要である	やや重要である	どちらとも言えない	あまり重要でない	重要でない
住 ま い の 周 辺 の 環 境	(1) すすがすがしい空気、うるおいのある緑が多い等、快適な環境であること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	(2) ごみやし尿処理が適切で衛生的であること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	(3) 日常の買い物、通勤、通学、医療機関の受診等の利便がよいこと	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	(4) 伝統的なまち並みやまちのシンボル等があり愛着がもてること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	(5) 災害等の危険が少ないこと	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	(6) 空気がきれいであること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	(7) 川、水路がきれいであること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	(8) まちが静かであること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	(9) まちが清潔であること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	(10) 地下水に恵まれていること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	(11) 土に安心してふれられること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	(12) 身近に緑とふれあえる場所があること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	(13) 身近に水や水辺とふれあえる場所があること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	(14) まち並みが美しいこと	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	(15) 歩道等が安全であり快適であること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	(16) 公園等まちにゆとりのある空間があること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	(17) 文化財や歴史的建造物がまち並みやまちづくりに活かされていること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
山 形 市 の 自 然 環 境	(18) 市全体の自然環境が豊かであること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	(19) 自然とふれあう機会や場所が沢山あること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	(20) 外来種による生態系への影響についての対策	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	(21) 野生動物による農作物や生活への被害対策	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	(22) 野生動植物の生息環境保全について	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	(23) うるおいをもたらす里山 ^(注1) があること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	(24) 気候変動対策 ^(注2)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

(注1) 集落、人里に接した山、あるいは、こうした地形において人間の影響を受けた生態系が存在している状態のこと。

(注2) 気温の上昇などの気候変動への対策。原因となる温室効果ガスを抑える「緩和策」、気候変動による農作物の被害や自然災害、健康への影響などの被害を防止、軽減していく「適応策」の二つがある。

設問項目		現 状 評 価					重 要 度				
		満足	やや満足	どちらとも言えない	やや不満	不満	重要である	やや重要である	どちらとも言えない	あまり重要でない	重要でない
地球温暖化対策などの環境問題	(25) 省資源、省エネルギーの推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	(26) 再生可能エネルギー ^(注3) 導入の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	(27) オゾン層 ^(注4) の保護	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	(28) 酸性雨(雪)への対策	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	(29) 森林の適切な管理の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	(30) 化学物質(ダイオキシンなどの化学物質)による健康問題への対策	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	(31) 廃プラスチック等による海洋汚染の防止	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	(32) ごみの減量化・リサイクル活動の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	(33) 再利用、再使用などの推進により、循環型社会 ^(注5) を構築すること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
その他	(34) 古いまち並みや建物	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	(35) 近代的なまち並みや建築物	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	(36) 遺跡、史跡、記念碑、大木、樹木	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	(37) まつり、 ^い 市、伝統芸能などの伝統的な行事	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	(38) 伝統工芸、郷土芸能などの伝統文化	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	(39) 歴史的な地名、町名	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	(40) 環境に関する情報提供や学習会の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	(41) 環境活動を行う市民団体等との連携	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	(42) 家庭や事業所における再生可能エネルギー導入等への、国や自治体による助成制度の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

住まいの周辺(概ね約500m範囲)環境についておたずねします

問3 2ページ問2の「(6) 空気がきれいであること」の現状評価において、不満、やや不満と回答した方にお聞きします。不満を感じる理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○を付けてください。

1 工場・事業所の煙やにおい	6 川や堰(水路)のにおい
2 自動車の排気ガス	7 近所でのごみ焼却の煙やにおい
3 道路からの粉じん	8 飲食店や商店などからのにおい
4 空き地や畑の砂ぼこり	9 その他()
5 畜舎や堆肥のにおい	

(注3) バイオマス燃料、太陽熱利用、雪氷熱利用、地熱利用、風力発電、太陽光発電など再生可能なエネルギーのこと。

(注4) 地球の大気中でオゾンの濃度が高い部分で、地上から約10～50kmの成層圏に多く存在する。オゾン層は太陽から有害な紫外線の多くを吸収し、地上の生態系を保護する役割を果たしている。

(注5) 化石燃料の資源の消費を抑制し、環境への負荷をできる限り低減させる社会のこと。

問4 2ページ問2の「(7) 川、水路がきれいであること」の現状評価において、不満、やや不満と回答した方にお聞きします。不満を感じる理由は何ですか。**あてはまる番号すべてに○を付けてください。**

1 工場・事業者の排水	5 藻類などの異常繁殖
2 畜舎の排水	6 虫の発生
3 家庭の排水	7 その他 ()
4 投棄ごみや浮遊物	

問5 2ページ問2の「(8) まちが静かであること」の現状評価において、不満、やや不満と回答した方にお聞きします。不満を感じる理由は何ですか。**あてはまる番号すべてに○を付けてください。**

1 工場・事業所の騒音・振動	6 古紙回収・資源回収等の音
2 自動車・バイクの走行等による道路の騒音・振動	7 学校・幼稚園等の騒ぎ声・スピーカーの音
3 鉄道の騒音・振動	8 ゲームセンター、カラオケ、商店のスピーカー等の音
4 犬や猫等ペットの鳴き声	9 その他 ()
5 ピアノ等の楽器やテレビ、ステレオ、クーラー等の生活音	

問6 2ページ問2の「(9) まちが清潔であること」の現状評価において、不満、やや不満と回答した方にお聞きします。不満を感じる理由は何ですか。**あてはまる番号すべてに○を付けてください。**

1 河川敷や道路わき等へのまとまったごみの投棄	5 犬や猫等のペットのふん
2 ごみ集積所の汚れ	6 雑草
3 空き缶やタバコの吸い殻等、ポイ捨てごみの散乱	7 その他 ()
4 土砂・泥等	

山形市の自然環境についておたずねします

問7 2ページ問2の「(19) 自然とふれあう機会や場所が沢山あること」の現状評価において、不満、やや不満と回答した方にお聞きします。不満を感じる理由は何ですか。**あてはまる番号すべてに○を付けてください。**

1 自然と親しめる公園などが少ない	4 自然観察会などの自然に親しめる行事が少ない
2 ハイキングコースや遊歩道が整備されていない	5 自然との親しみ方についての情報が少ない
3 野鳥の森など自然とふれあえる施設が少ない	6 その他 ()

問8 あなたは過去1年以内において、日常生活や仕事等で、動物による被害を受けたことがありますか。受けたことがある場合は、**あてはまる番号に○を付け、その動物名を教えてください。**

1 農作物や家庭菜園を荒らされたことがある。	(動物名)
2 家屋等に侵入されたことがある	(動物名)
3 鳴き声やふん害により迷惑をかけられたことがある	(動物名)
4 集団化した動物に迷惑をかけられたことがある	(動物名)
5 動物からけが等を負わされたことがある	(動物名)
6 被害を受けたことはない	
7 その他 ()	

環境をよくするため、あなたができることについておたずねします

問13 環境を良くするために、あなたやご家族はどのようなことに心がけていますか。以下のすべての項目のうち、日頃心がけていることや実際行っていることには○を、できていないまたは今後できないと思うことには×を右の欄に記入してください。

	項 目	欄
家の中	1 台所の排水には、ごみが混ざらない工夫をしている（ろ紙やネットの使用）	
	2 ごみと資源の分別を徹底している	
	3 生ごみ処理機を利用している	
	4 生ごみを肥料として活用している	
	5 食品用発泡トレーや食品用透明容器を店頭回収に出している	
	6 雑がみ等の分別を行い、資源回収等に出している	
	7 不用品をリサイクルショップやフリーマーケット等に出し、リユースを心がけている	
	8 電気器具をまめに消すようにしている	
	9 水を出しっぱなしにしないようにしている	
	10 冷暖房の冷やしすぎや暖めすぎに気をつけている	
	11 風呂の残り湯で洗濯等をしている	
	12 庭やベランダなどで花や木を育てている	
買い物など	13 LED電球や省エネ型家電などの環境にやさしい製品を購入するようにしている	
	14 買い物の際はマイバッグを持参するようにしている	
	15 過剰な包装を断るようにしている	
	16 使い捨て製品はできるだけ使わないようにしている	
	17 リペアショップ（修理できる店）やリサイクルショップをよく利用している	
	18 再生プラスチック製品や再生紙製品を購入するようにしている	
	19 宅配便はできるだけ1回で受け取るようにしている	
その他	20 カーシェアリング ^(注8) を利用している	
	21 自家用車よりも、徒歩や自転車を利用している	
	22 自家用車よりも、公共交通機関を利用するようにしている	
	23 自家用車を運転するときは、エコドライブを実施している	
	24 タバコの吸い殻、ごみや空き缶等の投げ捨てをしない	
	25 観光地など行楽に行ったときは、ごみを持ち帰るようにしている	
	26 市や地域などが行う環境美化活動や清掃活動に参加している	
	27 外食のときなど、割ばしの使用を自粛し、マイはしを使うようにしている。	
	28 家庭や宴会で食べ残し（食品ロス）を減らすようにしている	
	29 住宅の断熱改修を行った	
	30 住宅にエコキュートなど消費効率の優れた給湯器を導入した	
	31 ハイブリッド車 ^(注9) や電気自動車など環境に配慮した車を購入した	
	32 住宅に太陽光発電設備を設置した	
	33 住宅に木質ペレットストーブや薪ストーブを設置した	
	34 動物による農作物被害や生活被害防止のための対策をしている	
	35 その他（ ）	

(注8) 1台の自動車を複数の会員が共同で利用する自動車の利用形態。

(注9) 複数の動源を利用して走行する自動車のこと。

問14 あなたはSDGs（エスディージーズ）を知っていますか。あてはまる番号に○を付けてください。

※SDGsとは「持続可能な開発目標」を指す言葉の略称。2015年（平成27年）に国連で採択されたもので、環境を含めた2030年までに達成すべき17の目標と169のターゲットで構成されている。

1 内容を知っている	3 言葉は聞いたことがあるが内容は知らない
2 内容をある程度知っている	4 知らない（今回の調査で初めて知った）

問15 快適な生活環境や地球環境問題対策について、次の（1）から（3）のような視点があります。（1）から（3）に関して、あなたの考えは、A、Bの2つの意見のどちらに近いですか。あてはまる番号に○を付けてください。

(1) 環境保全と経済活動

(2) 環境保全と生活利便性

(3) 環境保全と経済的負担

		Aに近い	ややAに近い	どちらともいえない	ややBに近い	Bに近い		
		Aの意見		Bの意見				
(1)	産業や都市開発も大切だが、環境保全を優先し、快適な環境を守る方がよい	1	2	3	4	5	環境保全も大切だが、産業や都市開発を優先し、経済活動を活発にした方がよい	
(2)	環境保全のためには、生活が多少不便になるのはやむをえない	1	2	3	4	5	環境保全は必要だが、生活が今より不便になるのは我慢できない	
(3)	環境保全のために、経済的負担が生じることもやむを得ない	1	2	3	4	5	環境保全のために、経済的負担が生じることは好ましくない	

問16 あなたが環境保全のために行動するとすれば、どのようなことに参加・協力できますか。あてはまる番号すべてに○を付けてください。

1 環境保全のために、市民活動やクリーン作戦等の行事に積極的に参加する	3 環境保全のためには、必要な費用はある程度支出する
2 日常生活が多少不便になっても、環境に配慮した暮らしをする	4 その他（ ）
	5 特に参加、協力するつもりはない

問17 あなたが環境問題に関する情報について、不足していると感じているものはどのようなことですか。あてはまる番号すべてに○を付けてください。

1 空気、水、騒音などの汚染や公害の現状	7 環境保全活動に対する支援やその内容
2 地球環境問題の全般的な動き	8 野生動植物の情報（外来種、絶滅危惧種等）
3 市内の自然・景勝地や文化遺産についての情報	9 有害鳥獣対策の情報（クマ、イノシシ、サル等）
4 環境に配慮した暮らし方やそのヒント	10 再生可能エネルギーや省エネ技術の情報
5 環境についての学習や活動の情報	11 その他（ ）
6 リサイクルなどの環境保全活動を行っている団体やその内容	12 特に不足している情報はない

環境学習についておたずねします

問18 あなたは、環境問題について話を聞いたり学んだりしていますか。あてはまる番号に○を付けてください。

- | | |
|--------------------|----------------------|
| 1 積極的に学んでいる →問19へ | 3 あまり学んでいない →問20、21へ |
| 2 できるだけ学んでいる →問19へ | 4 全く学んでいない →問20、21へ |

問19 問18で1、または2と回答した方にお聞きします。どのような形で学んでいますか。あてはまる番号に○を付けてください。

- | | |
|------------------|------------------|
| 1 学校・職場での講座 | 3 市の広報誌・ホームページから |
| 2 講演会・講座・イベントに参加 | 4 その他 () |

問20 問18で3、または4と回答した方にお聞きします。学んでいない理由は何ですか。あてはまる番号に○を付けてください。

- | | |
|----------------------|-------------------|
| 1 仕事や家事で時間がない | 4 参加したい講座・イベントがない |
| 2 学ぶ場所が少ない | 5 環境に関心がない |
| 3 講座やイベント情報の情報が得られない | 6 その他 () |

問21 問18で3、または4と回答した方にお聞きします。どのような形であれば参加したいですか。あてはまる番号に○を付けてください。

- | | |
|-----------------------------------|-------------------------|
| 1 自然観察会など自然の中での体験 | 5 学校や地域が連携して行う環境教育・環境学習 |
| 2 ごみの減量・分別に関する講座・イベント | 6 環境に関するホームページを充実させる |
| 3 省エネ・節電等、暮らしに役立つエネルギーに関する講座・イベント | 7 環境に関するメールマガジンの配信 |
| 4 地球温暖化防止についての講演会 | 8 その他 () |

最後に、あなたが考える様々な環境問題を解決するためのアイデア、また、市に対するご意見、ご要望等がありましたらご自由に記入してください。

ご協力いただきありがとうございました。

同封の返信用封筒（切手不要）に入れて3月13日（金）までに郵便ポストにご投函をお願いします。